

**平成30年度授業改善アンケート
調査結果報告書**

平成31年3月

大学教育開発センター委員会

目次

平成30年度授業改善アンケートの結果概要	1
調査概要と対象者属性	4
回答率	5
アンケート項目	6
授業科目の集計結果	8
授業改善アンケート集計結果の見方	10

〔調査結果〕

1 授業満足度の時系列比較	14
2 成長実感の時系列比較	21
3 調査結果のまとめ	27
4 学部別改善ポイント	29
5 授業満足度を上げるための改善優先項目	31
6 自学自習時間	43
7 授業満足度と自学自習時間の関係	45
8 一授業あたりの回答学生数	51
9 履修者数の規模別授業満足度	52

〔基礎データ(前期)〕

10 時系列比較	53
11 授業評価の基礎データ.....	54
12 学生評価の基礎データ.....	60

〔基礎データ(後期)〕

13 時系列比較	67
14 授業評価の基礎データ.....	68
15 学生評価の基礎データ.....	74

平成30年度授業改善アンケートの結果概要

平成30年度前期 アンケート調査の結果概要

○学生の「授業満足度」71.3% (Page.14)

(アンケート問13: この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか)

○改善優先度の高い項目 (Page.31-32)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

1. 「工夫」37.4 ポイント

(アンケート問5: この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか)

2. 「理解配慮」37.2 ポイント

(アンケート問4: この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか)

3. 「板書」33.0 ポイント

(アンケート問1: この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか)

平成30年度後期 アンケート調査の結果概要

○学生の「授業満足度」71.7% (Page.15)

(アンケート問13: この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか)

○改善優先度の高い項目 (Page.31-32)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

1. 「工夫」36.7 ポイント

(アンケート問5: この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか)

2. 「理解配慮」35.9 ポイント

(アンケート問4: この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか)

3. 「板書」31.9 ポイント

(アンケート問1: この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか)

平成30年度授業改善アンケートの結果概要

平成30年度 アンケート調査の結果概要

- 「授業満足度（アンケート問13：この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか）」については、満足計（強くそう思う+ややそう思う）の回答は前期で71%、後期で72%と前期、後期ともほぼ同水準になった。
学部別では差が顕著で、前期ではトップの人間学部で79%、薬学部で77%、経営学部で76%、反対に低いのは経済学部、法学部で65%、都市情報学部で67%となっている。また後期では人間学部が最も高く75%、最も低いのは前期同様、法学部が63%となっている。（Page.14-20）

- 「成長実感（アンケート問11：この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか）」については、前期69%、後期69%が「そう思う」と回答し、前期、後期は同水準となった。この設問も学部別で評価に差がみられ、経営学部、人間学部、外国語学部でスコアが高く、経済学部や法学部で低い傾向となっている（但し、外国語学部は1～3年次のみでの回答である点に注意）。（Page.21-26）

- 本アンケート調査では、「授業満足度」と統計的に相関は高いものの、評価の低い項目を、満足度を上げるための改善優先項目として分析している。結果としては「工夫（アンケート問5：この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか）」や、「理解配慮（アンケート問4：この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか）」が前期・後期を問わず4割近くのスコアで、改善優先項目の上位としてあがった。これは全学部に通じる傾向でもある。
学部別にみると、「工夫」「理解配慮」ともに法学部、経済学部、農学部で4割前後のスコアで他学部より高くなっている。（Page.31-42）

- 「自学自習時間（アンケート問9：あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか）」は前後期とも、回答者全体のうち約3割弱が授業外では全く勉強をしていない結果となっている。学部別でも差がみられ、理工学部、薬学部、外国語学部で自学自習時間が他学部に比べてやや高い傾向がみられた。（Page.43-44）
「自学自習時間」と「授業満足度」には関連がみられ、勉強時間が長いほど授業満足度は高い傾向となっている。「自学自習時間」と「授業満足度」の関係を授業分布から確認したところ、前後期とも自学自習時間も長く、授業満足度も高いのは薬学部と外国語学部となった。一方で、経営学部、人間学部では授業満足度は高いものの、自学自習時間は低い授業が多くみられた。（Page.48-50）

平成30年度授業改善アンケートの結果概要

平成30年度 回答状況について

平成29年度調査から、全学的に前後期とも調査実施方法はWEBシステムによるアンケートとなり、平成30年度は2年目となった（但し、薬学部は前年と同じ実施方法、H28前期は非常勤を紙アンケートで実施）。今回の特徴は平成29年度調査に引き続き、①回答者の属性、②評価結果の上昇、③後期調査の回答率の減少傾向、などの3点をみることができる。

① 回答者の属性

アンケート回答者の属性の推移を正確に把握することは難しいが、参考になるデータをみることができる。

まず、「授業満足度」の時系列スコアに着目すると、前期では、平成24年度で6割近くの満足であったものが、平成28年度以降7割前後と1割程度の上昇となっている。平成28年度は、いままで紙アンケートを実施していたものを、WEBによるアンケートの導入を開始した時期（平成28年度前期は常勤教員授業のみ、後期からは常勤、非常勤ともに）にあたる。

また、「自学自習時間」の授業以外での勉強時間について「していない」の回答について時系列スコアに着目すると、平成27年度までは前後期とも3～4割程度のスコアであったが、平成28年度以降は前後期とも2割強で推移している。ちなみに平成30年度スコアは、前後期ともに26%となっている。

平成27年度までは全面的紙アンケートで授業中に実施し回答率も8割近くとほぼ授業参加者の多くが回答していたが、平成28年度以降は、WEB実施によりアンケート回答率も3～4割前後と下降したことで、回答者も授業に参加し、熱心に取り組んでいる学生の回答がより多くなってきているのが要因ではないかと推測される。

② 評価結果の上昇

H29前期との比較では、【授業評価】は各項目において、2～3ポイント程度スコアが高くなっている。一方【学生評価】もほぼ、各項目において、H30前期で高い。

この結果は上記①にあるように、回答者が授業熱心な学生が多くなっているのが要因ではないかと考えることができる。

③ 後期調査の回答率の減少傾向

まさに回答率の推移は、H29前期→H30前期：41%→34%(－7ポイント)、H29後期→H30後期：33%→28%(－5ポイント)、本年度ではH30前期→H30後期：34%→28%(－6ポイント)と、後期調査の回答率が減少してきている。但し、薬学部では恒常的に授業アンケートが実施され、学生側に回答の動機付けがあるのか、前期・後期ともに約8割で特に高くなっている。しかし全学的には、回答率減少の要因として、授業外実施であるため強制力が弱いことや、後期の授業出席者も熱心な学生の回答が中心になっている可能性、WEBアンケート実施への慣れ（低年次からの実施など）によるアンケート協力意欲の低下などが背景として考えられる。

今後回答率がどのように推移していくかわからないが、回答率については低下傾向にあり、このままでは調査結果データの信頼度にも影響することになるため、授業時間内の回答実施などにより、回答率向上の施策を講じることも検討要因となろう。

調査概要と対象者属性

目的

学生の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

調査主体

大学教育開発センター委員会

実施期間・調査方法・対象授業・回答者属性

	30年度前期	30年度後期
実施期間	平成30年6月26日～平成30年7月21日	平成30年12月11日～平成31年1月11日
調査方法	WEBアンケート	WEBアンケート
対象授業	<p>学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成29年度前期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成29年度前期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。</p> <p>ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科目 ・ リレー方式で開講されている科目 ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目 ・ 履修登録者数が10名未満の科目 	<p>学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成29年度後期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成29年度後期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。</p> <p>ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科目 ・ リレー方式で開講されている科目 ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目 ・ 履修登録者数が10名未満の科目
回答者属性	<p>○773設定授業中 769授業で実施 実施率99.5%</p> <p>○実施授業の履修登録者数:67,395人 有効回答者数:22,885人(回答率:34.0%)</p> <p>○教員コメント記載件数 334件 (769実施授業中 334件のコメント記載率43.4%)</p>	<p>○760設定授業中 754授業で実施 実施率99.2%</p> <p>○実施授業の履修登録者数:62,255人 有効回答者数:17,094人(回答率:27.5%)</p> <p>○教員コメント記載件数 ●件 (754実施授業中 ●件のコメント記載率●%)</p>

開講学部別回答者数

	30年度前期			30年度後期		
	実施 授業数	学生		実施 授業数	学生	
		常勤 授業受講	非常勤 授業受講		常勤 授業受講	非常勤 授業受講
法学部	81	1,016	1,065	84	746	507
経営学部	63	732	843	65	511	576
経済学部	51	974	385	53	736	316
理工学部	300	3,885	2,481	269	2,204	1,507
農学部	57	1,103	472	69	843	402
薬学部	37	4,703	1,012	35	4,756	477
都市情報学部	70	774	669	71	906	486
人間学部	47	825	467	48	592	497
外国語学部(1～3年次のみ)	43	864	250	41	621	146
教職課程・学芸員課程	20	201	164	19	121	144
計	769	15,077	7,808	754	12,036	5,058

回答率

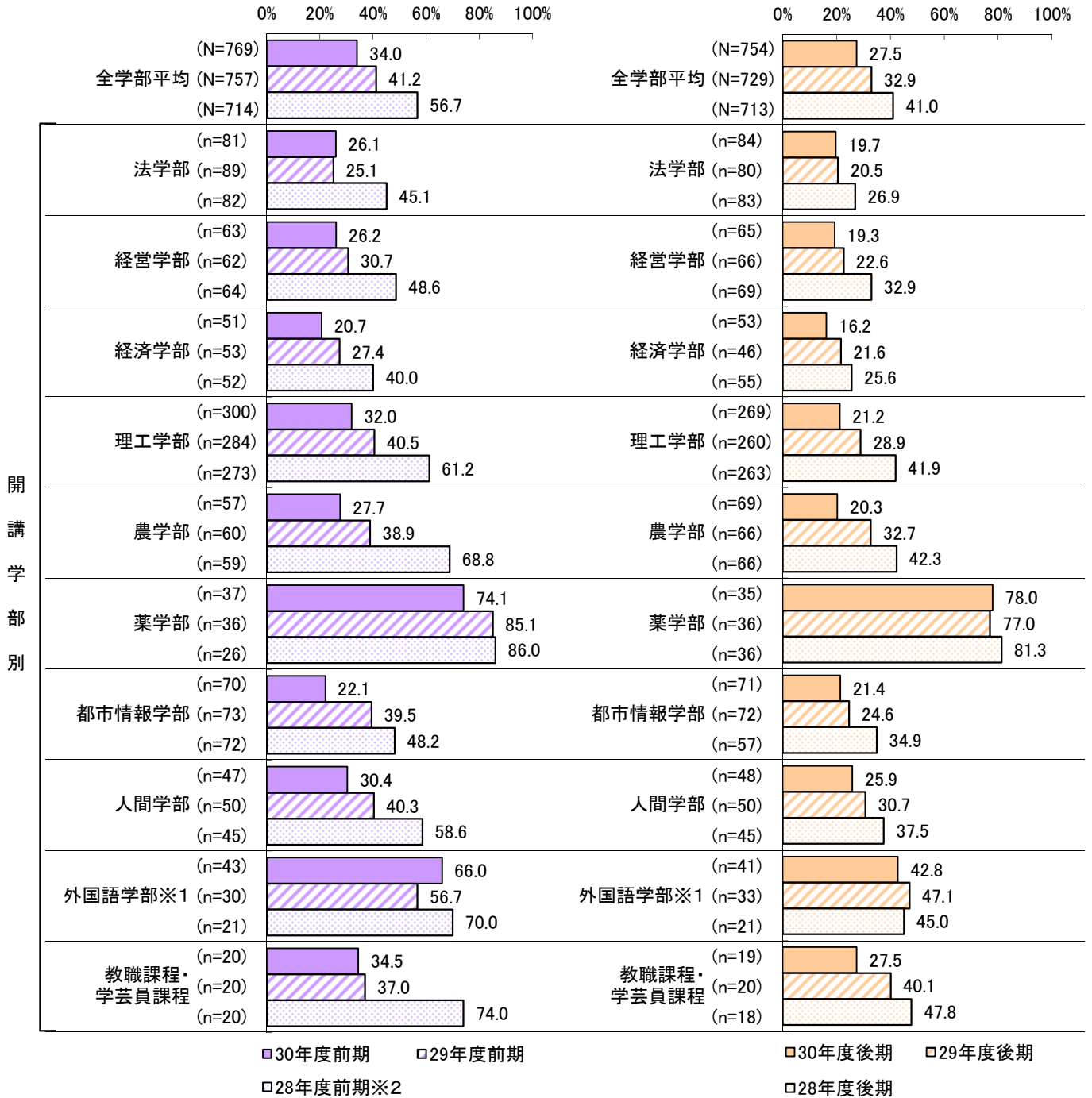
各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに回答率を計算した。

$$\text{回答率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

<回答率>

【30年度前期】

【30年度後期】



(※1)1~3年次のみ

(※2)非常勤は紙アンケートで実施

アンケート項目

平成 30 年度前期・後期授業改善アンケート

大学教育開発センター委員会

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答してください。

- この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

(5-1)設問5. について、積極的に授業に取り組めるような工夫はどのようなものでしたか。

以下から選択してください。(複数回答可)

- 授業外での課題 (例: 宿題)
- 理解度の確認 (例: 小テスト、リアクションペーパー等)
- グループワーク
- ディスカッション
- プレゼンテーション
- フィールドワーク
- PBL (Problem-Based Learning、Project-Based Learning)
- その他

(5-2)「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫について、具体的に記入してください。

--

- この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
- あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

アンケート項目

8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

1.週3時間以上 2.週1時間・3時間未満 3.週30分・1時間未満 4.週30分未満 5.していない

10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない

14. この授業について、あなたが良いと思った点や、改善したほうが良いと思った点について、建設的なご意見を記述してください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

授業科目の集計結果

<各教員へのフィードバック様式見本>

【名城大学FD】平成30年度前期・後期授業改善アンケート 集計結果

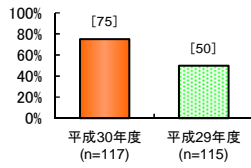
●●学部	科目名: ●●●●	時間割: ●曜日●限
履修登録者数: ●●	回答者数: ●●	回答率: ●%
平成29年度実施科目名: ●●●		教員名: ●●●●

■主要項目の評価

【成長実感(%)】

この授業を通して、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか

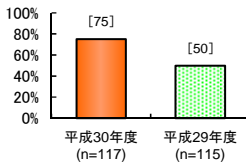
(強く+ややそう思うのスコア)



【授業満足(%)】

この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか

(強く+ややそう思うのスコア)



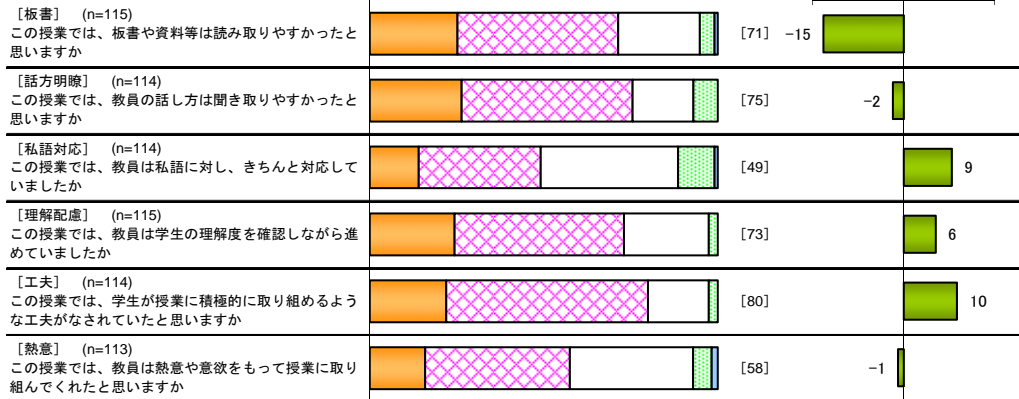
【自学自習時間(%)】

あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか

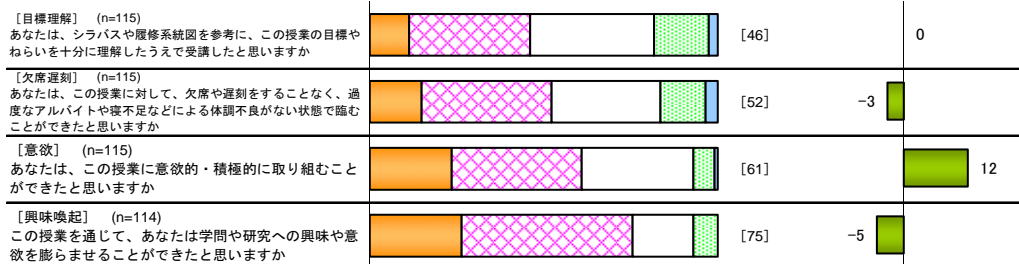
	週3時間以上	週1時間-3時間未満	週30分-1時間未満	週30分未満	勉強していない	無回答
平成30年度 (N=117)	2	7	14	18	58	1
平成29年度 (N=115)	4	11	13	27	45	0

■主要項目以外の項目の評価

【授業に関する評価】



【学生自身に関する評価】



コメント欄

授業科目の集計結果

<各教員へのフィードバック様式見本>

ID : ●●●● ●● ●● 先生

授業科目名 : ●●●● ●曜日 ●限

5-1. 設問5. について、積極的に授業に取り組めるような工夫はどのようなものでしたか。

以下から選択してください。(複数回答可)

5-2. 「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫について、具体的に記入してください。

	授業外での課題 (例:宿題)	理解度の確認 (例:小テスト、リアクションペーパー等)	グループワーク	ディスカッション	プレゼンテーション	フィールドワーク	PBL (Problem-Based Learning、Project-Based Learning)	その他
平成30年度 (n= 50)	10	12	2	2	1	1	0	4

(%)

- 発見学習
- 体験学習

授業改善アンケート集計結果の見方

授業改善アンケート集計結果の見方

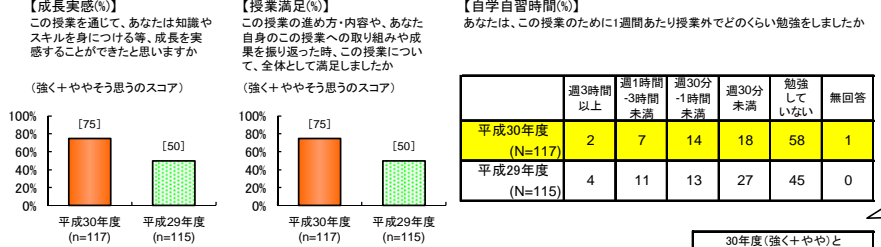
【名城大学FD】平成30年度授業改善アンケート集計結果

●●学部 科目名: ●●●● 時間割: ●曜日●限

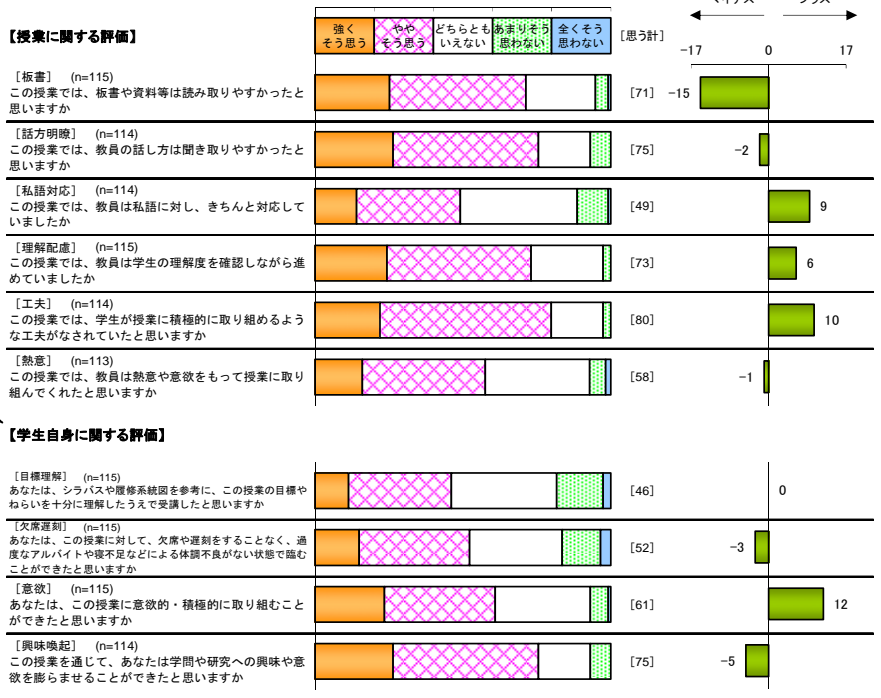
履修登録者数: ●● 回答者数: ●● 回答率: ●% 教員名: ●●●●

平成29年度実施科目名: ●●●●

■主要項目の評価



■主要項目以外の項目の評価



コメント

教員の

授業改善アンケート集計結果の見方

授業改善アンケートの各評価の解説（番号は P.10 と対応しています）

【1】回答者数・回答率

- ・回答者数が 25 人未満の場合は、少人数で算出した値であるにご留意ください。
 - ・「この授業科目の履修登録者数」と「この授業科目の回答者数」をもとに回答率を算出しました。
- 回答率は以下の式で表されます。回答率が低い場合は、少人数で算出した値であるにご留意ください。

$$\text{回答率} = \frac{\text{この授業科目の回答者数}}{\text{この授業科目の履修登録者数}}$$

【2】主要項目の評価「成長実感」「授業満足」

学生自身に関する評価「成長実感」「授業満足」の集計結果（回答した割合）です。
「強くそう思う」「ややそう思う」の合計値を表示しています。
各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。
平成 29 年度と実施科目が異なる場合も値を掲載しております。結果の比較にご留意ください。

【3】主要項目の評価「自学自習時間」

学生自身に関する評価「自学自習時間（授業時間を除いた学習時間）」の集計結果（回答した割合）です。
無回答を含んだ全回答者で集計しており、「N」は全回答者数を表しています。
平成 29 年度と実施科目が異なる場合も値を掲載しております。結果の比較にご留意ください。

【4】授業に関する評価

授業に関する評価「板書」「話方明瞭」「私語対応」「理解配慮」「工夫」「熱意」の集計結果（回答した割合）です。
各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。
「強くそう思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

【5】学生自身に関する評価

学生自身に関する評価「目標理解」「欠席遅刻」「意欲」「興味喚起」の集計結果（回答した割合）です。
各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。
「強くそう思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

【6】平成 29 年度科目との比較

各項目、平成 29 年度科目と比較した結果です（但し、平成 29 年度と実施科目が異なる場合は比較しておりません）。
『平成 30 年度の「強くそう思う」「ややそう思う」の合計値』から『平成 29 年度の「強くそう思う」「ややそう思う」の合計値』を引いた結果を表示しています。
値が大きいほど、平成 29 年度より改善した結果になっているといえます。

授業改善アンケート集計結果の見方

ID : ●●● ●● ●● 先生

授業科目名 : ●●● ●曜日 ●限

5-1. 設問5. について、積極的に授業に取り組めるような工夫はどのようなものでしたか。

以下から選択してください。(複数回答可)

5-2. 「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫について、具体的に記入してください。

P.13【7】参照

	授業外での課題 (例:宿題)	理解度の確認 (例:小テスト、リアクションペーパー等)	グループワーク	ディスカッション	プレゼンテーション	フィールドワーク	PBL (Problem-Based Learning、Project-Based Learning)	その他	
平成30年度 (n= 50)	10	12	2	2	1	1	0	4	(%)

● 発見学習

● 体験学習

P.13【8】参照

授業改善アンケート集計結果の見方

授業改善アンケートの各評価の解説（番号は P.12 と対応しています）

【7】「積極的に授業に取り組めるような工夫」の評価

設問5（この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか）について、「積極的に授業に取り組めるような工夫がどのようなものだったか」を集計した結果（回答した割合）です。無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。今年度から測定しているため、平成29年度との比較はありません。

【8】「その他」の具体的な記述

設問5-1で「8. その他」を選択した場合、行われていた工夫についての回答です。

調查結果

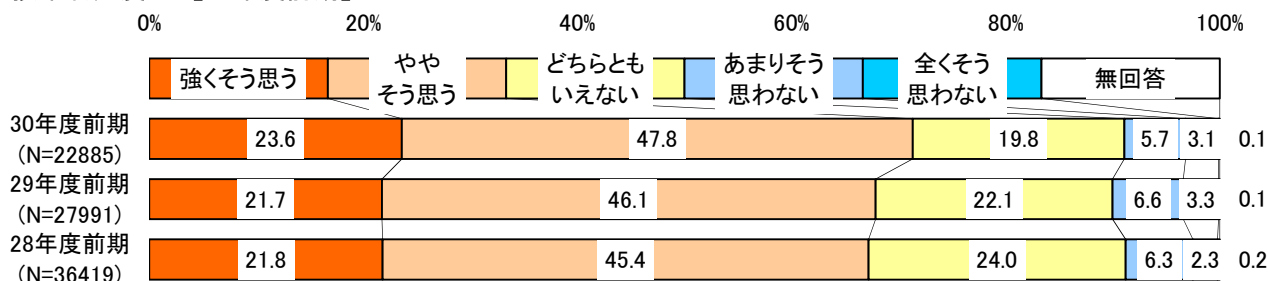
1 授業満足度の時系列比較 (1) 30年度前期

[学生]

学生の授業満足度を時系列で見ると、30年度前期全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は7割強で、29年度前期からやや上昇した。学部・学科別では、経営学部、理工学部、人間学部、教職課程・学芸員課程で5ポイント以上の上昇。農学部は生物資源学科で10ポイント以上上昇したが、生物環境科学科では低下傾向。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<授業満足度> 【30年度前期】



<学部・学科別 授業満足度の時系列比較>

学部別	回答者数	30年度前期	回答者数	29年度前期	回答者数	28年度前期
全体	22885	71.3	27991	67.9	36419	67.2
法学部	2081	64.8	2288	65.2	4264	67.5
経営学部	1575	76.1	1728	70.0	2898	72.8
経済学部	1359	64.8	1832	62.4	2654	65.6
理工学部	6366	67.5	7864	62.2	11167	61.8
農学部	1575	69.3	2359	67.8	4005	67.1
薬学部	5715	77.1	6278	73.9	4004	66.3
都市情報学部	1443	67.3	2692	69.4	3562	72.5
人間学部	1292	79.0	1765	72.9	2171	77.3
外国語学部 (1~3年次のみ)	1114	71.4	775	70.1	730	67.0
教職課程・学芸員課程	365	85.2	410	78.0	964	77.8

学科別	回答者数	30年度前期	回答者数	29年度前期	回答者数	28年度前期
全体	22885	71.3	27991	67.9	36419	67.2
法学科	2081	64.8	2266	64.9	4233	67.3
経営学科	1292	76.3	1386	71.3	2461	73.5
国際経営学科	283	75.3	342	64.6	437	68.9
経済学科	932	64.3	1343	60.9	1915	64.1
産業社会学科	427	66.0	489	66.7	739	69.6
数学科	445	68.3	475	65.3	962	62.0
情報工学科	1137	64.7	1474	57.4	1593	52.9
電気電子工学科	679	65.1	959	62.4	1325	64.5
材料機能工学科	398	58.3	368	<u>56.8</u>	530	65.7
応用化学科	189	63.5	333	<u>57.7</u>	336	64.6
機械工学科	385	68.8	636	62.6	1027	62.7
交通機械工学科	340	70.3	547	62.0	962	63.0
メカトロニクス工学科	610	61.8	770	63.8	1011	60.0
社会基盤デザイン工学科	580	80.5	764	73.6	932	63.8
環境創造学科	793	71.5	725	<u>59.6</u>	1345	66.8
建築学科	810	67.9	813	63.5	1144	60.6
生物資源学科	466	74.0	963	62.5	2014	67.2
応用生物化学科	764	67.7	888	70.6	1276	65.9
生物環境科学科	345	<u>66.7</u>	508	73.0	715	68.8
薬学科	5715	77.1	6278	73.9	4004	66.3
都市情報学科	1443	67.3	2692	69.4	3562	72.5
人間学科	1292	79.0	1765	72.9	2171	77.3
国際英語学科 (1~3年次のみ)	1114	71.4	775	70.1	730	67.0

* 「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)

* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

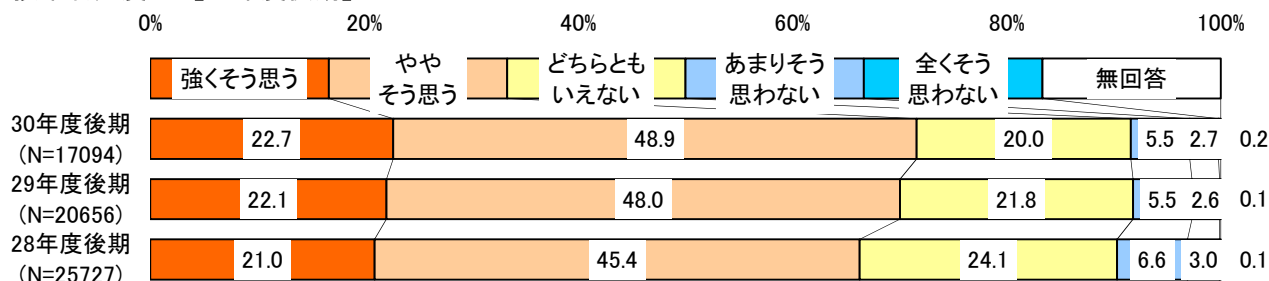
1 授業満足度の時系列比較 (2) 30年度後期

[学生]

学生の授業満足度を時系列でみると、30年度後期全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は7割強で、29年度後期からほぼ横ばい。学部・学科別では、人間学部、教職課程・学芸員課程で5ポイント以上上昇したが、外国語学部は10ポイント低下した。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<授業満足度> 【30年度後期】



<学部・学科別 授業満足度の時系列比較>

学部別	回答者数	30年度後期	回答者数	29年度後期	回答者数	28年度後期
全体	17094	71.7	20656	70.1	25727	66.3
法学部	1253	63.2	1548	66.9	2208	62.5
経営学部	1087	72.0	1197	72.8	1900	72.3
経済学部	1052	68.8	1370	66.1	1685	66.9
理工学部	3711	70.3	4912	65.6	7417	60.5
農学部	1245	70.0	1979	71.3	2585	66.3
薬学部	5233	74.1	5715	72.9	5684	67.8
都市情報学部	1392	70.5	1671	70.3	2083	72.4
人間学部	1089	75.4	1267	69.5	1485	72.4
外国語学部 (1~3年次のみ)	767	<u>73.8</u>	535	83.6	270	80.4
教職課程・学芸員課程	265	85.3	462	77.9	410	80.7

学科別	回答者数	30年度後期	回答者数	29年度後期	回答者数	28年度後期
全体	17094	71.7	20656	70.1	25727	66.3
法学科	1253	63.2	1530	66.5	2178	62.2
経営学科	884	71.8	933	71.8	1486	71.5
国際経営学科	203	72.9	264	76.1	414	75.1
経済学科	682	71.4	930	66.7	1386	65.4
産業社会学科	370	64.1	440	<u>65.0</u>	299	73.9
数学科	279	65.9	260	66.9	580	59.5
情報工学科	504	68.7	784	64.3	1212	54.3
電気電子工学科	338	72.8	627	66.7	865	64.2
材料機能工学科	184	64.1	209	64.6	349	58.2
応用化学科	117	59.8	299	62.9	259	53.7
機械工学科	263	66.9	452	59.7	775	63.6
交通機械工学科	437	67.0	446	58.5	527	62.2
メカトロニクス工学科	251	<u>61.4</u>	390	66.4	635	59.4
社会基盤デザイン工学科	613	77.8	854	70.7	905	62.5
環境創造学科	261	80.1	279	71.0	681	59.5
建築学科	464	72.0	312	67.3	629	66.0
生物資源学科	424	67.9	672	72.8	989	65.3
応用生物化学科	548	72.1	804	73.4	894	69.6
生物環境科学科	273	69.2	503	66.0	702	63.5
薬学科	5233	74.1	5715	72.9	5684	67.8
都市情報学科	1392	70.5	1671	70.3	2083	72.4
人間学科	1089	75.4	1267	69.5	1485	72.4
国際英語学科 (1~3年次のみ)	767	<u>73.8</u>	535	83.6	270	80.4

* 「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)

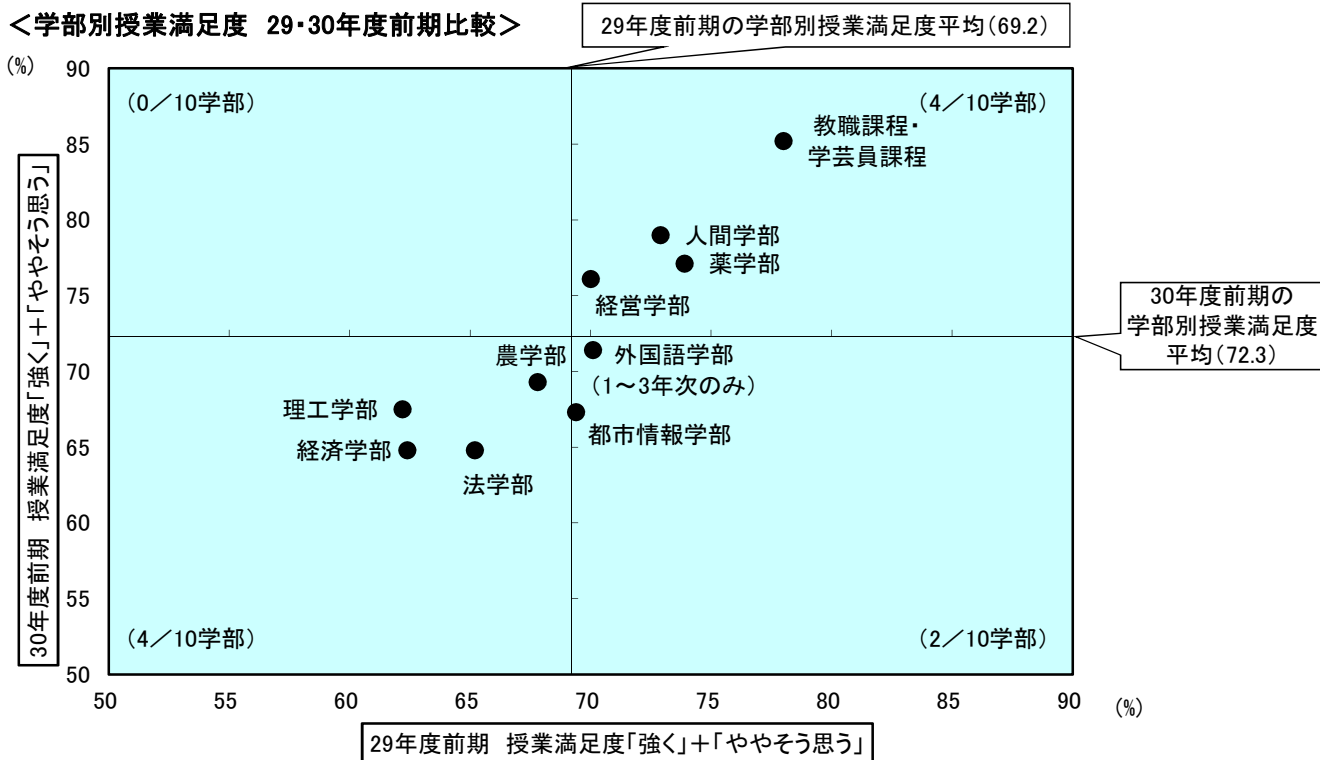
* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

1 授業満足度の時系列比較 (3) 30年度前期

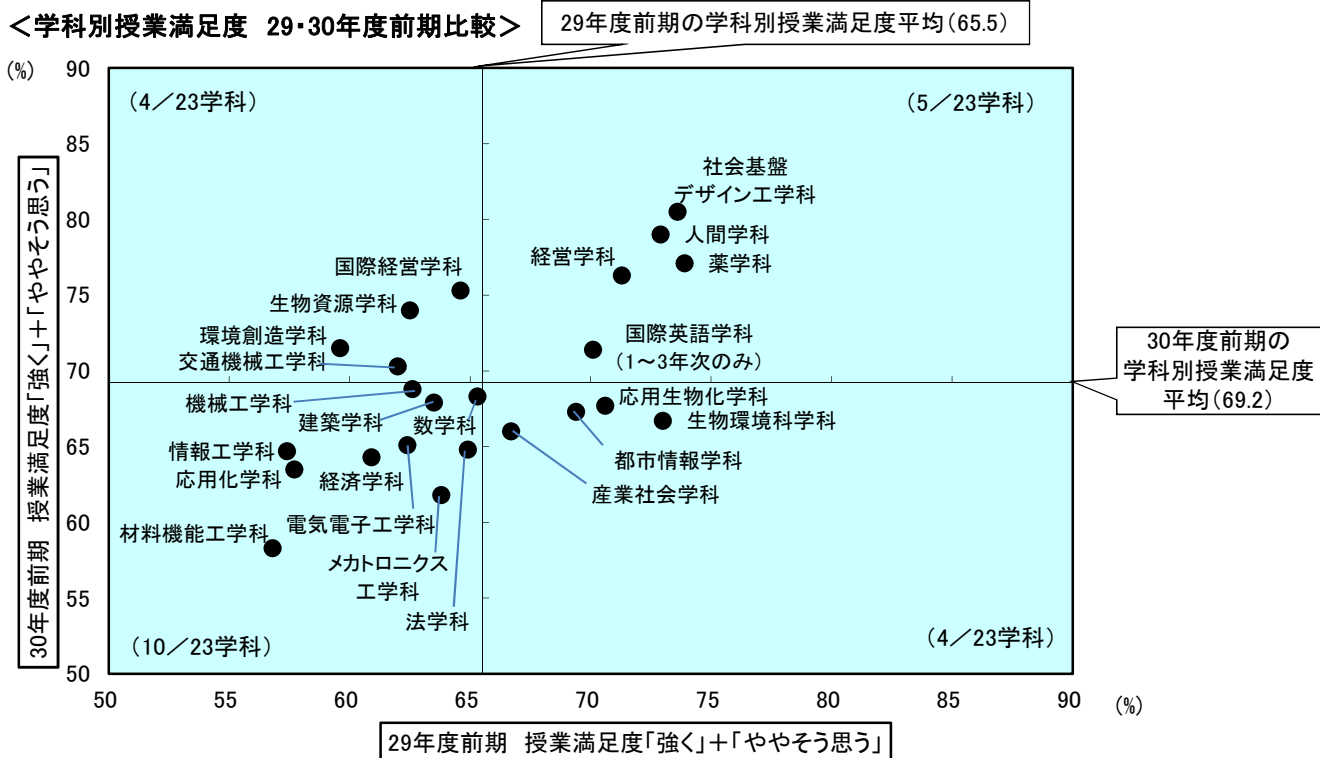
[学生]

29年度前期・30年度前期ともに授業満足度が高いのは教職課程・学芸員過程、人間学部、薬学部、経営学部。一方、29年度前期・30年度前期ともに授業満足度が低いのは法学部、経済学部、理工学部。農学部、外国語学部は、いずれもほぼ平均に位置している。

＜学部別授業満足度 29・30年度前期比較＞



＜学科別授業満足度 29・30年度前期比較＞

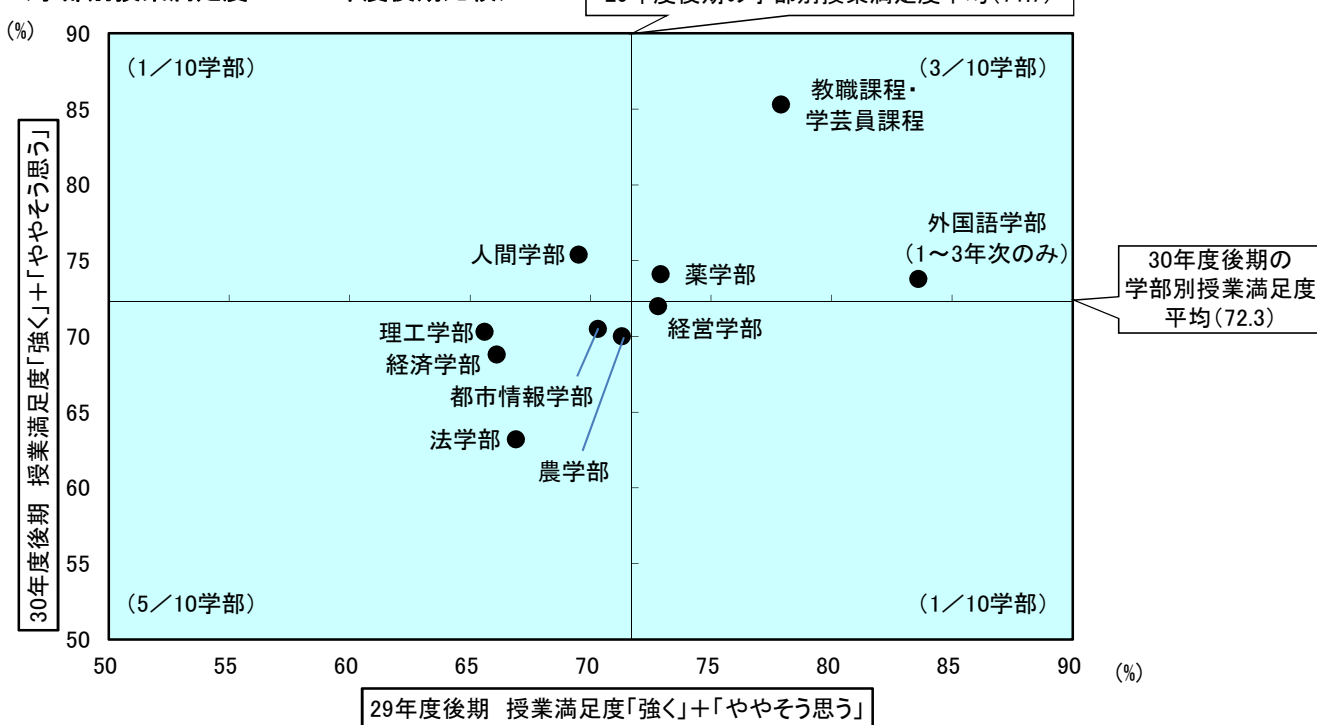


1 授業満足度の時系列比較（4） 30年度後期

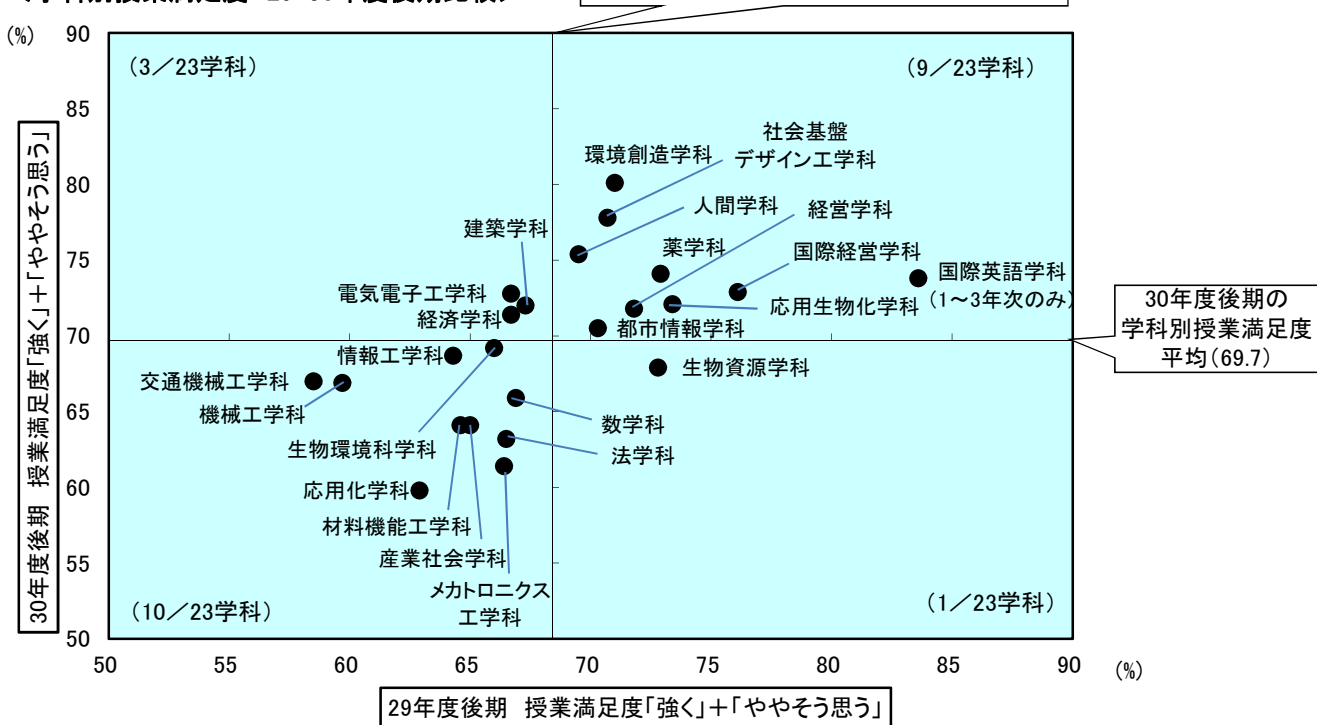
[学生]

29年度後期・30年度後期ともに授業満足度が高いのは外国語学部、教職課程・学芸員課程。一方、29年度後期・30年度後期ともに授業満足度が低いのは法学部、経済学部、理工学部。経営学部、都市情報学部、農学部、薬学部は、いずれもほぼ平均に位置している。

＜学部別授業満足度 29・30年度後期比較＞



＜学科別授業満足度 29・30年度後期比較＞

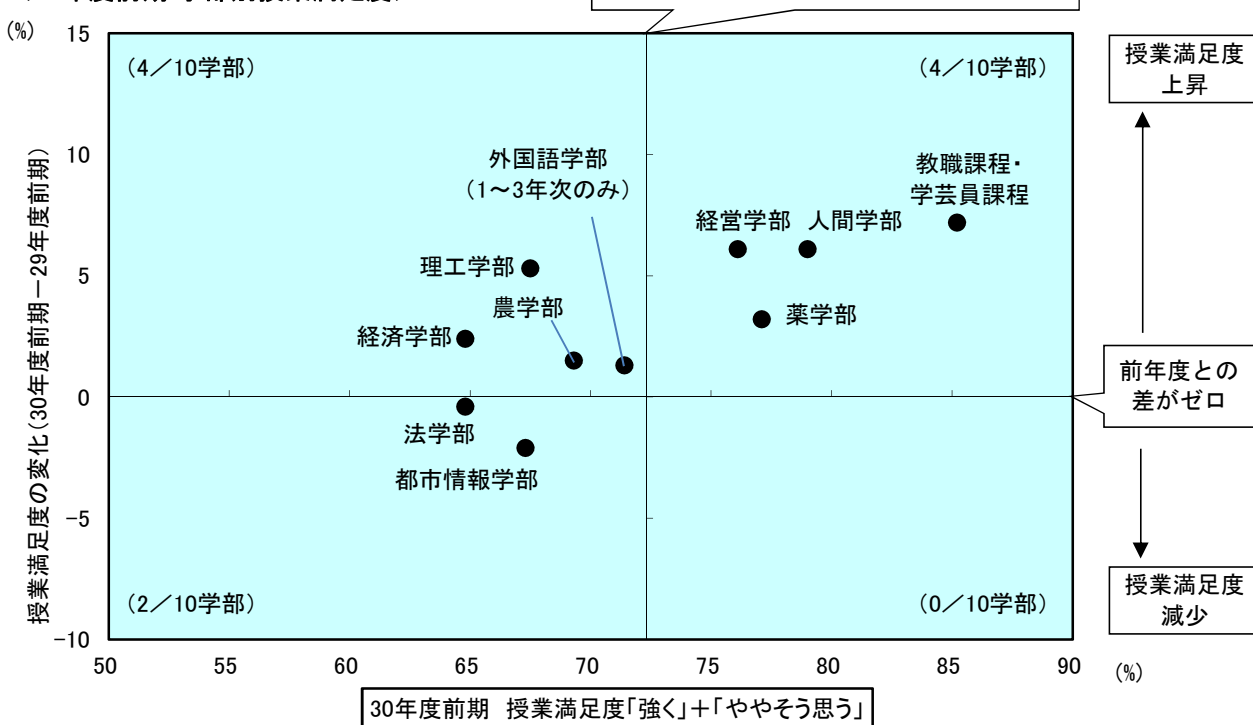


1 授業満足度の時系列比較 (5) 30年度前期

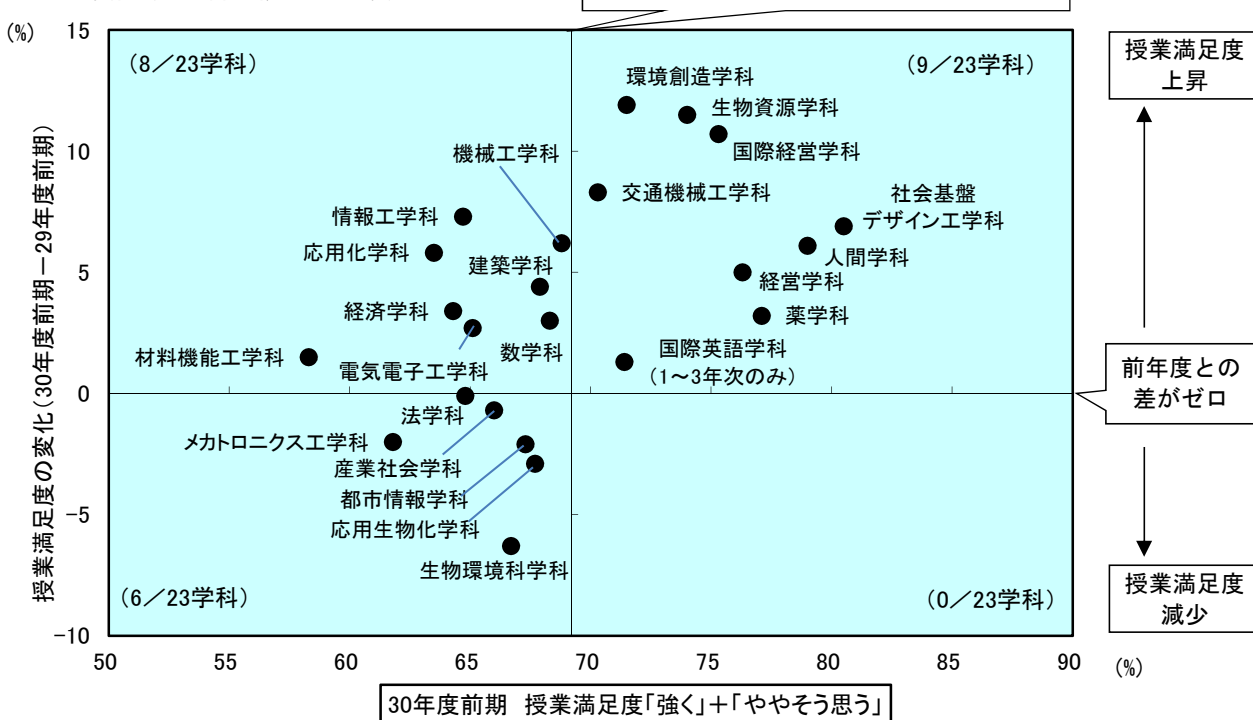
[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを比較した。
29年度前期から授業満足度が大きく上昇したのは教職課程・学芸員課程、人間学部、経営学部、理工学部。教職課程・学芸員課程は授業満足度が最も高い学部となった。

<30年度前期 学部別授業満足度>



<30年度前期 学科別授業満足度>

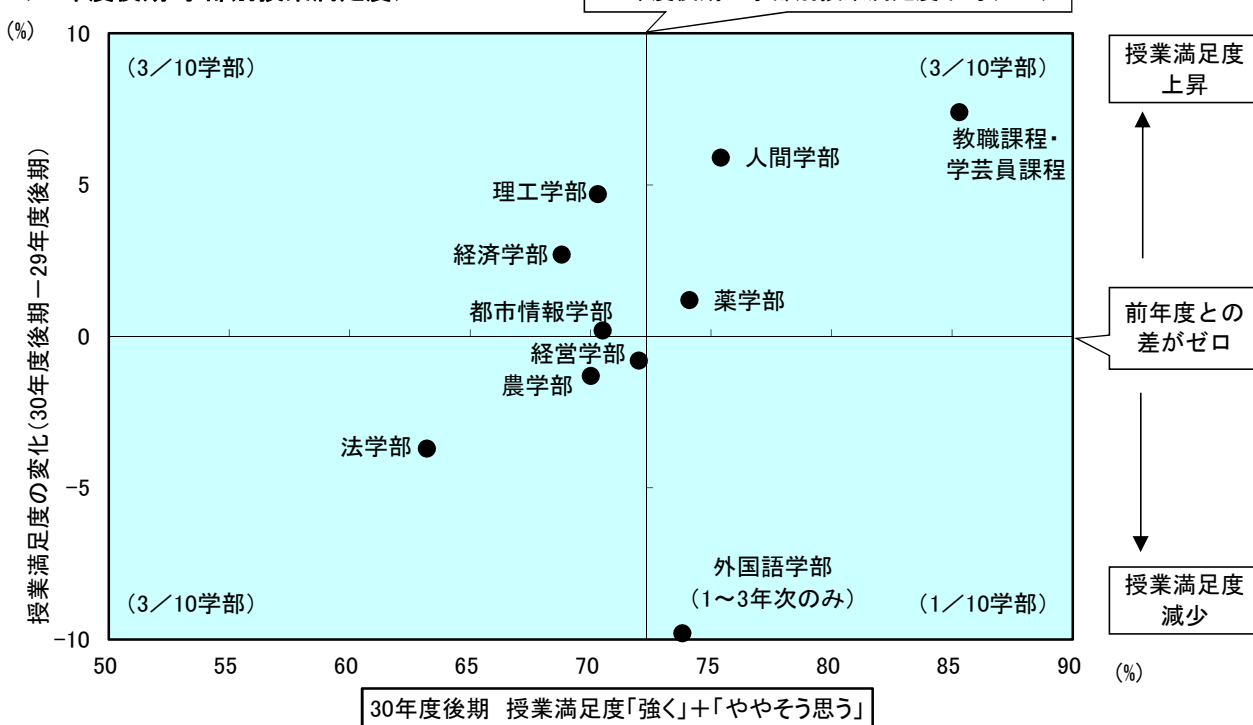


1 授業満足度の時系列比較（6） 30年度後期

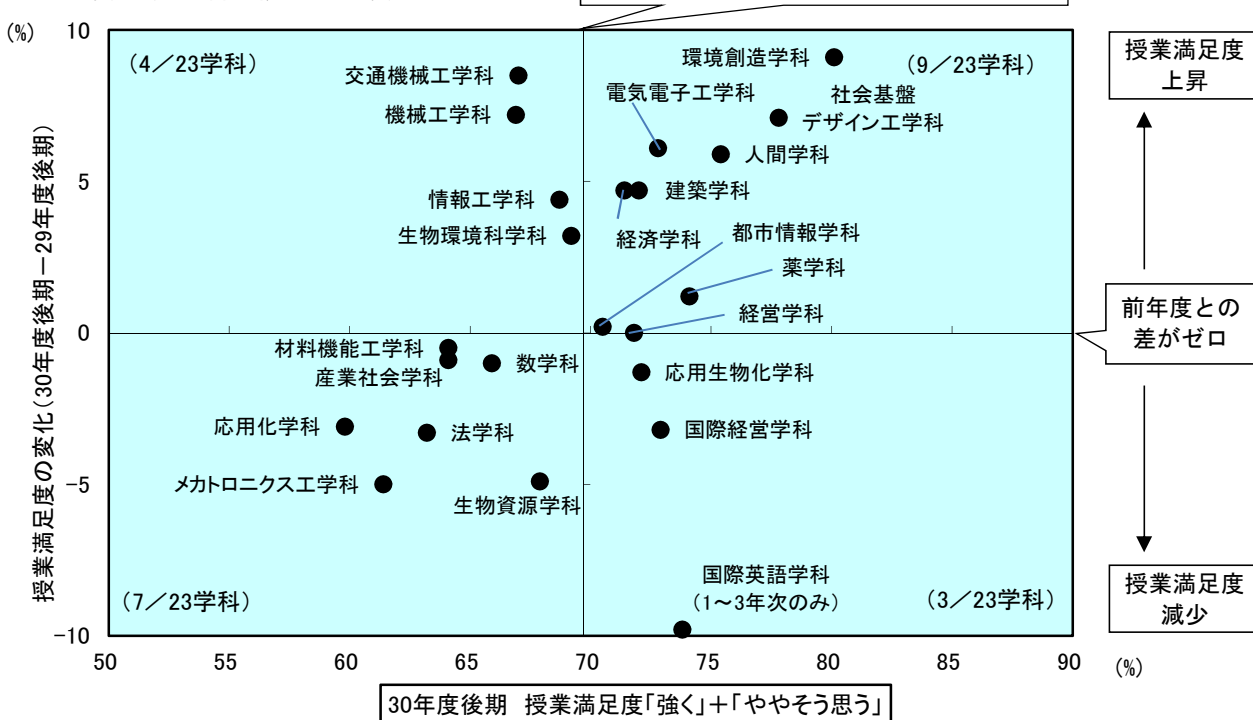
[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを比較した。
29年度後期から授業満足度が大きく上昇したのは教職課程・学芸員課程、人間学部、理工学部。
一方、外国語学部は大きく低下した。

<30年度後期 学部別授業満足度>



<30年度後期 学科別授業満足度>



1 授業満足度の時系列比較（7）

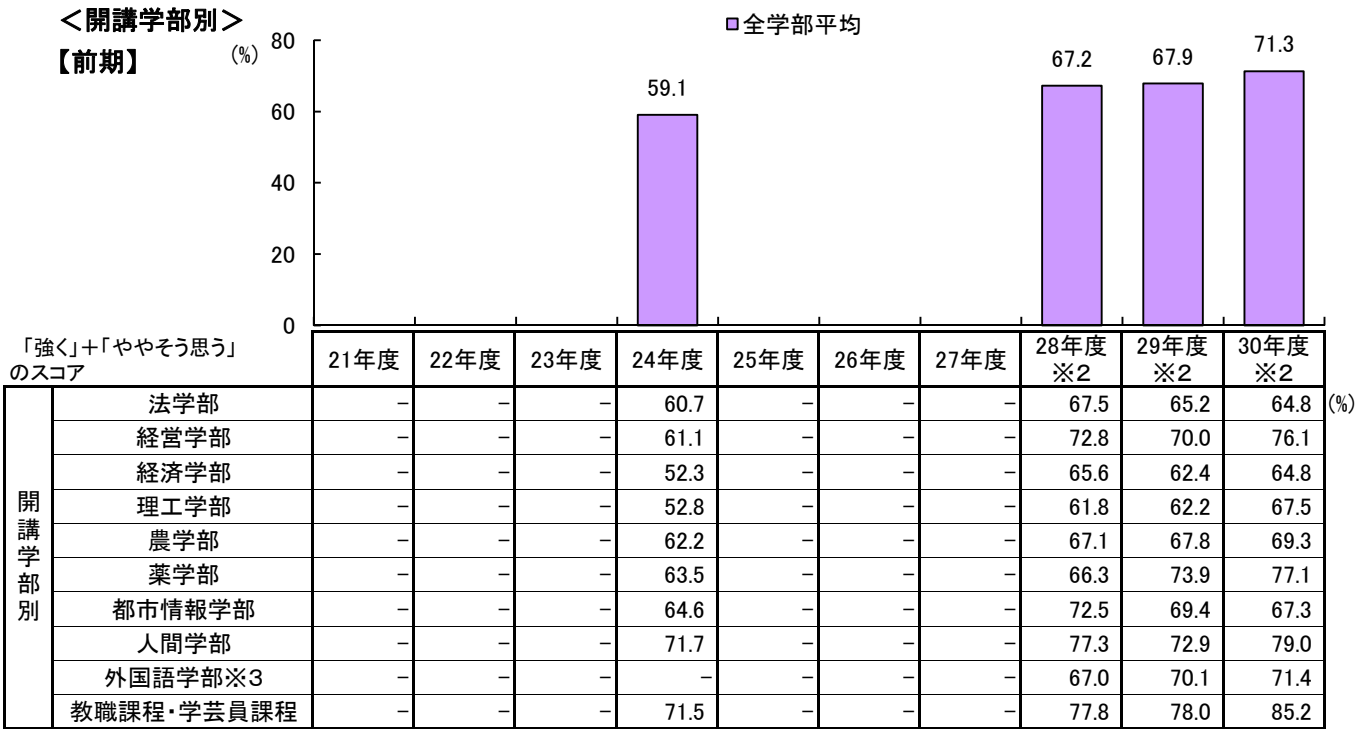
授業満足度を各学部別に時系列で確認した。

前期、後期ともに、授業満足度は上昇傾向にある（但し、平成21年度は「この授業は総合的に見て満足のものである。」、平成22～24年度は「この授業は満足のものである。」で測定）。

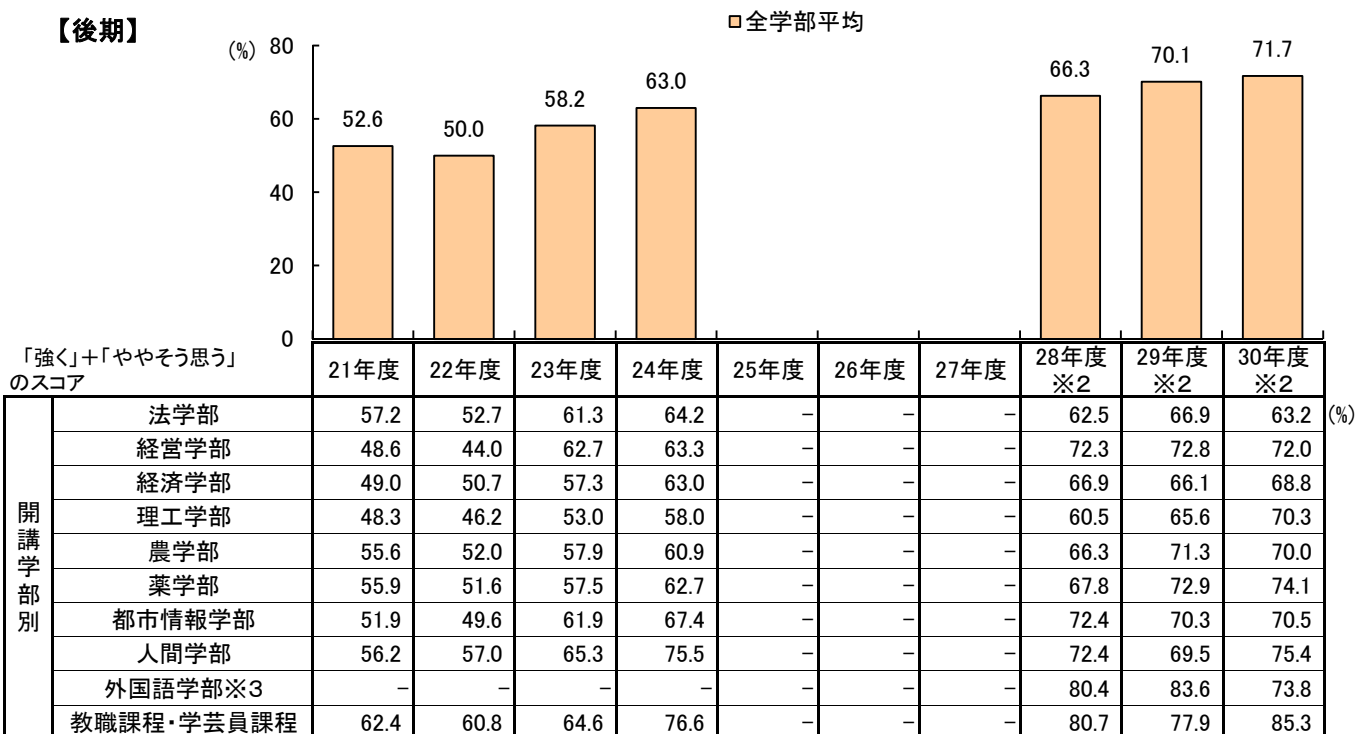
Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。※1

<開講学部別>

【前期】



【後期】



(※1) 平成21年度は「この授業は総合的に見て満足のものである。」、平成22～24年度は「この授業は満足のものである。」で測定

(※2) 平成28年度前期は常勤WEBアンケート、非常勤 紙アンケート、

28年度後期、29年度前期・後期、30年度前期・後期は常勤・非常勤 WEBアンケートで実施

(※3) 1～3年次のみ

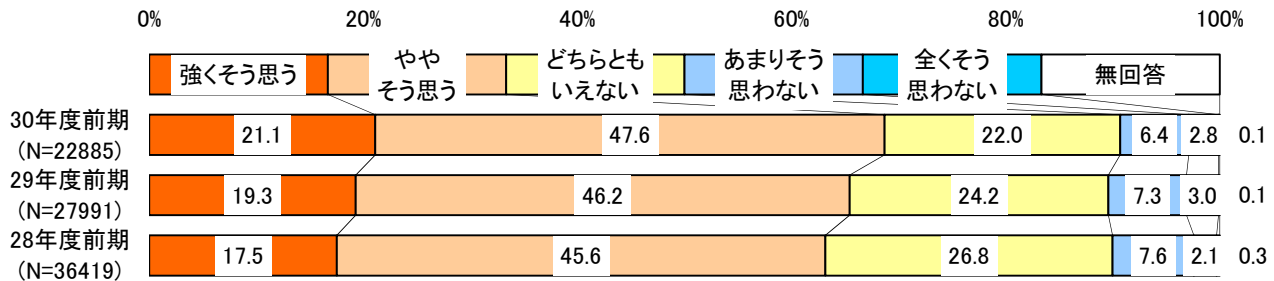
2 成長実感の時系列比較 (1) 30年度前期

[学生]

学生の成長実感を時系列で見ると、30年度前期全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は7割弱に上昇。学部・学科別では、人間学部、薬学部で上昇がみられる。

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

<成長実感> 【30年度前期】



<学部・学科別 成長実感の時系列比較>

学部別	回答者数	30年度前期	回答者数	29年度前期	回答者数	28年度前期
全体	22885	68.7	27991	65.5	36419	63.2
法学部	2081	63.0	2288	63.0	4264	61.1
経営学部	1575	71.0	1728	68.2	2898	66.3
経済学部	1359	60.9	1832	59.7	2654	60.6
理工学部	6366	66.6	7864	63.1	11167	60.5
農学部	1575	66.2	2359	66.2	4005	62.0
薬学部	5715	72.6	6278	67.6	4004	61.1
都市情報学部	1443	62.6	2692	64.4	3562	66.8
人間学部	1292	80.5	1765	70.0	2171	71.9
外国語学部 (1~3年次のみ)	1114	70.7	775	72.8	730	68.2
教職課程・学芸員課程	365	82.7	410	77.8	964	78.1

学科別	回答者数	30年度前期	回答者数	29年度前期	回答者数	28年度前期
全体	22885	68.7	27991	65.5	36419	63.2
法学科	2081	63.0	2266	62.8	4233	61.0
経営学科	1292	71.2	1386	69.3	2461	67.0
国際経営学科	283	70.0	342	63.7	437	62.0
経済学科	932	60.5	1343	58.7	1915	58.7
産業社会学科	427	61.6	489	62.2	739	65.2
数学科	445	67.2	475	62.1	962	56.8
情報工学科	1137	65.1	1474	57.4	1593	52.7
電気電子工学科	679	64.1	959	62.6	1325	59.8
材料機能工学科	398	59.8	368	59.2	530	60.2
応用化学科	189	<u>56.6</u>	333	63.1	336	66.1
機械工学科	385	68.6	636	66.5	1027	63.6
交通機械工学科	340	68.5	547	62.9	962	64.6
メカトロニクス工学科	610	61.8	770	64.7	1011	59.8
社会基盤デザイン工学科	580	78.8	764	71.6	932	64.2
環境創造学科	793	68.7	725	63.2	1345	63.5
建築学科	810	67.0	813	64.5	1144	61.3
生物資源学科	466	67.0	963	61.4	2014	60.3
応用生物化学科	764	64.9	888	68.9	1276	63.8
生物環境科学科	345	68.1	508	70.7	715	63.8
薬学科	5715	72.6	6278	67.6	4004	61.1
都市情報学科	1443	62.6	2692	64.4	3562	66.8
人間学科	1292	80.5	1765	70.0	2171	71.9
国際英語学科 (1~3年次のみ)	1114	70.7	775	72.8	730	68.2

* 「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)

* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

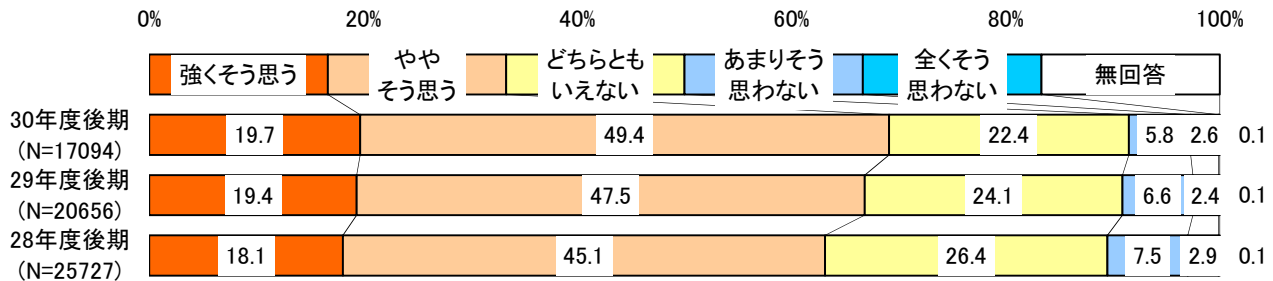
2 成長実感の時系列比較 (2) 30年度後期

[学生]

学生の成長実感を時系列で見ると、30年度後期全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は約7割に上昇。学部・学科別では、教職課程・学芸員課程、理工学部で上昇がみられる。

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

<成長実感> 【30年度後期】



<学部・学科別 成長実感の時系列比較>

学部別	回答者数	30年度後期	回答者数	29年度後期	回答者数	28年度後期
全体	17094	69.1	20656	66.9	25727	63.1
法学部	1253	61.7	1548	64.3	2208	58.5
経営学部	1087	71.1	1197	69.6	1900	68.4
経済学部	1052	65.0	1370	63.6	1685	63.6
理工学部	3711	70.0	4912	64.6	7417	58.6
農学部	1245	68.0	1979	67.3	2585	64.3
薬学部	5233	68.6	5715	66.8	5684	62.3
都市情報学部	1392	67.6	1671	67.0	2083	69.3
人間学部	1089	73.3	1267	70.2	1485	70.6
外国語学部 (1~3年次のみ)	767	75.2	535	79.1	270	80.4
教職課程・学芸員課程	265	86.0	462	78.1	410	77.1

学科別	回答者数	30年度後期	回答者数	29年度後期	回答者数	28年度後期
全体	17094	69.1	20656	66.9	25727	63.1
法学科	1253	61.7	1530	64.0	2178	58.2
経営学科	884	70.4	933	68.4	1486	68.2
国際経営学科	203	74.4	264	73.9	414	69.3
経済学科	682	67.3	930	62.8	1386	61.6
産業社会学科	370	60.8	440	65.2	299	72.9
数学科	279	65.6	260	65.0	580	55.5
情報工学科	504	70.6	784	62.6	1212	54.0
電気電子工学科	338	73.4	627	61.9	865	65.1
材料機能工学科	184	57.1	209	67.0	349	49.6
応用化学科	117	66.7	299	62.2	259	59.1
機械工学科	263	70.0	452	60.2	775	61.8
交通機械工学科	437	65.2	446	59.4	527	56.9
メカトロニクス工学科	251	60.6	390	64.9	635	58.3
社会基盤デザイン工学科	613	77.3	854	69.3	905	57.8
環境創造学科	261	73.9	279	70.6	681	58.4
建築学科	464	73.3	312	70.2	629	65.8
生物資源学科	424	66.3	672	69.2	989	65.2
応用生物化学科	548	67.5	804	69.8	894	67.2
生物環境科学科	273	71.8	503	60.8	702	59.1
薬学科	5233	68.6	5715	66.8	5684	62.3
都市情報学科	1392	67.6	1671	67.0	2083	69.3
人間学科	1089	73.3	1267	70.2	1485	70.6
国際英語学科 (1~3年次のみ)	767	75.2	535	79.1	270	80.4

* 「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)

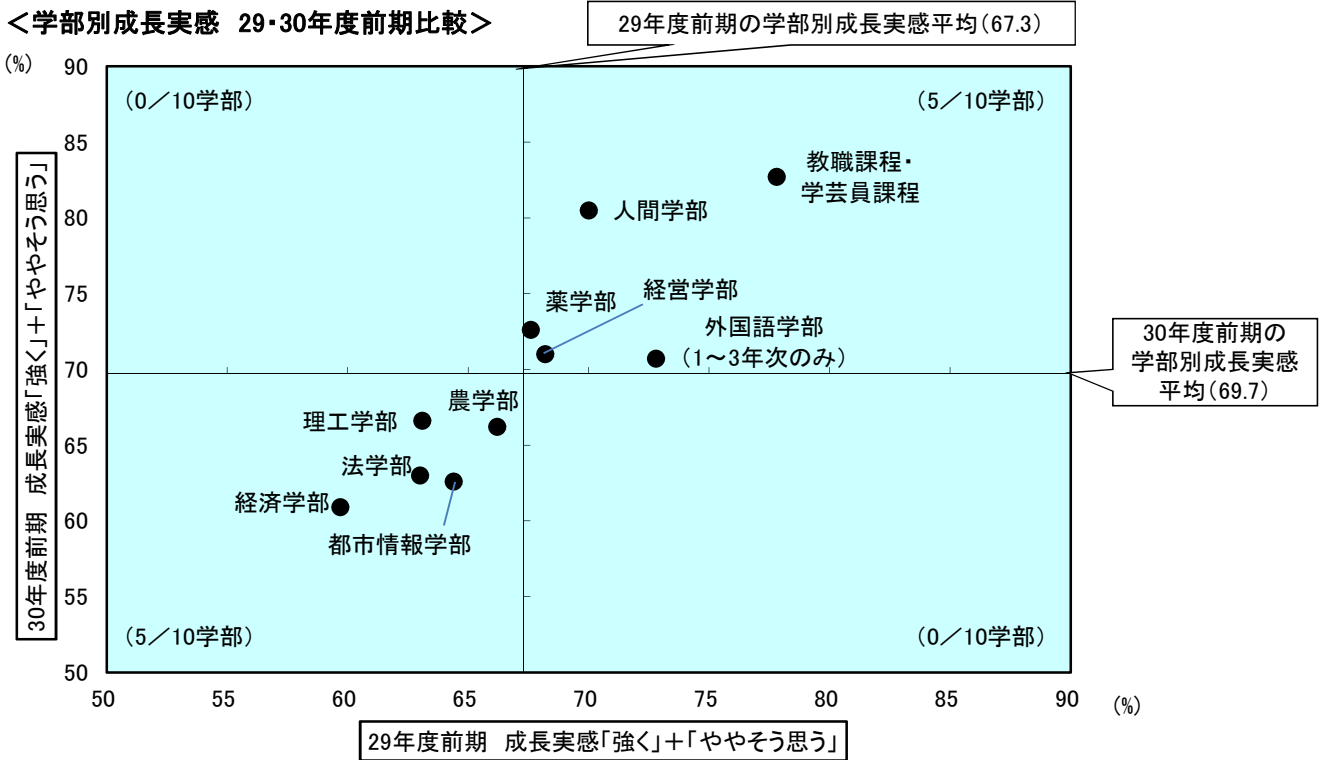
* 前年度より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

2 成長実感の時系列比較 (3) 30年度前期

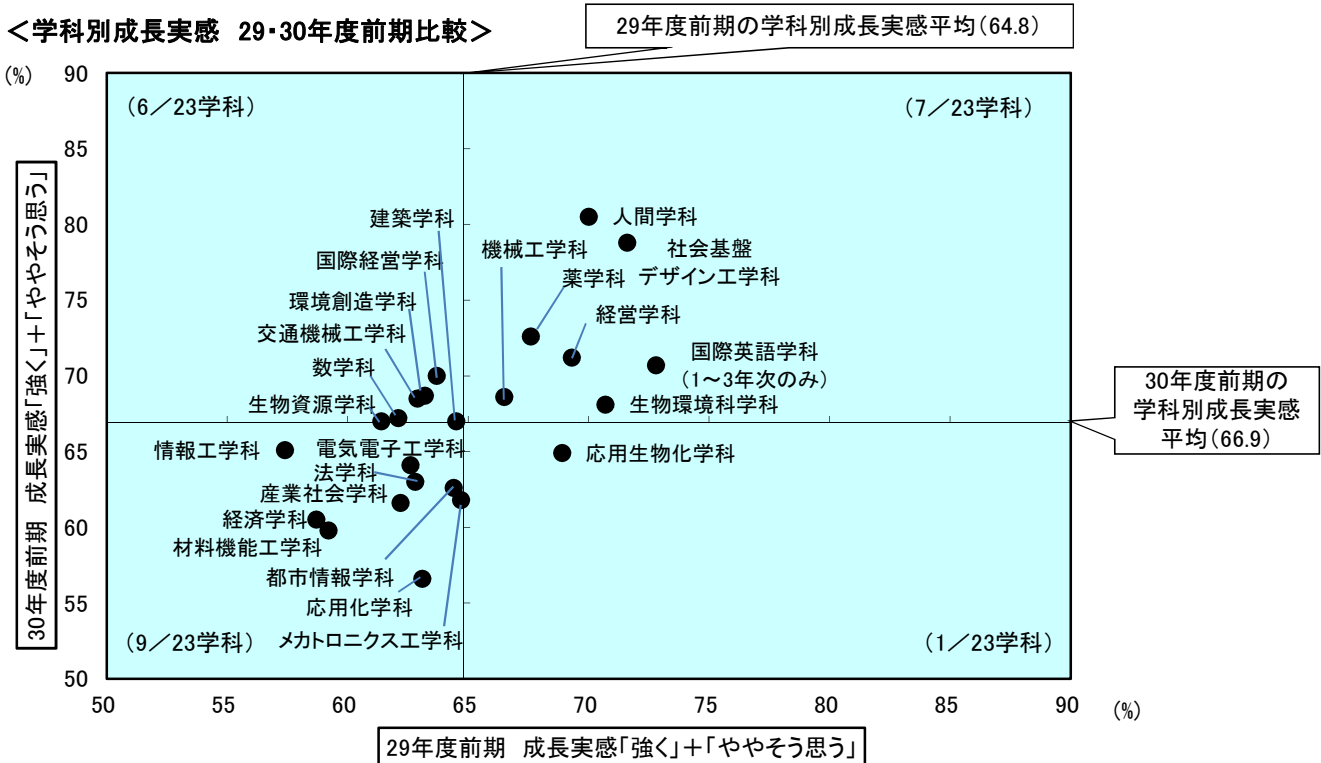
[学生]

29年度前期・30年度前期ともに成長実感が高いのは教職課程・学芸員過程、人間学部。一方、29年度前期・30年度前期ともに成長実感が低いのは経済学部、法学部、都市情報学部、理工学部。経営学部、薬学部、農学部は、いずれもほぼ平均に位置している。

<学部別成長実感 29・30年度前期比較>



<学科別成長実感 29・30年度前期比較>

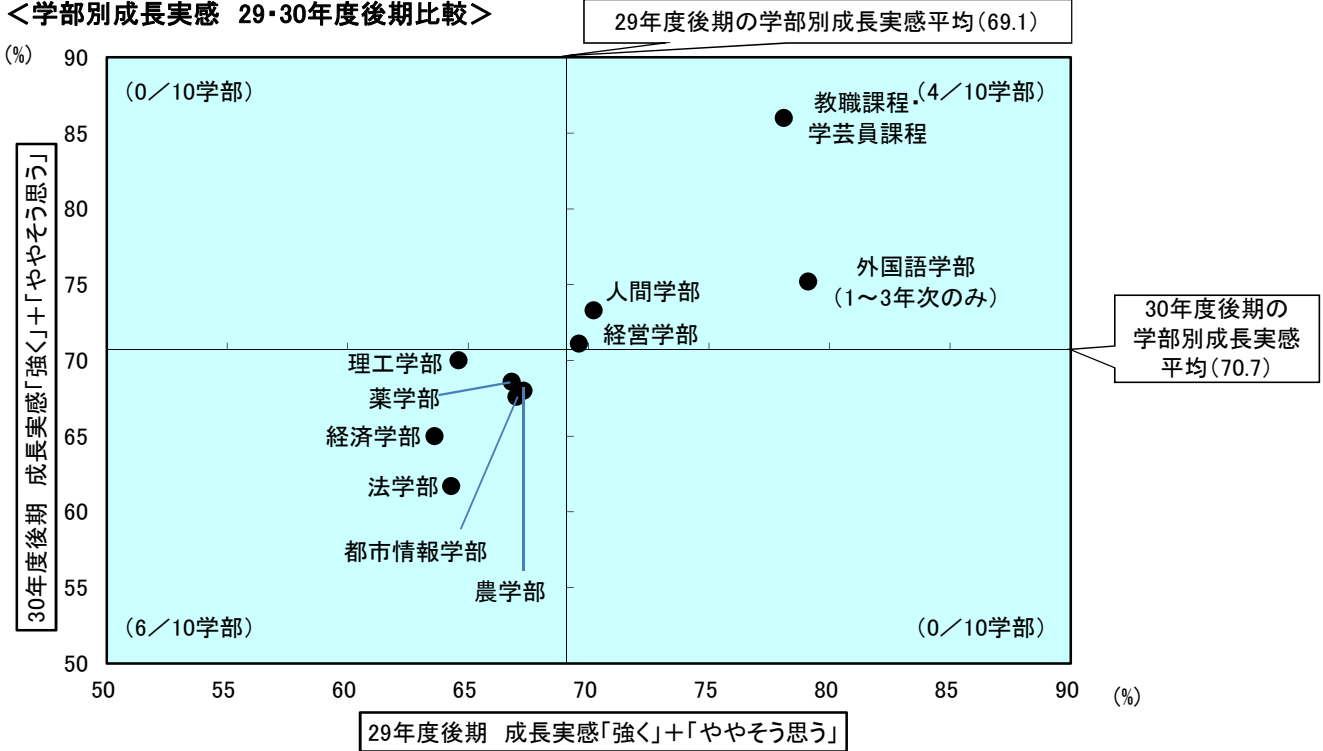


2 成長実感の時系列比較（4） 30年度後期

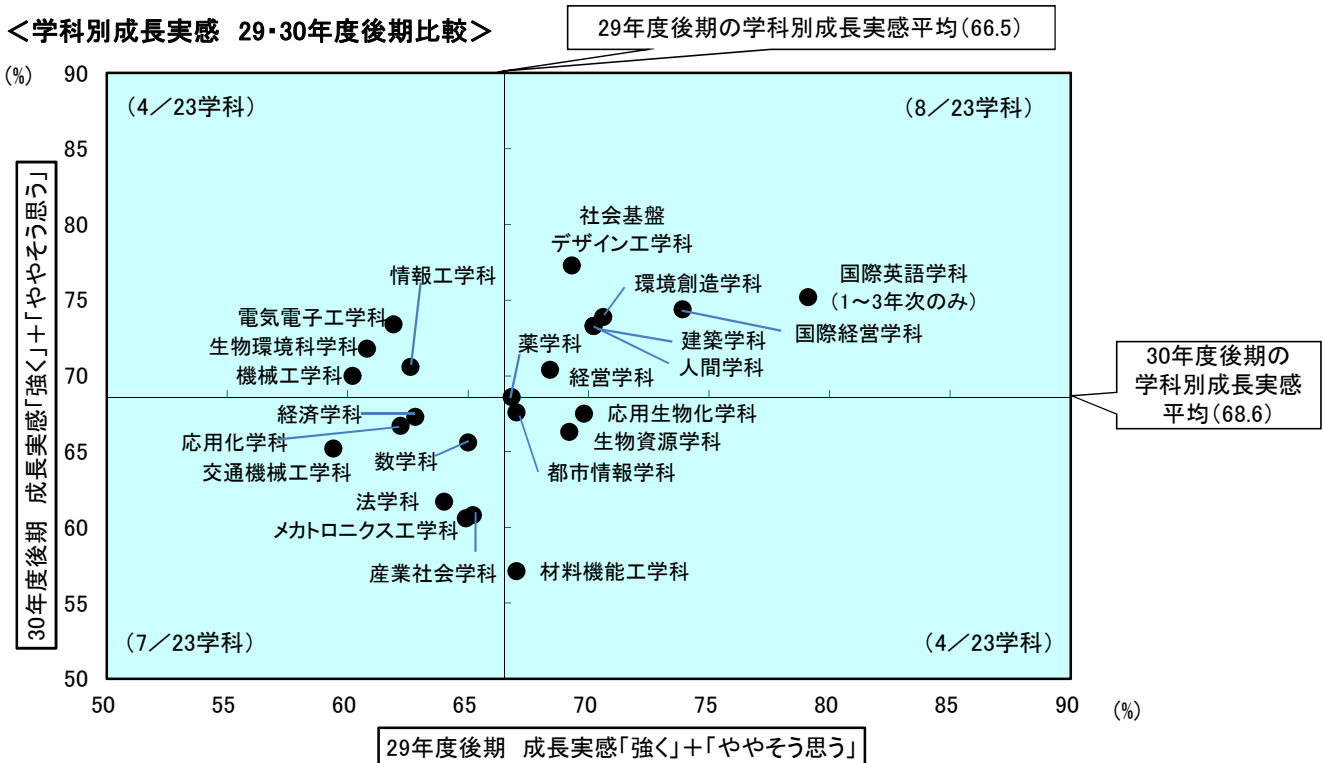
[学生]

29年度後期・30年度後期ともに成長実感が高いのは教職課程・学芸員過程、外国語学部。一方、29年度後期・30年度後期ともに成長実感が低いのは、法学部、経済学部。人間学部、経営学部は、いずれもほぼ平均に位置している。

＜学部別成長実感 29・30年度後期比較＞



＜学科別成長実感 29・30年度後期比較＞

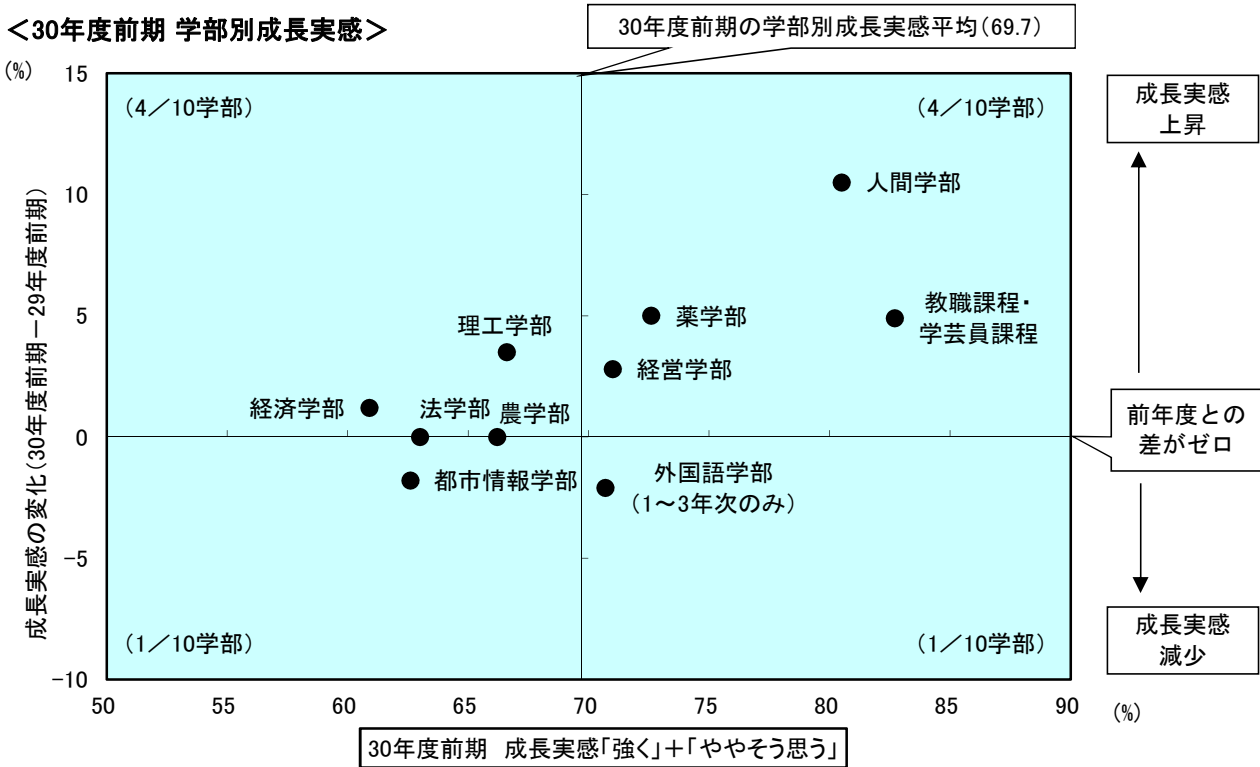


2 成長実感の時系列比較 (5) 30年度前期

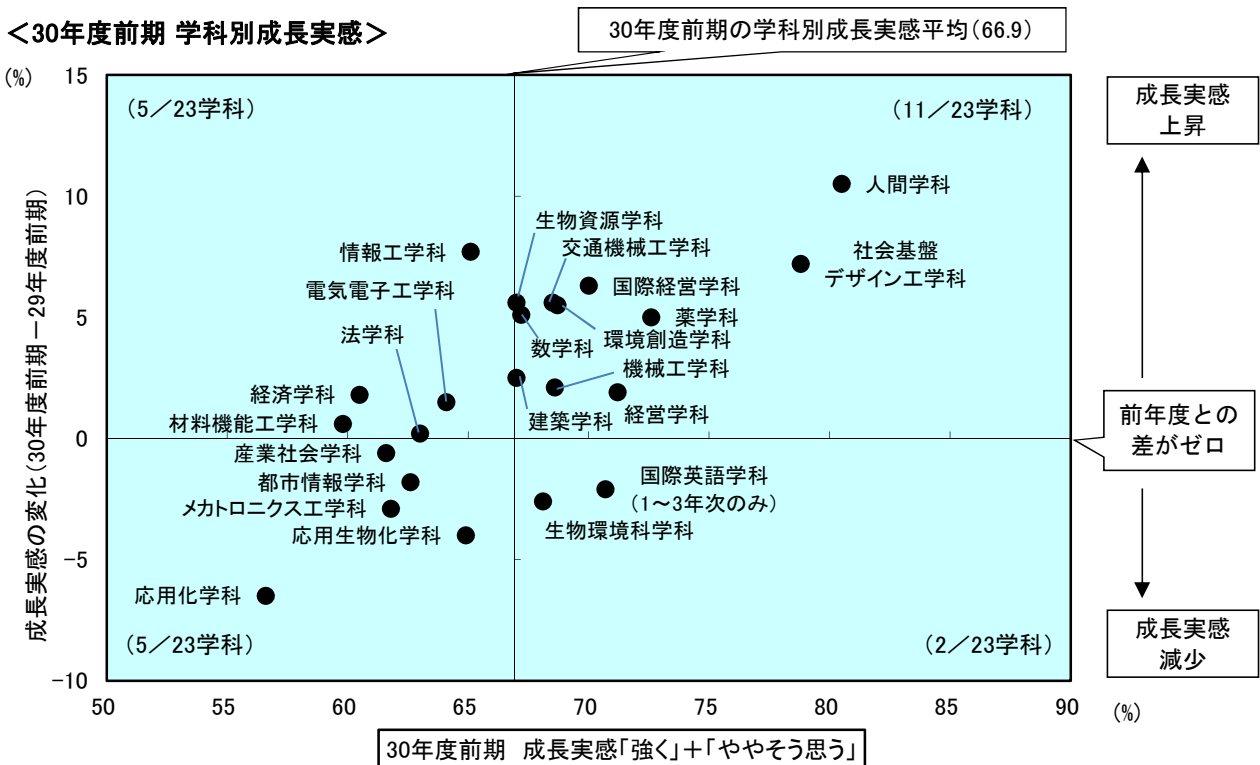
[学生]

学部別、学科別に成長実感の変化の度合いを比較した。
29年度前期から成長実感が大きく上昇したのは人間学部、教職課程・学芸員課程、薬学部など。教職課程・学芸員課程は成長実感が最も高い学部となった。

<30年度前期 学部別成長実感>



<30年度前期 学科別成長実感>

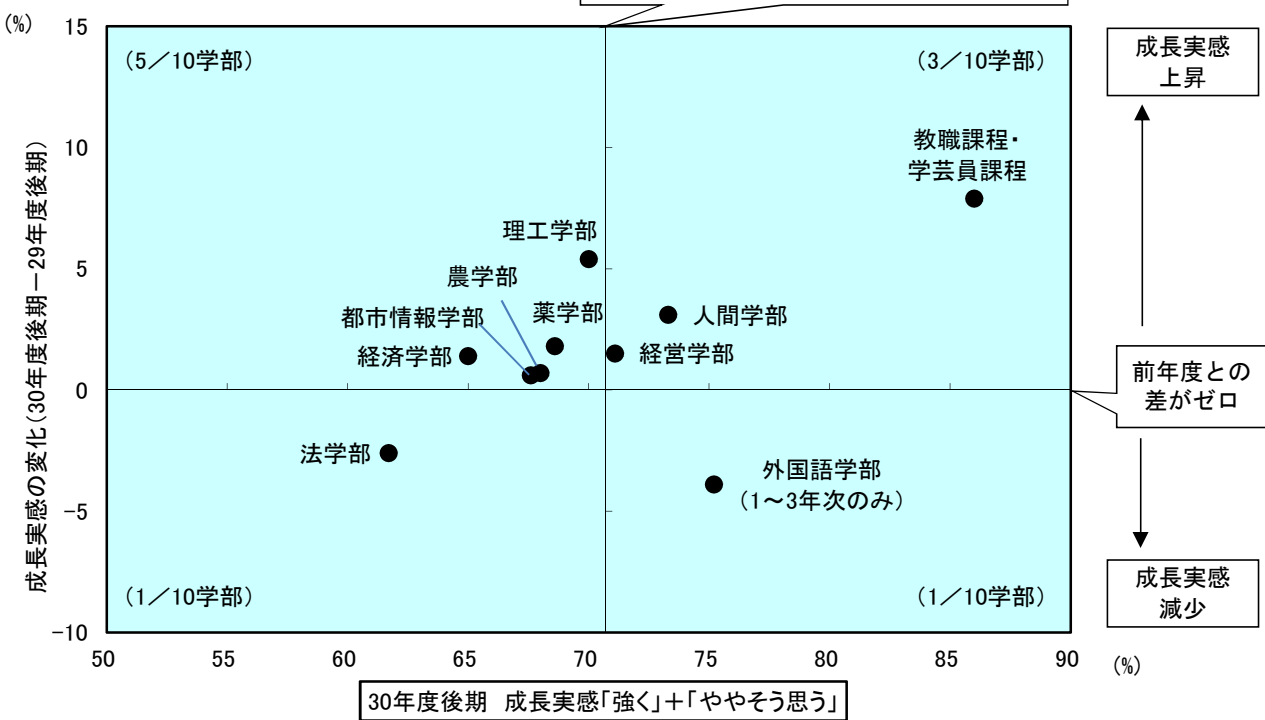


2 成長実感の時系列比較（6） 30年度後期

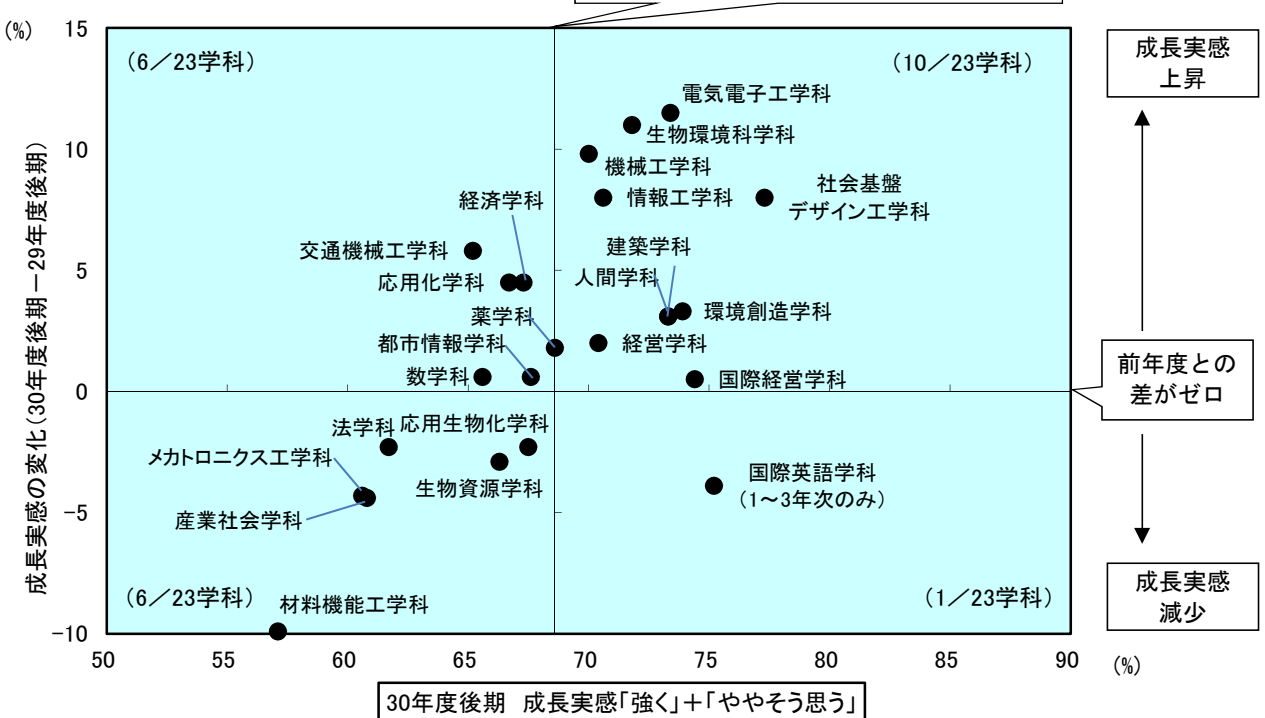
[学生]

学部別、学科別に成長実感の変化の度合いを比較した。
29年度後期から成長実感が大きく上昇したのは教職課程・学芸員課程、理工学部。一方、外国語学部、法学部は低下した。

<30年度後期 学部別成長実感>



<30年度後期 学科別成長実感>



3 調査結果のまとめ 30年度前期

[学生]

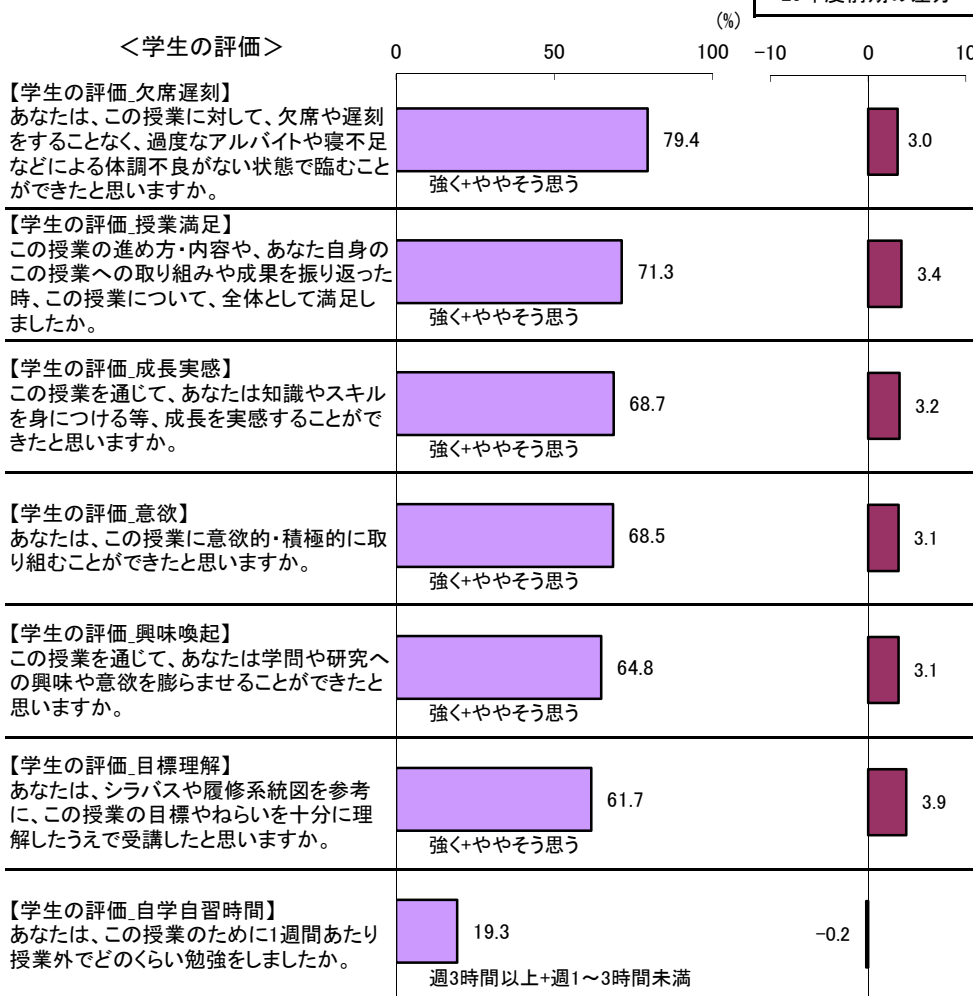
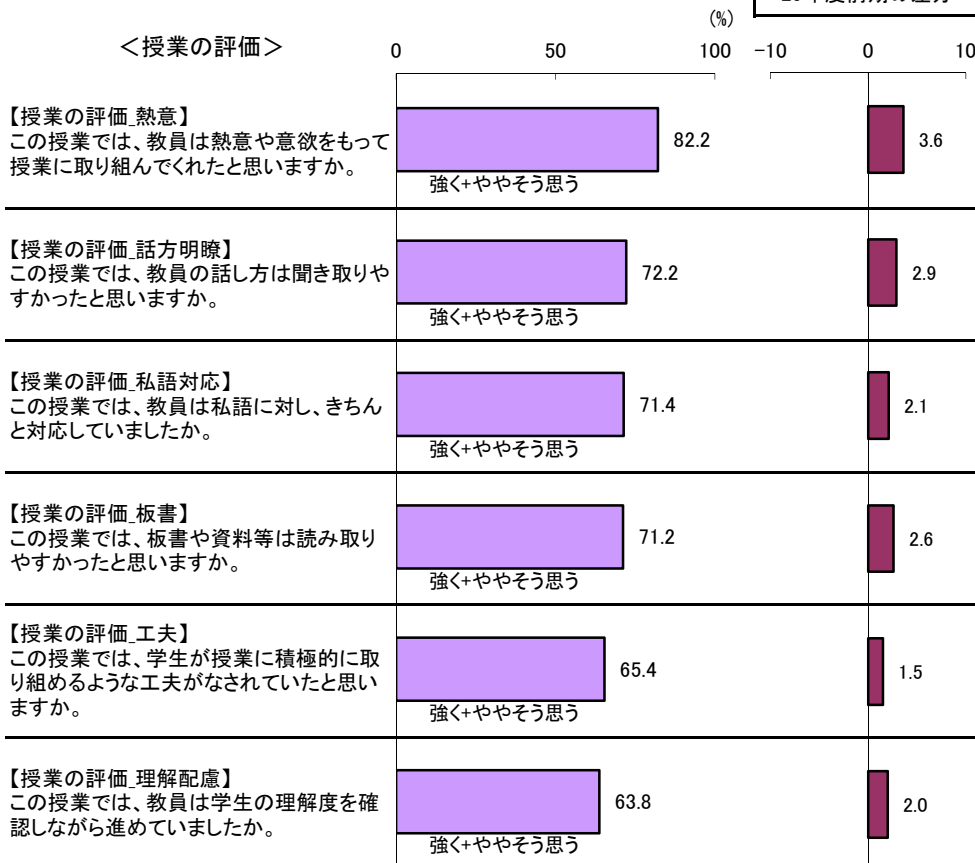
30年度前期の授業に対する評価は、「熱意」で最も高く、「話方明瞭」や「私語対応」「板書」についても7割以上で比較的评价が高い。また29年度前期に比べていずれも評価の上昇がみられる。学生自身の評価としては「欠席遅刻」が高いが、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1～3時間未満」の割合は約2割にとどまる。

【30年度前期】 30年度前期(N=22885)／29年度前期(N=27991)

30年度前期と
29年度前期の差分

* 横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

30年度前期と
29年度前期の差分



3 調査結果のまとめ 30年度後期

[学生]

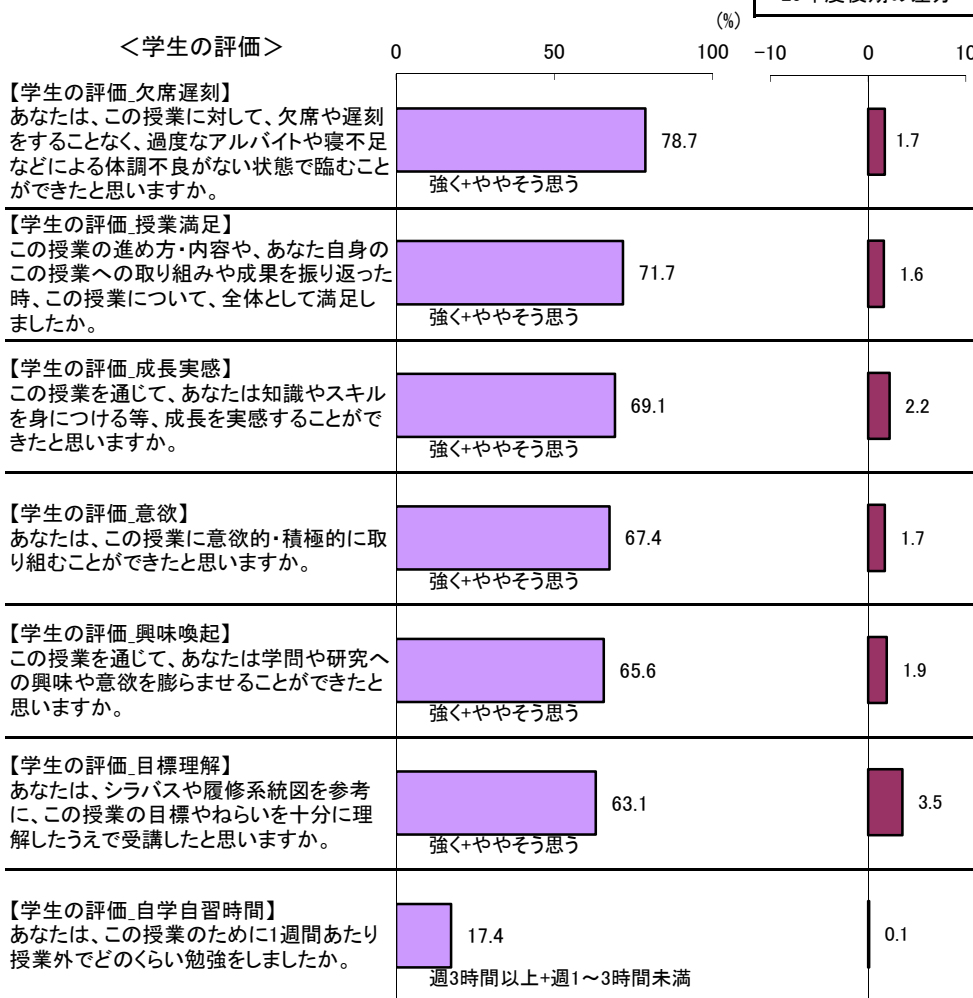
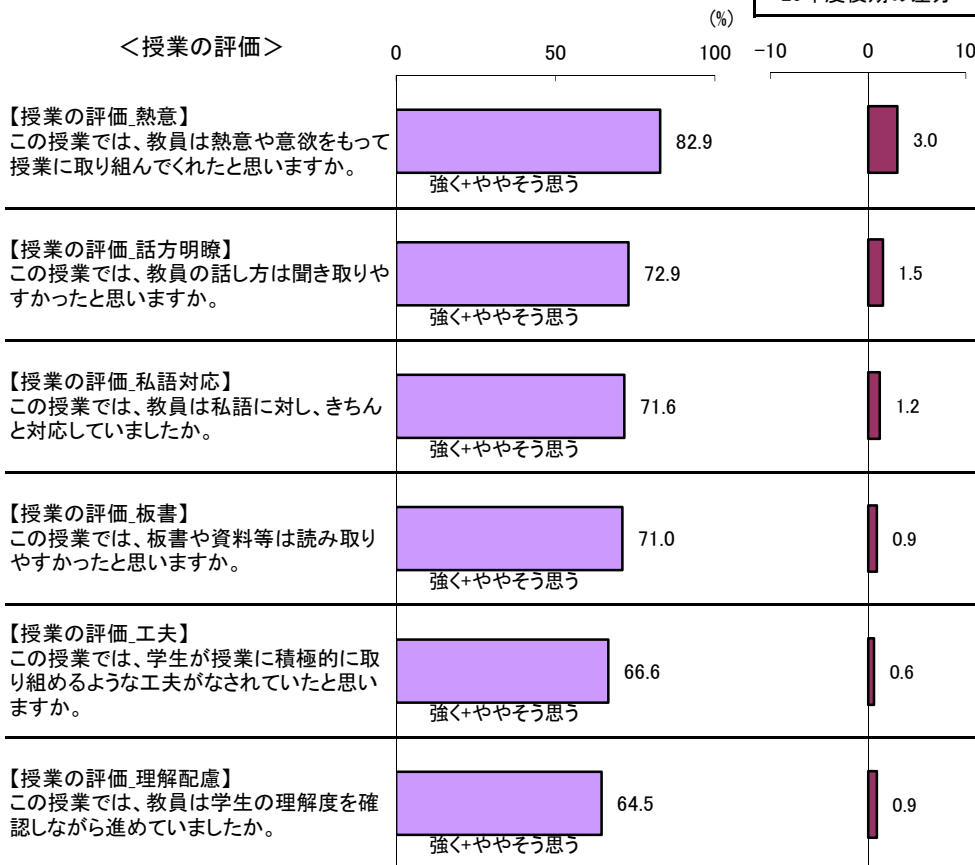
30年度後期の授業に対する評価は、「熱意」のほか、「話方明瞭」「私語対応」「板書」で7割以上と高い。学生自身の評価としては「欠席遅刻」が高いが、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1～3時間未満」の割合は2割を下回る。

【30年度後期】 30年度後期(N=17094)／29年度後期(N=20656)

30年度後期と
29年度後期の差分

* 横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

30年度後期と
29年度後期の差分



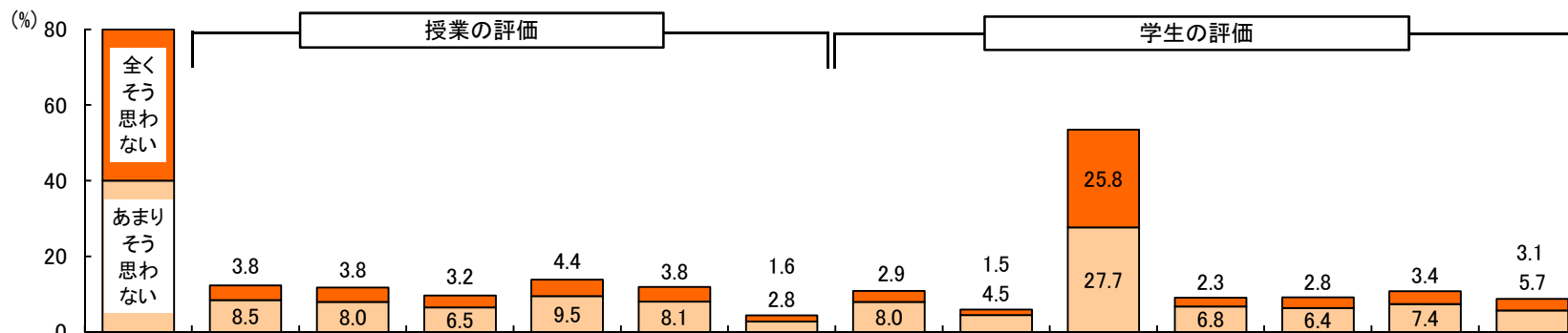
4 学部別改善ポイント 30年度前期

[学生]

「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。
 30年度前期の全学部平均では、自学自習を「週30分未満」+「していない」の学生が5割強にのぼり、最も高い人間学部では7割強となっている。

【30年度前期】

全学部平均
(N=22885)



開講学部別	人数	評価項目													
		板書	話方明瞭	私語対応	理解配慮	工夫	熱意	目標理解	欠席遅刻	自学自習時間※1	意欲	成長実感	興味喚起	授業満足	
法学部	(n=2081)	17.5	14.8	12.5	17.0	16.6	5.9	11.3	8.3	60.6	11.4	13.6	14.5	12.4	
経営学部	(n=1575)	11.6	9.4	5.2	10.5	10.5	2.4	7.7	5.5	65.4	7.2	9.4	9.8	7.2	
経済学部	(n=1359)	19.6	17.1	9.9	20.4	18.8	6.2	11.5	9.9	66.1	14.9	15.9	17.7	15.1	
理工学部	(n=6366)	15.2	16.1	12.6	17.6	14.4	6.9	12.8	7.0	44.3	11.0	11.4	14.1	11.6	
農学部	(n=1575)	14.9	14.0	10.4	16.0	14.1	4.5	10.0	6.5	59.4	9.8	9.1	11.3	9.9	
薬学部	(n=5715)	5.0	5.7	6.9	7.9	6.0	1.9	10.4	3.8	46.8	5.6	3.5	4.4	3.0	
都市情報学部	(n=1443)	13.3	12.9	10.5	15.2	14.5	5.1	11.4	5.8	60.9	11.0	13.7	15.3	11.6	
人間学部	(n=1292)	10.2	7.1	7.8	12.0	10.4	2.3	9.1	6.3	73.5	8.7	6.6	7.6	7.3	
外国語学部(1~3年次のみ)	(n=1114)	14.4	15.1	8.7	15.2	12.1	3.0	9.7	3.8	50.2	7.4	7.9	10.6	8.0	
教職課程・学芸員課程	(n=365)	5.2	3.8	7.7	5.8	6.0	0.3	8.2	3.3	65.5	4.4	3.6	6.0	4.9	

* 「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

* 網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

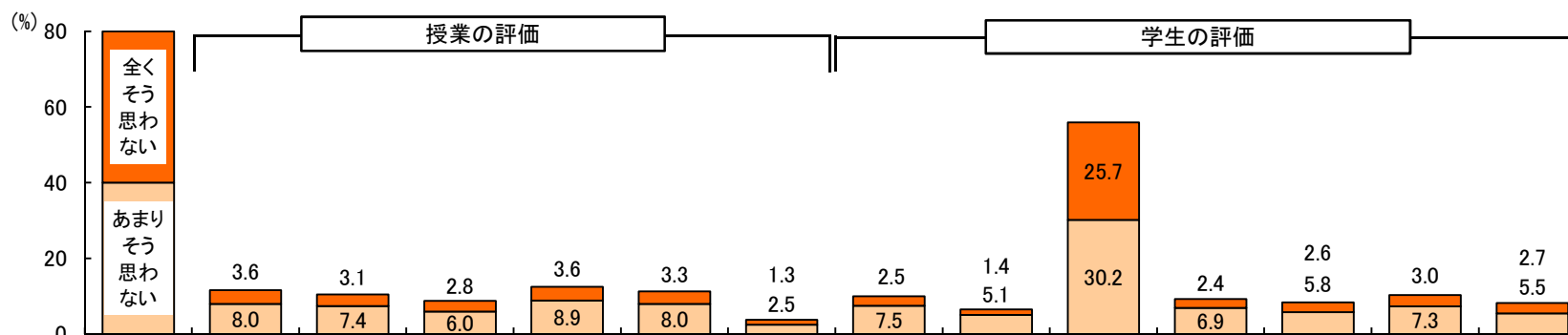
4 学部別改善ポイント 30年度後期

[学生]

30年度後期でも、全学部平均で「自学自習時間(「週30分未満」+「していない」)の高さが目立ち、人間学部は7割台半ばにのぼる。

【30年度後期】

全学部平均
(N=17094)



開講学部別	人数	評価項目													
		板書	話方明瞭	私語対応	理解配慮	工夫	熱意	目標理解	欠席遅刻	自学自習時間※1	意欲	成長実感	興味喚起	授業満足	
法学部	(n=1253)	18.5	17.8	13.1	18.8	18.6	7.3	12.8	10.9	62.0	15.4	15.4	17.6	14.8	
経営学部	(n=1087)	14.6	11.7	11.4	14.8	15.4	3.9	9.8	5.5	67.2	8.6	10.0	11.7	10.2	
経済学部	(n=1052)	16.4	14.1	10.6	17.0	15.5	5.3	10.6	9.7	66.7	13.1	13.0	15.1	11.8	
理工学部	(n=3711)	12.6	12.5	11.2	14.4	12.5	4.7	11.5	6.7	49.8	9.6	9.3	12.5	9.2	
農学部	(n=1245)	12.1	9.6	9.1	13.3	12.0	2.2	10.6	9.1	59.1	9.4	8.7	10.3	7.8	
薬学部	(n=5233)	7.0	7.1	5.1	7.4	6.7	2.7	8.4	3.6	48.1	6.7	4.4	5.5	4.5	
都市情報学部	(n=1392)	14.9	10.8	6.2	15.5	14.2	4.0	9.9	8.7	64.7	11.1	10.8	13.4	10.8	
人間学部	(n=1089)	10.4	8.8	8.0	12.2	10.7	2.8	10.3	8.0	74.9	9.9	8.6	9.9	7.2	
外国語学部(1~3年次のみ)	(n=767)	11.2	11.1	14.0	13.0	11.0	3.3	7.6	5.2	49.4	6.9	7.4	8.2	7.6	
教職課程・学芸員課程	(n=265)	8.7	3.4	7.5	7.9	5.7	2.6	8.7	6.8	57.4	6.8	4.5	7.9	5.7	

* 「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

* 網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

5 授業満足度を上げるための改善優先項目

[学生]

学生への設問の中で、授業満足度を上げるために教員自身が改善できると考えられる6項目について、授業満足度との関連度合いと不満度から改善優先度を算出した。結果、前期、後期ともに「この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた」「この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていた」に関して改善優先度が高いことがわかった。

授業満足度との関連度合い

「授業満足度との関連度合い」とは、**学生の授業満足度への影響の強さ**を数値で表したものです。学生アンケート設問項目と各質問項目の連関係数です。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足度」の評価との関係の強さを数値で表したものとすることになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。なお、サンプル数が少ない授業もあるため、授業ごとに計算したものでなく、全サンプルで算出しています。

不満度

「不満度」とは、各設問項目において、**学生の不満感の大きさ**を数値で表したもので、値が大きいほど不満が強く、最大で「1」、最小で「0」の値をとります。回答者全員が「強く思う」と回答した場合は「0」、「全くそう思わない」と回答した場合は「1」となります。

改善優先度

改善優先度とは、各設問の評価「授業満足度との関連度合い」と「不満度」を利用して、それぞれの項目に対する改善が求められる度合いを数値化したものです。以下の式で表されます。改善優先度は、値が高いほど改善が求められています。

$$\text{改善優先度} = \frac{\text{「授業満足度との関連度合い」} \times \text{「不満度」}}{\text{「授業満足度との関連度合い」の最大値}} \times 100$$

「改善優先度」は、全サンプルで算出した「授業満足度との関連度合い」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	28年度前期			29年度前期			30年度前期		
	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度
1.この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。	0.39	0.34	28.4	0.42	0.36	31.4	0.43	0.35	33.0
2.この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。	0.40	0.32	27.3	0.43	0.34	30.9	0.43	0.33	31.8
3.この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。	0.25	0.32	17.0	0.28	0.33	19.6	0.29	0.33	21.0
4.この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。	0.42	0.38	34.3	0.44	0.39	35.8	0.44	0.39	37.2
5.この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。	0.47	0.36	36.4	0.48	0.38	37.7	0.46	0.37	37.4
6.この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。	0.39	0.27	22.4	0.43	0.28	25.5	0.43	0.27	25.3
授業満足度との関連度合いの最大値	0.47			0.48			0.46		

	28年度後期			29年度後期			30年度後期		
	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度
1.この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。	0.40	0.35	29.6	0.43	0.35	31.5	0.42	0.35	31.9
2.この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。	0.40	0.34	29.2	0.44	0.33	30.1	0.43	0.33	30.6
3.この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。	0.30	0.32	20.5	0.31	0.32	20.6	0.29	0.32	20.2
4.この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。	0.43	0.39	35.7	0.45	0.38	35.4	0.43	0.38	35.9
5.この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。	0.47	0.38	37.6	0.48	0.36	36.4	0.46	0.37	36.7
6.この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。	0.41	0.28	24.2	0.44	0.27	25.0	0.42	0.26	23.6
授業満足度との関連度合いの最大値	0.47			0.48			0.46		

5 授業満足度を上げるための改善優先項目（全学部） [学生]

全学部平均では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」「話方明瞭」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。30年度後期も30年度前期と概ね同様の傾向を示している。

<改善優先度>

【全学部平均】

30年度前期全体 (N=22885)

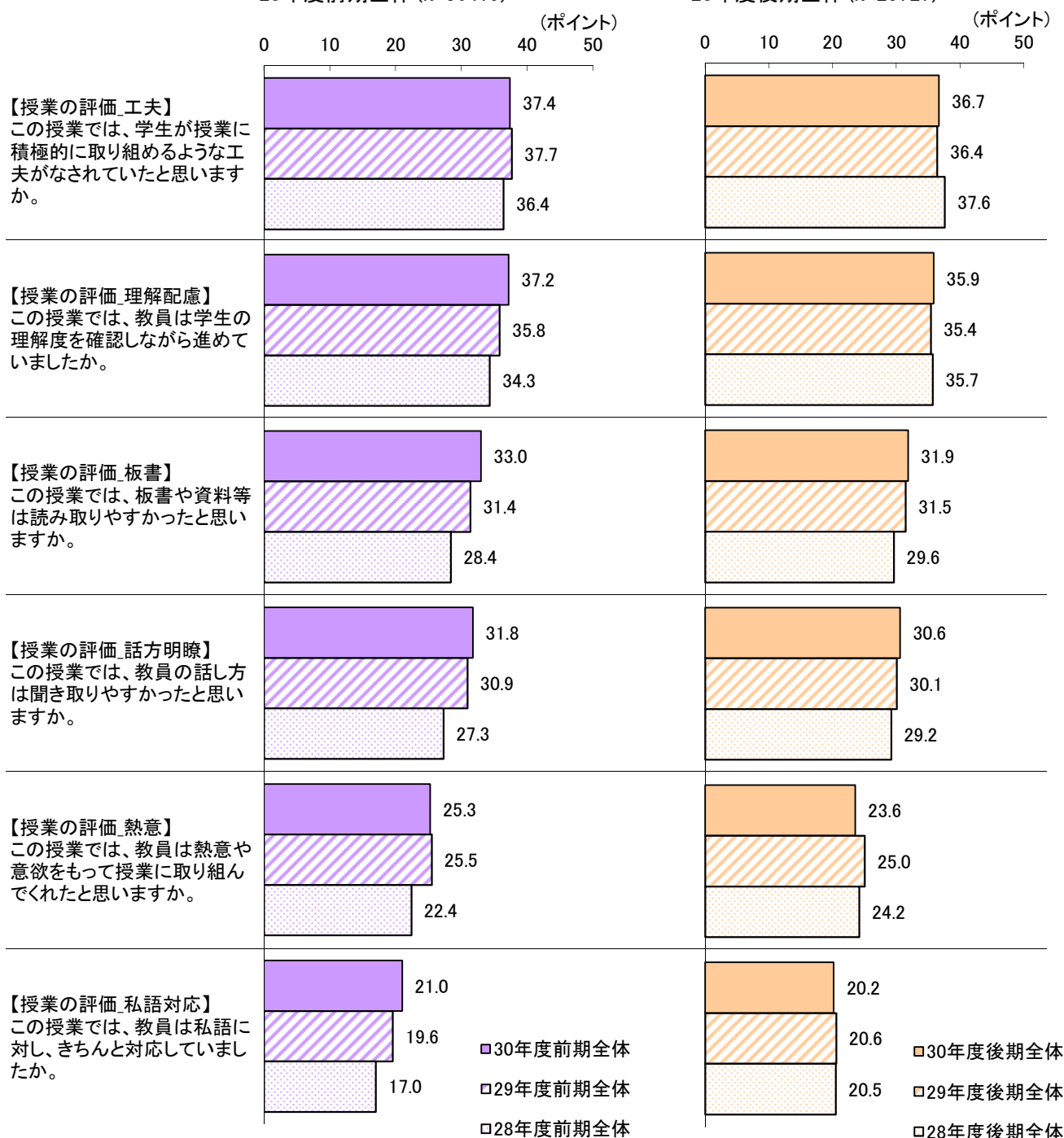
29年度前期全体 (N=27991)

28年度前期全体 (N=36419)

30年度後期全体 (N=17094)

29年度後期全体 (N=20656)

28年度後期全体 (N=25727)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（法学部） [学生]

法学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれも29年度前期に比べて上昇しており、「板書」で最も上昇が大きい。30年度後期も前期と同様、「工夫」と「理解配慮」で改善優先度が高い。

<改善優先度>

【法学部平均】

30年度前期全体 (n=2081)

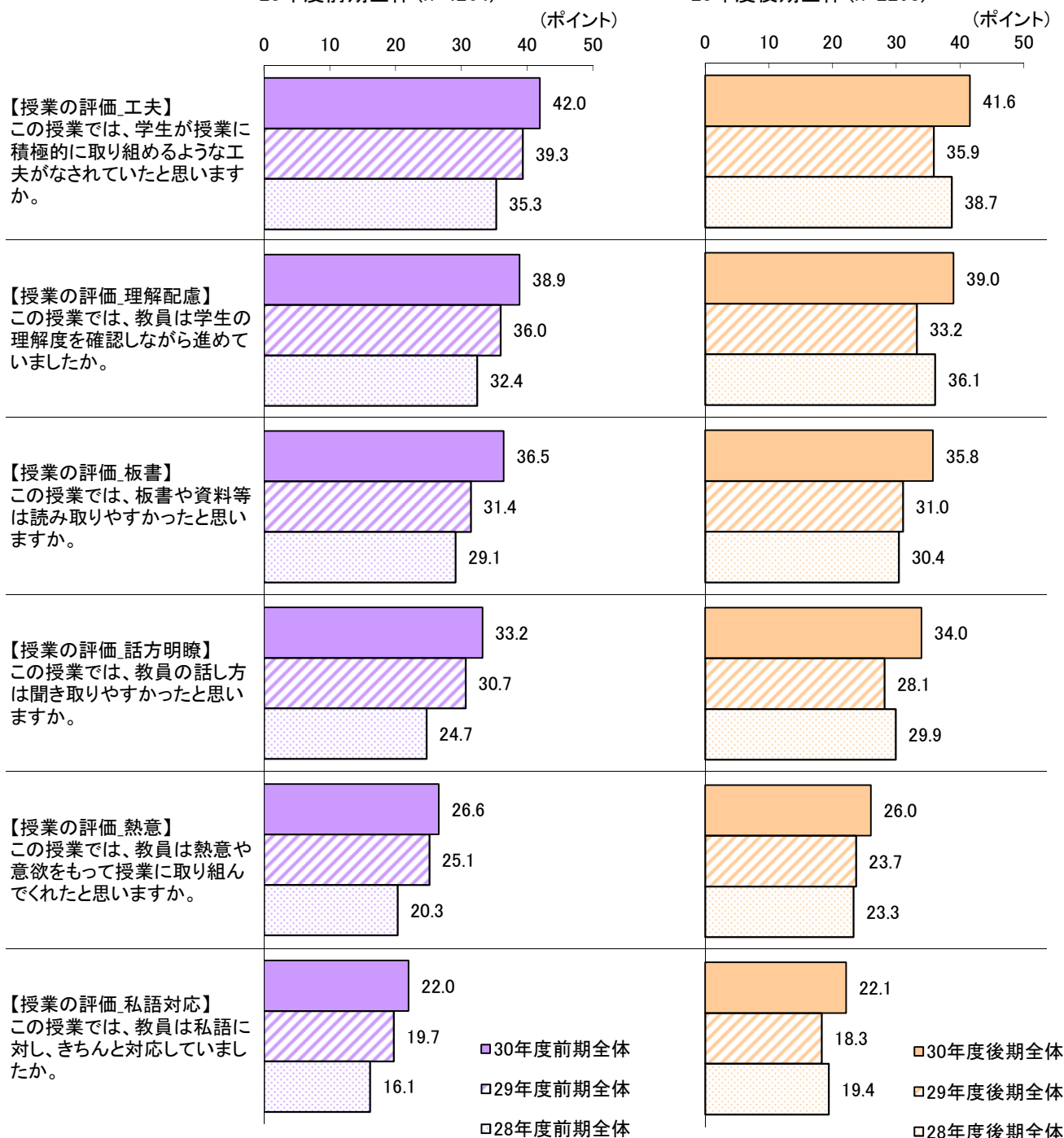
29年度前期全体 (n=2288)

28年度前期全体 (n=4264)

30年度後期全体 (n=1253)

29年度後期全体 (n=1548)

28年度後期全体 (n=2208)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（経営学部）[学生]

経営学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。
30年度後期も前期と同様、「工夫」と「理解配慮」で改善優先度が高い。

<改善優先度>

【経営学部平均】

30年度前期全体 (n=1575)

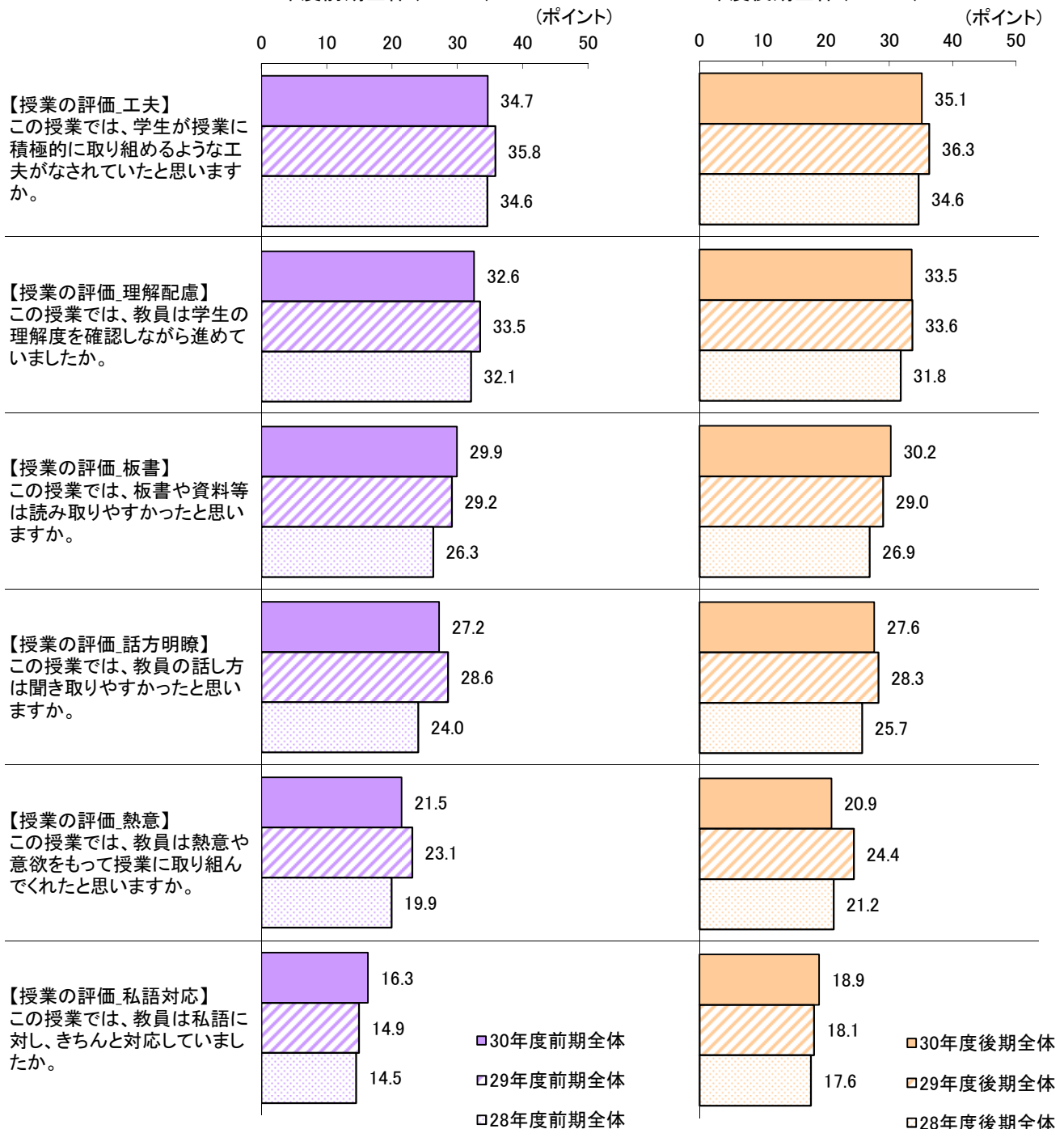
29年度前期全体 (n=1728)

28年度前期全体 (n=2898)

30年度後期全体 (n=1087)

29年度後期全体 (n=1197)

28年度後期全体 (n=1900)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（経済学部）[学生]

経済学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれの項目も29年度前期を上回る。30年度後期は30年度前期と比べると、「板書」の改善優先度がやや低くなっている。

<改善優先度>

【経済学部平均】

30年度前期全体 (n=1359)

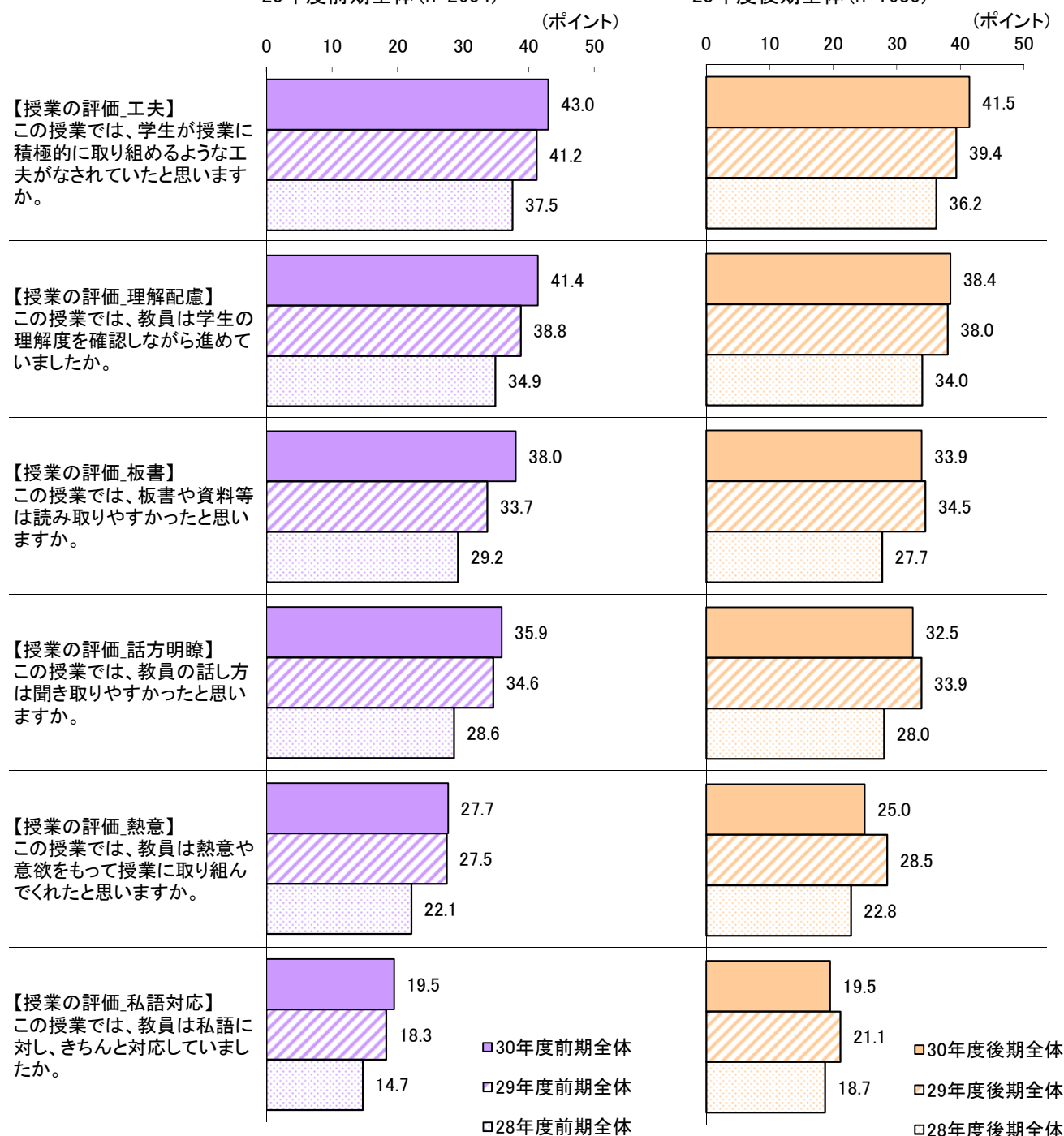
29年度前期全体 (n=1832)

28年度前期全体 (n=2654)

30年度後期全体 (n=1052)

29年度後期全体 (n=1370)

28年度後期全体 (n=1685)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（理工学部）[学生]

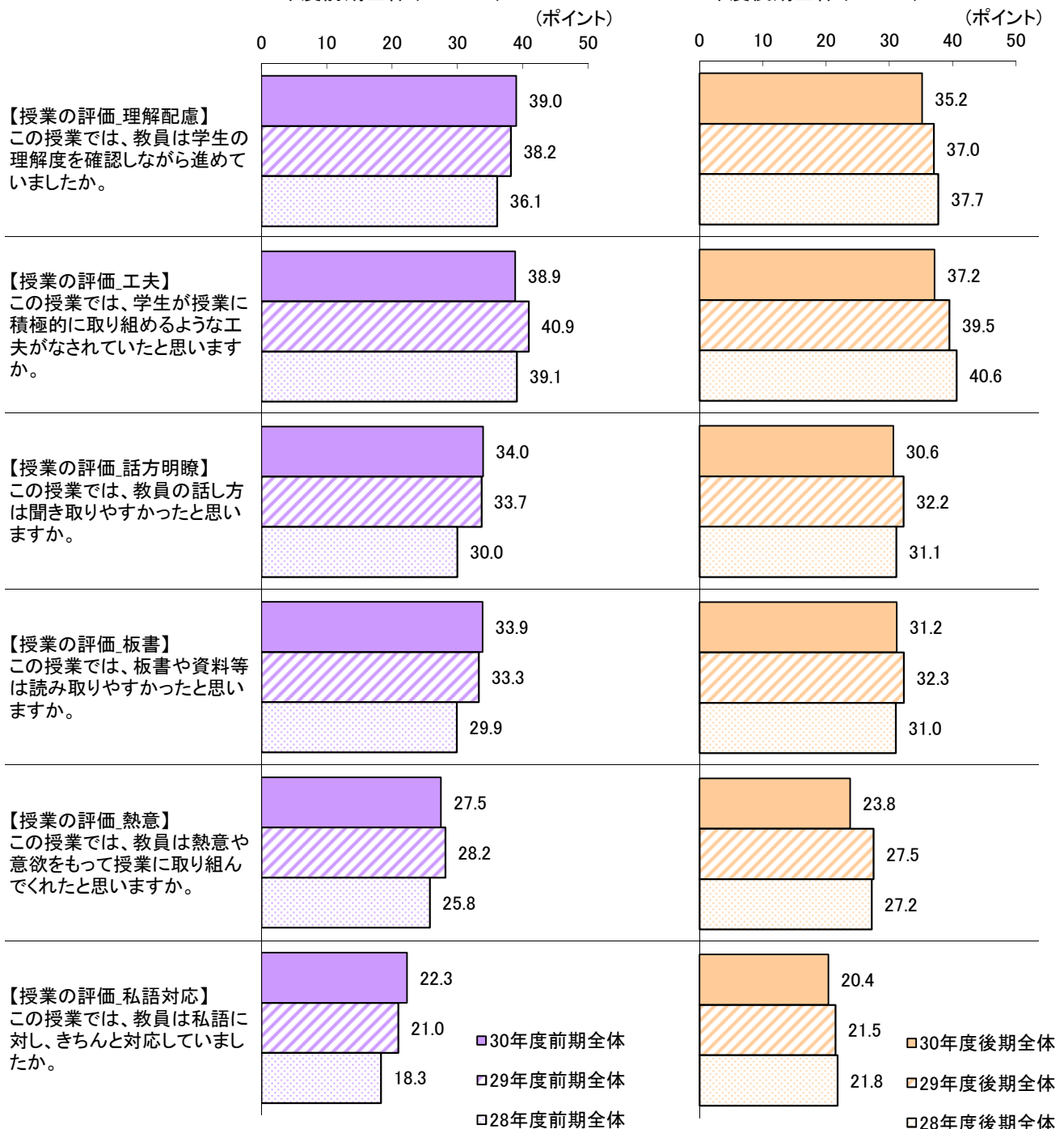
理工学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」が高い。一方で「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。
30年度後期は、いずれの項目も30年度前期を下回る。

<改善優先度>

【理工学部平均】

30年度前期全体 (n=6366)
29年度前期全体 (n=7864)
28年度前期全体 (n=11167)

30年度後期全体 (n=3711)
29年度後期全体 (n=4912)
28年度後期全体 (n=7417)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（農学部） [学生]

農学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれの項目も29年度前期を上回る。30年度後期も30年度前期と概ね同様の傾向を示している。

<改善優先度>

【農学部平均】

30年度前期全体 (n=1575)

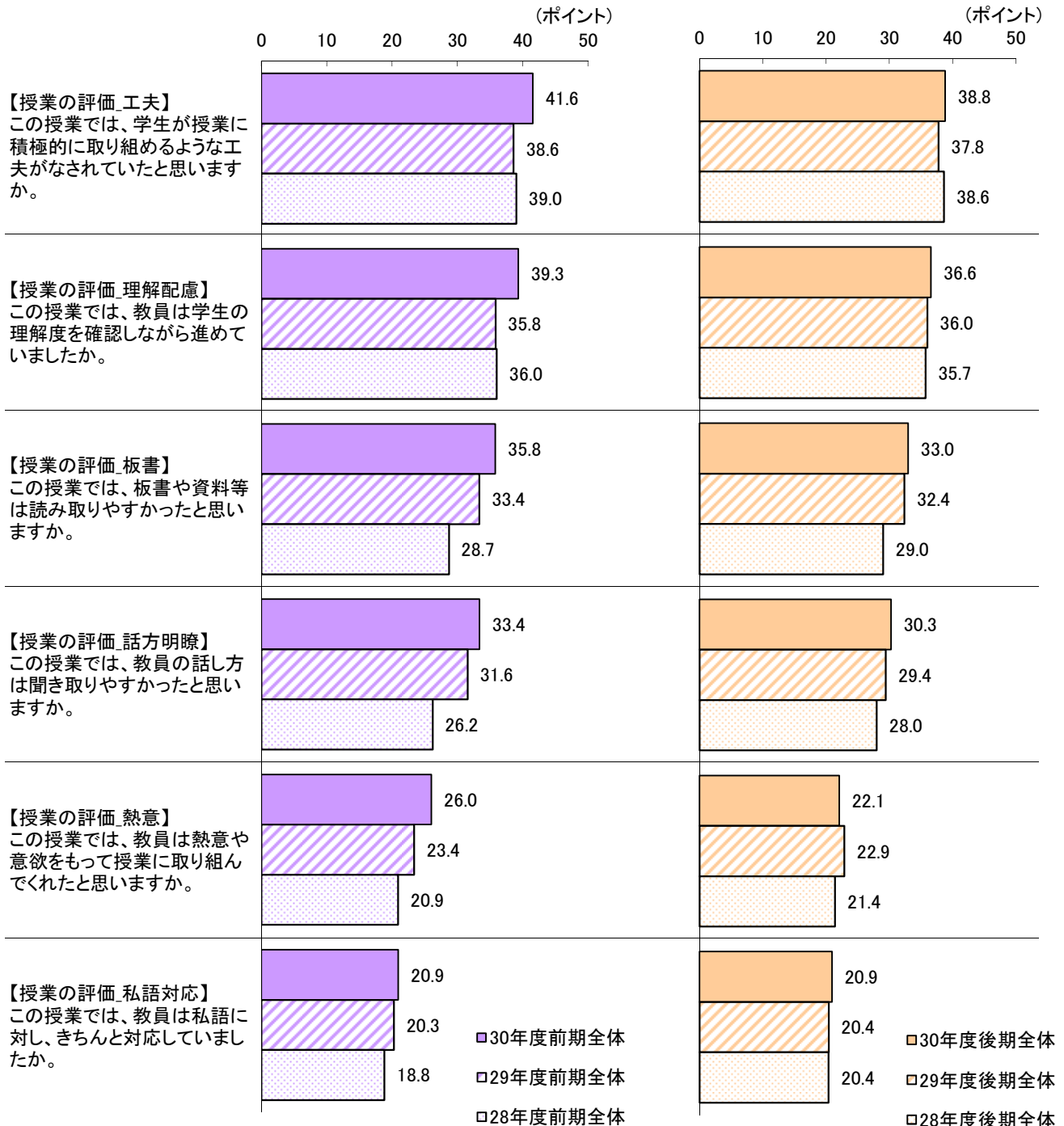
29年度前期全体 (n=2359)

28年度前期全体 (n=4005)

30年度後期全体 (n=1245)

29年度後期全体 (n=1979)

28年度後期全体 (n=2585)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（薬学部） [学生]

薬学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。
30年度後期も30年度前期と概ね同様の傾向を示している。

<改善優先度>

【薬学部平均】

30年度前期全体 (n=5715)

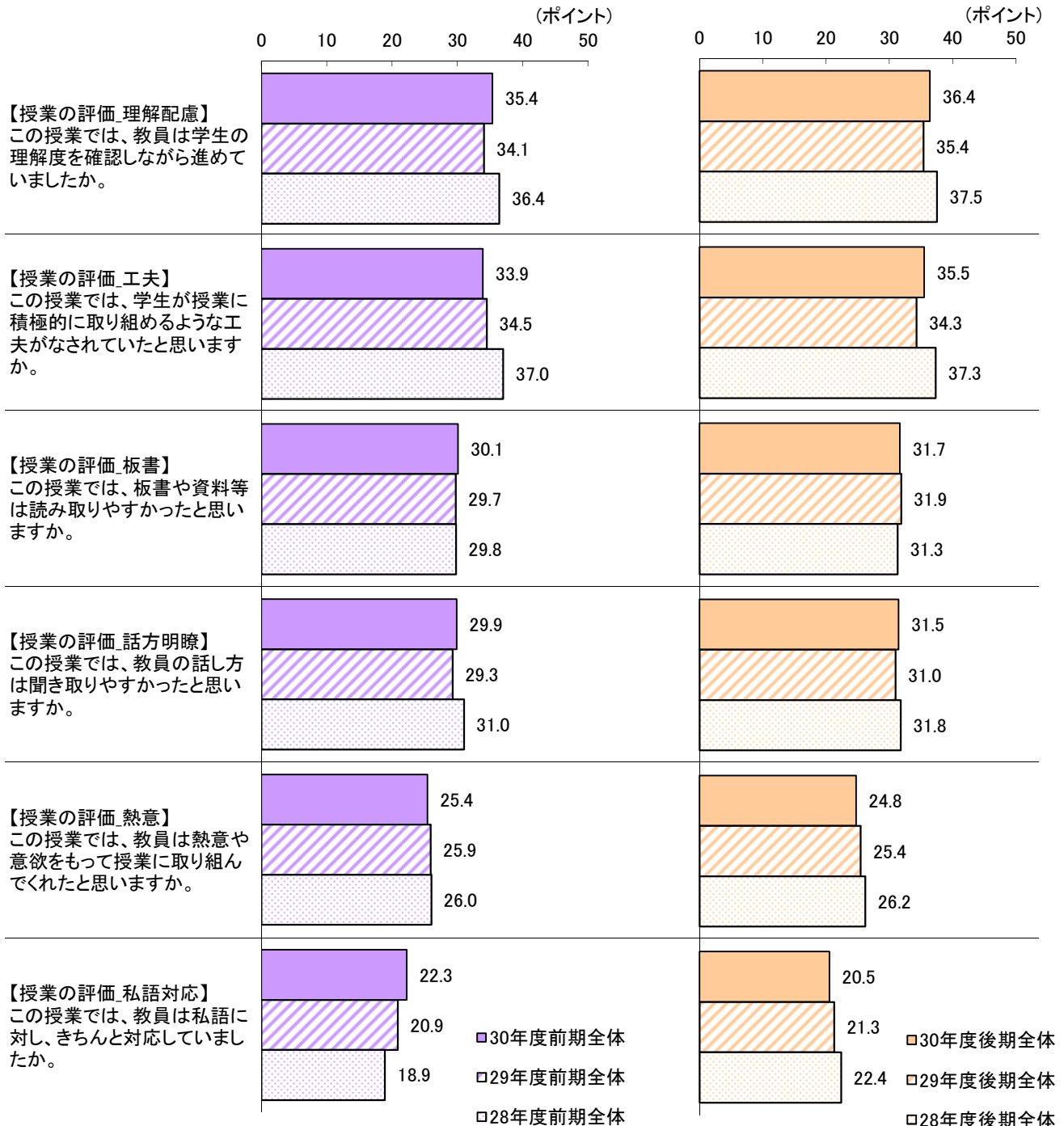
29年度前期全体 (n=6278)

28年度前期全体 (n=4004)

30年度後期全体 (n=5233)

29年度後期全体 (n=5715)

28年度後期全体 (n=5684)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（都市情報学部）〔学生〕

都市情報学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」が高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。いずれの項目も29年度前期を上回る。30年度後期も30年度前期と概ね同様の傾向を示している。

<改善優先度>

【都市情報学部平均】

30年度前期全体 (n=1443)

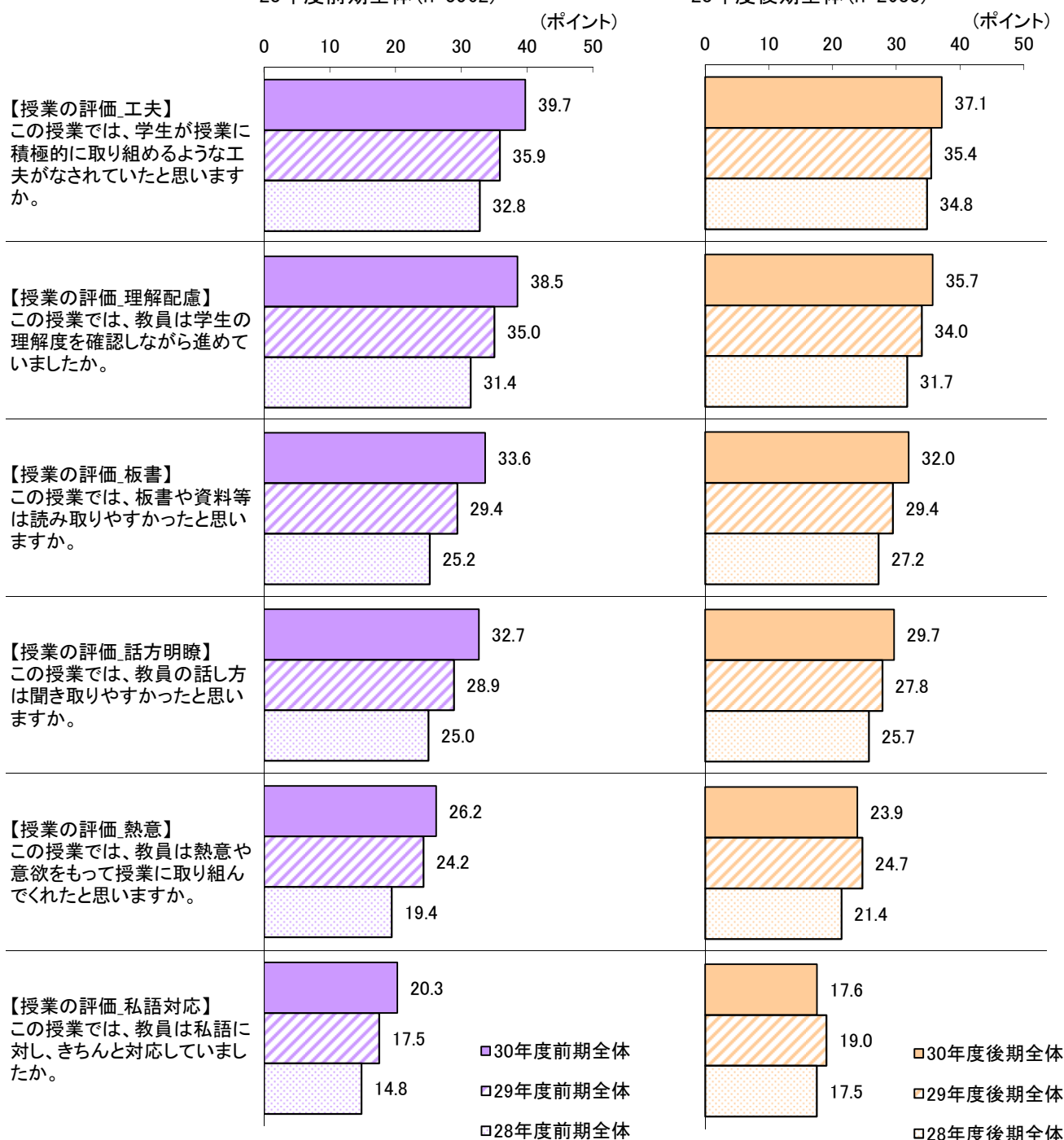
29年度前期全体 (n=2692)

28年度前期全体 (n=3562)

30年度後期全体 (n=1392)

29年度後期全体 (n=1671)

28年度後期全体 (n=2083)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（人間学部）[学生]

人間学部では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。29年度前期と比べると「工夫」「熱意」で改善優先度がやや低下している。30年度後期も30年度前期と概ね同様の傾向を示している。

<改善優先度>

【人間学部平均】

30年度前期全体 (n=1292)

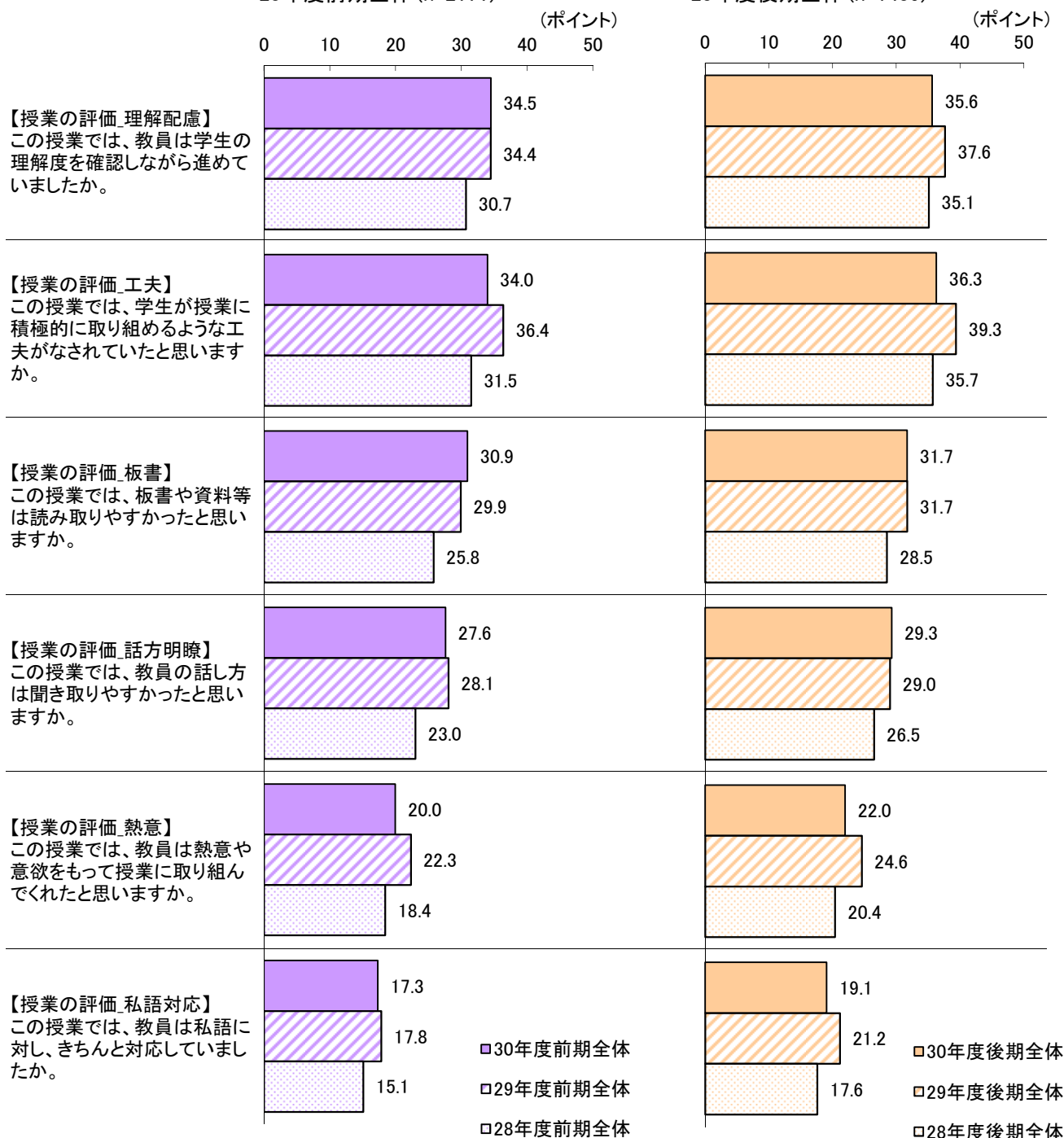
29年度前期全体 (n=1765)

28年度前期全体 (n=2171)

30年度後期全体 (n=1089)

29年度後期全体 (n=1267)

28年度後期全体 (n=1485)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（外国語学部） [学生]

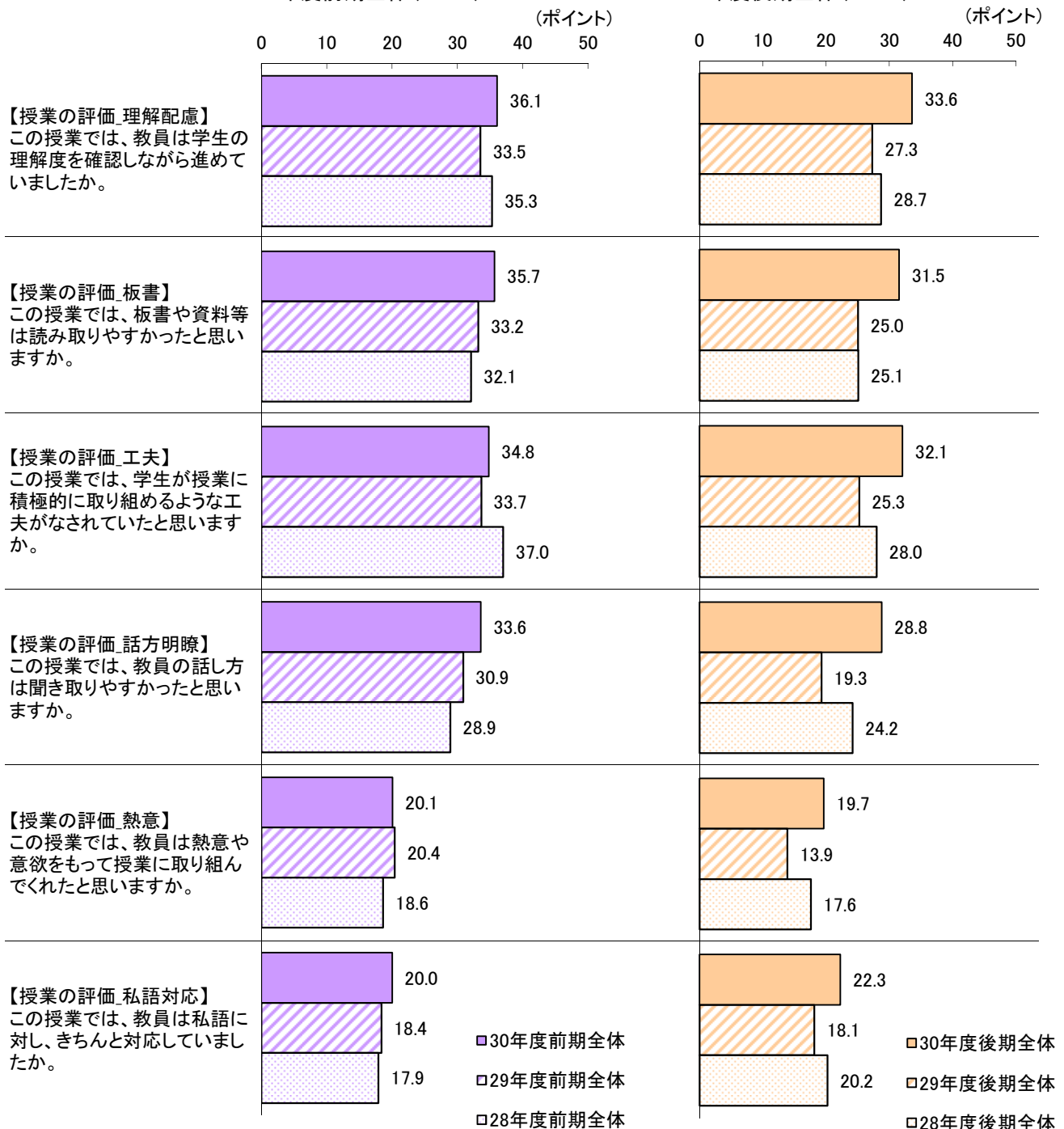
外国語学部では、改善優先度は「理解配慮」「板書」「工夫」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。29年度前期と比べると上位項目を中心に改善優先度が上昇している。30年度後期は30年度前期と比べると、「板書」「話方明瞭」の改善優先度がやや低くなっている。

<改善優先度>

【外国語学部平均】 (1～3年次のみ)

30年度前期全体 (n=1114)
29年度前期全体 (n=775)
28年度前期全体 (n=730)

30年度後期全体 (n=767)
29年度後期全体 (n=535)
28年度後期全体 (n=270)



5 授業満足度を上げるための改善優先項目（教職課程・学芸員課程）[学生]

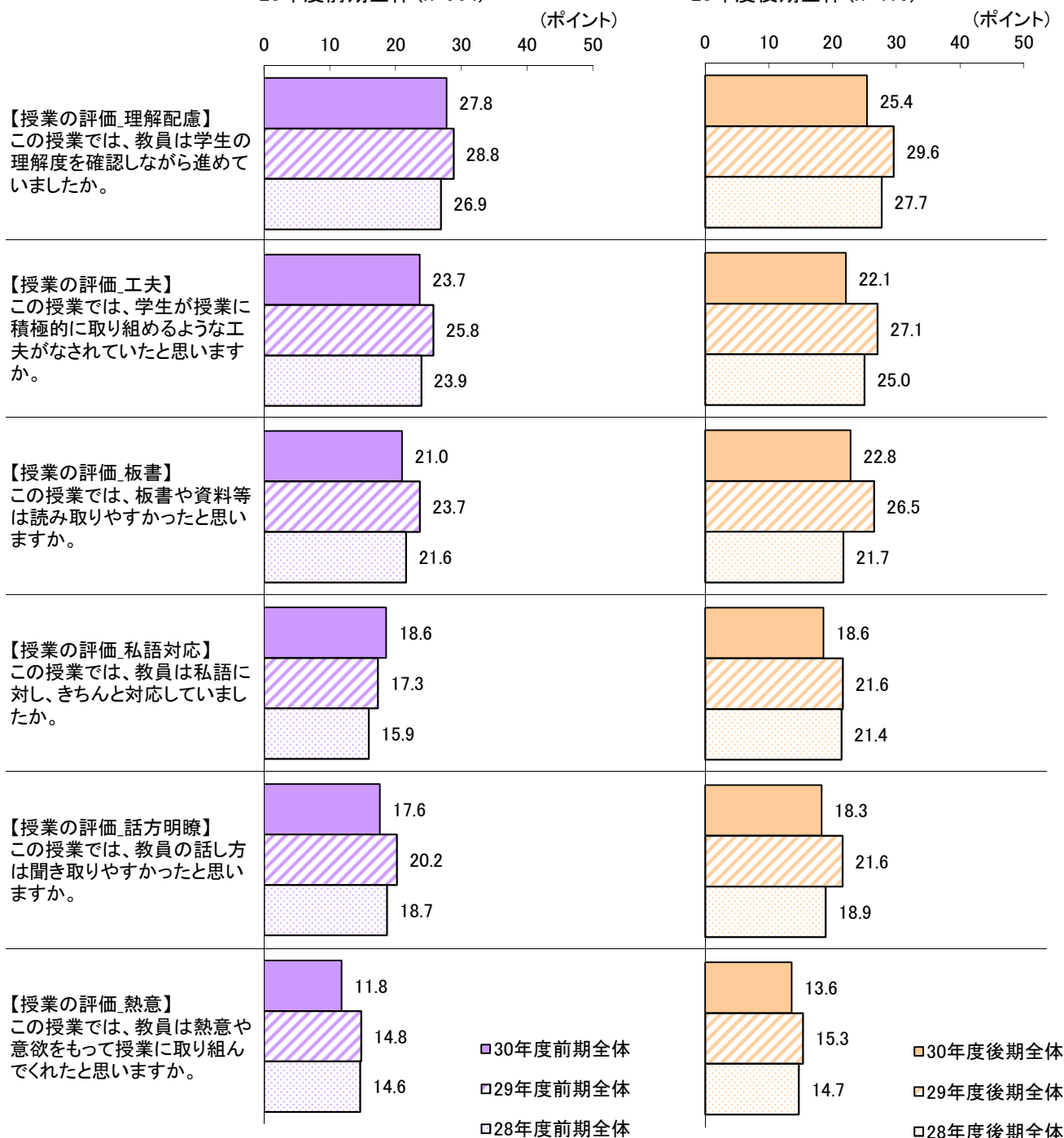
教職課程・学芸員課程では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」で高い。一方、「熱意」「話方明瞭」「私語対応」への改善優先度は低い。29年度前期と比べると「私語対応」を除き改善優先度が低下している。
30年度後期も30年度前期と概ね同様の傾向を示している。

<改善優先度>

【教職課程・学芸員課程平均】

30年度前期全体 (n=365)
29年度前期全体 (n=410)
28年度前期全体 (n=964)

30年度後期全体 (n=265)
29年度後期全体 (n=462)
28年度後期全体 (n=410)



6 自学自習時間（1）学部別

[学生]

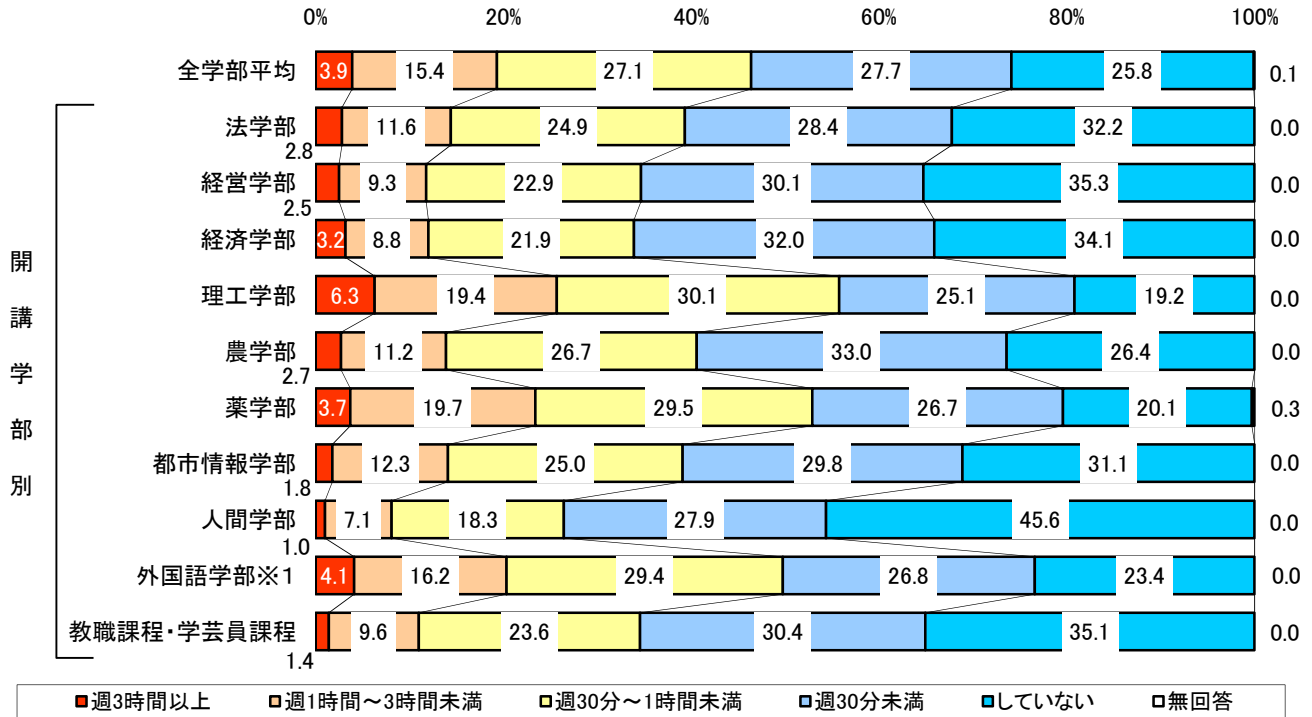
自学自習時間を各学部別で確認した。

30年度前期では、自学自習を「していない」と「週30分未満」が5割強を占め、特に人間学部で7割強と高い。一方、理工学部や薬学部は低く、4割台にとどまる。30年度後期も「していない」と「週30分未満」に大きな変化はみられない。

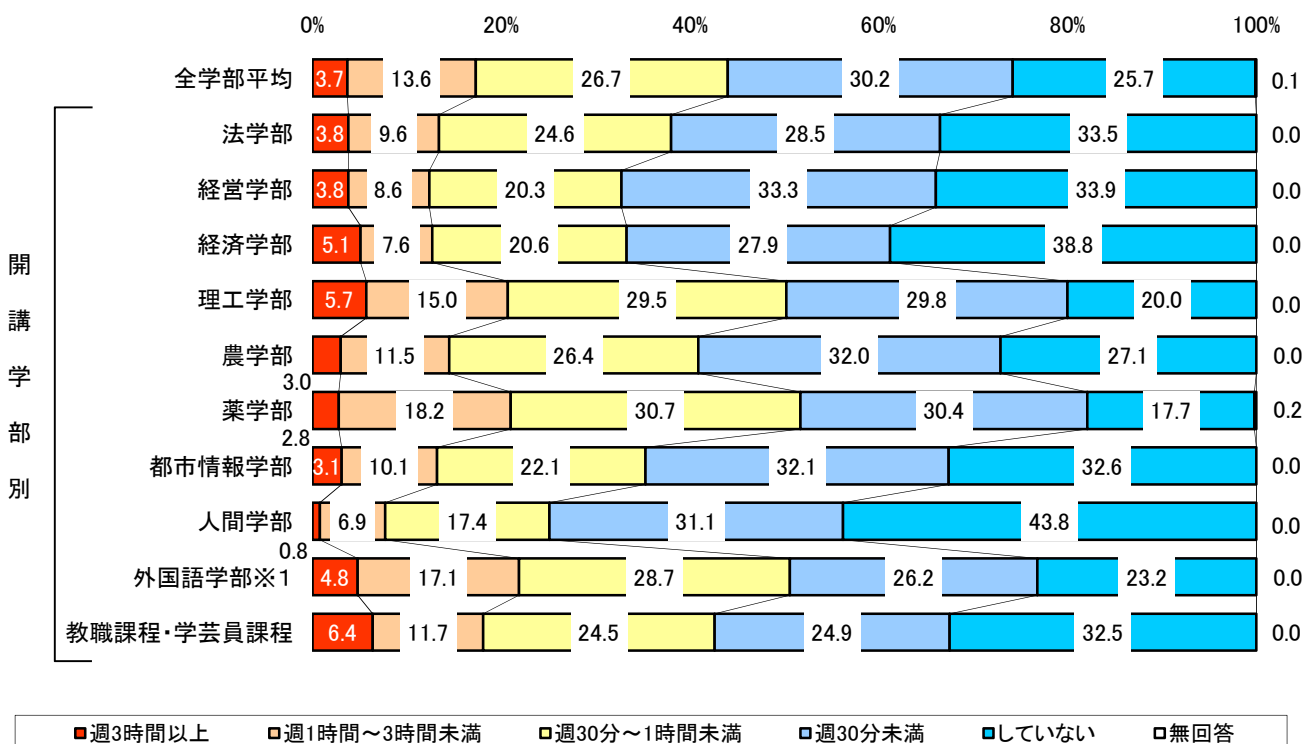
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

<開講学部別自学自習時間>

【30年度前期】



【30年度後期】



(※1)1～3年次のみ

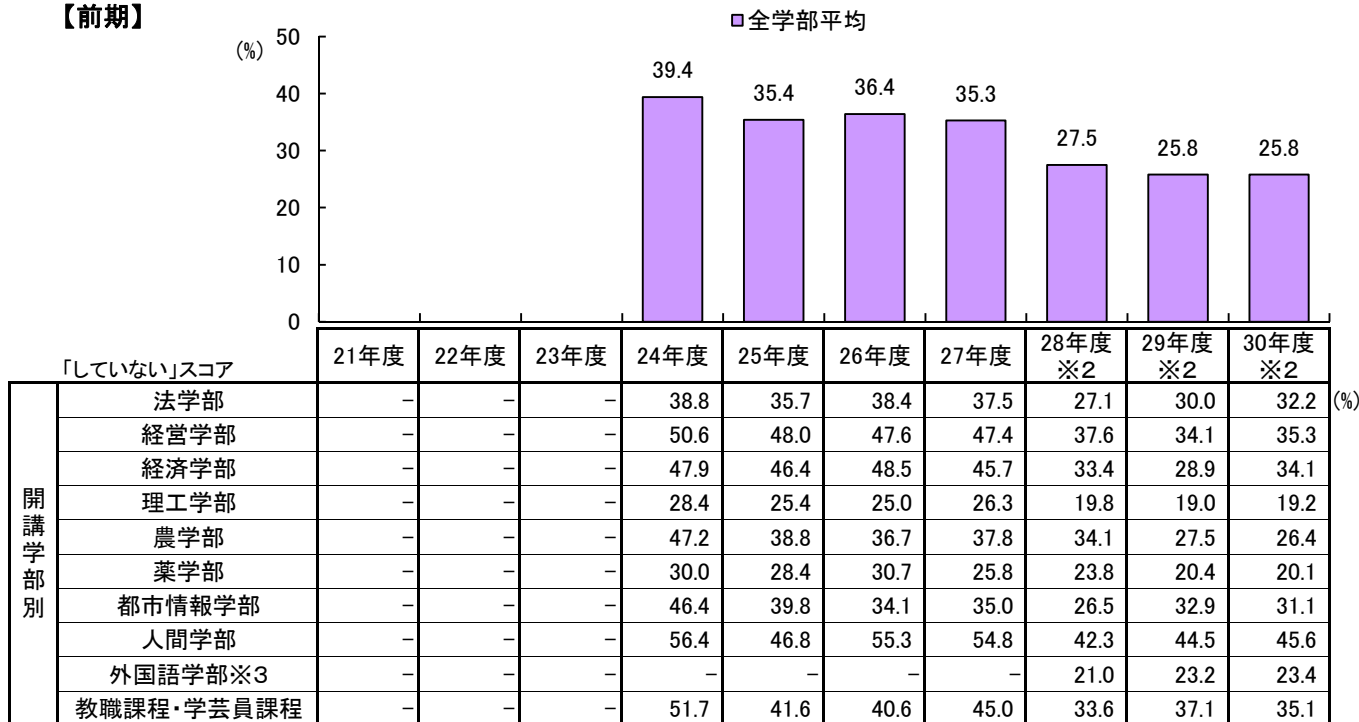
6 自学自習時間（2）時系列比較

自学自習時間の「していない」のスコアを各学部別に時系列で確認した。
前期、後期ともに、「していない」のスコアは低下傾向にある（但し、平成27年度以前は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間（授業時間除く）は。」で測定）。

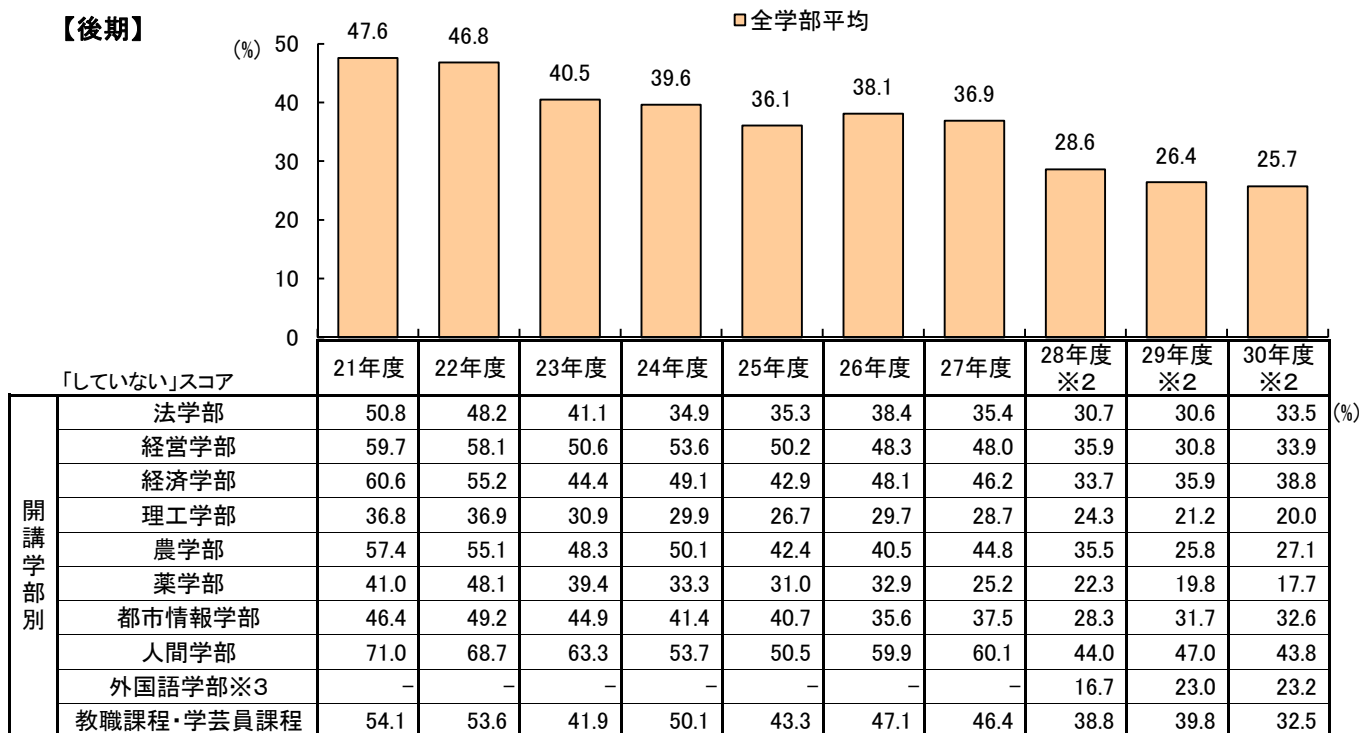
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。※1

<開講学部別「していない」スコア>

【前期】



【後期】



(※1) 平成27年度以前は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間（授業時間除く）は。」で測定

(※2) 平成28年度前期は常勤WEBアンケート、非常勤 紙アンケート、

28年度後期、29年度前期・後期、30年度前期・後期は常勤・非常勤 WEBアンケートで実施

(※3) 1～3年次のみ

7 授業満足度と自学自習時間の関係（1）

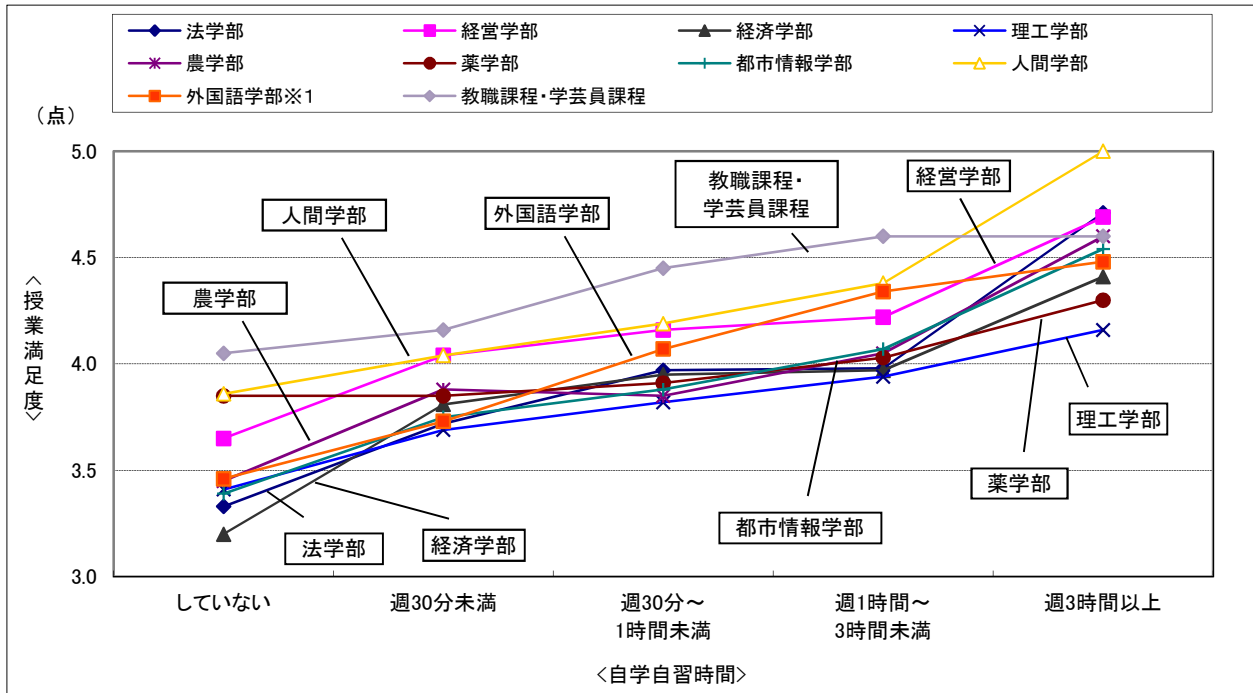
[学生]

授業満足度と自学自習時間との関係を各学部別に確認した。
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がみられ、特に30年度後期でその傾向が顕著となっている。週3時間以上勉強する層では多くの学部で授業満足度が高いことがうかがえる。

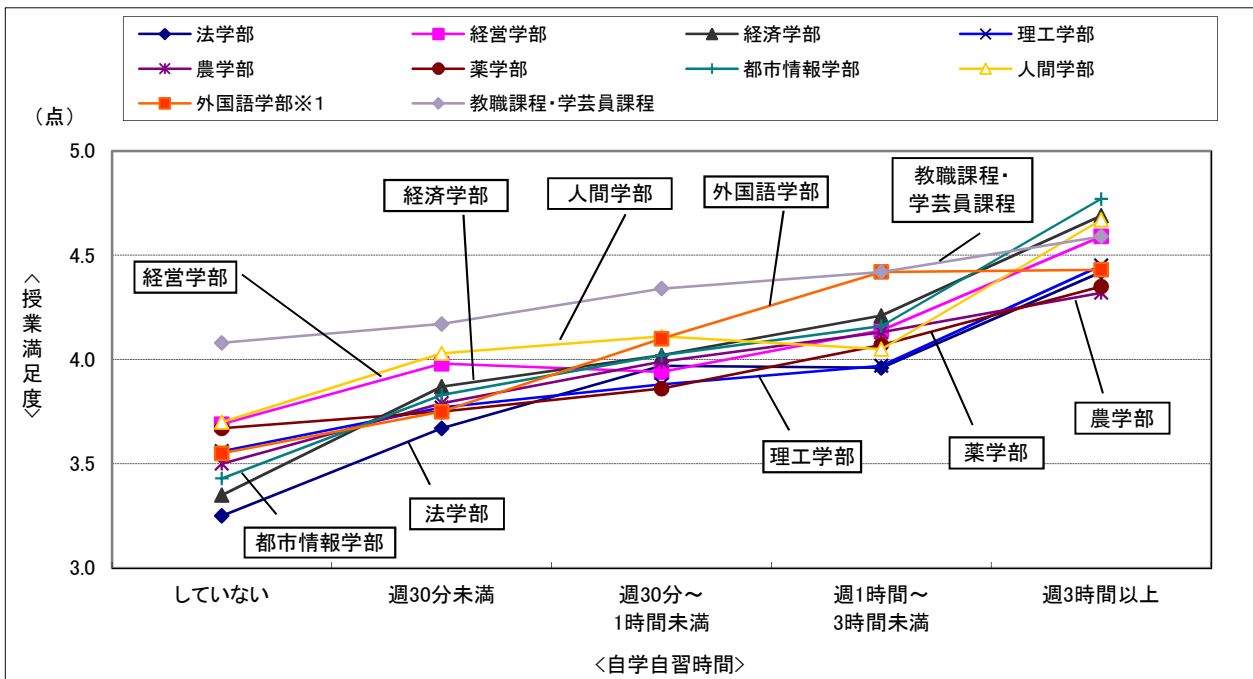
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。
 Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<授業満足度との関係>

【30年度前期】



【30年度後期】



(※1)1～3年次のみ

7 授業満足度と自学自習時間の関係 (2)

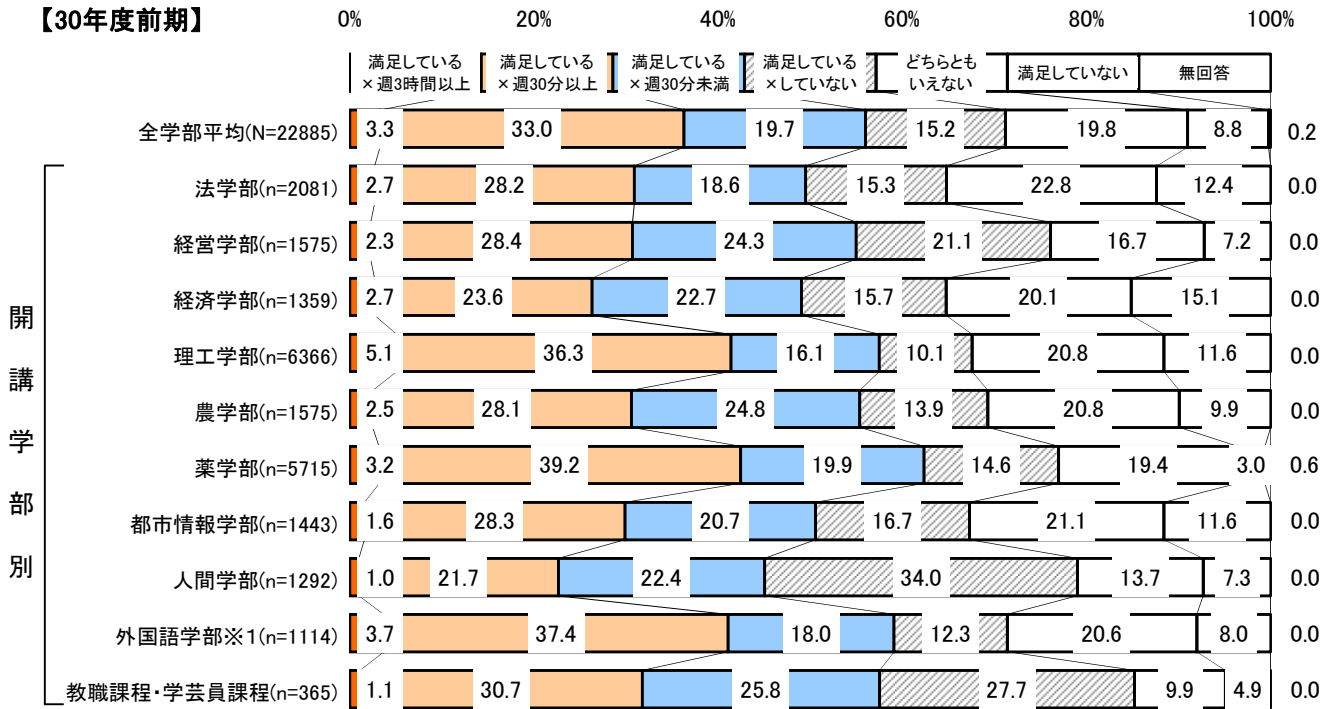
[学生]

授業満足度と自学自習時間の関係を各学部別に確認した。
 30年度前期では、授業に「満足している」学生のうち、自学自習時間が「週3時間以上」の学生は、全体では3%にとどまり、学部別でも大きな差はみられないが、「週30分以上」の学生は薬学部や外国語学部で4割弱と高い。30年度後期もほぼ同様の傾向を示している。

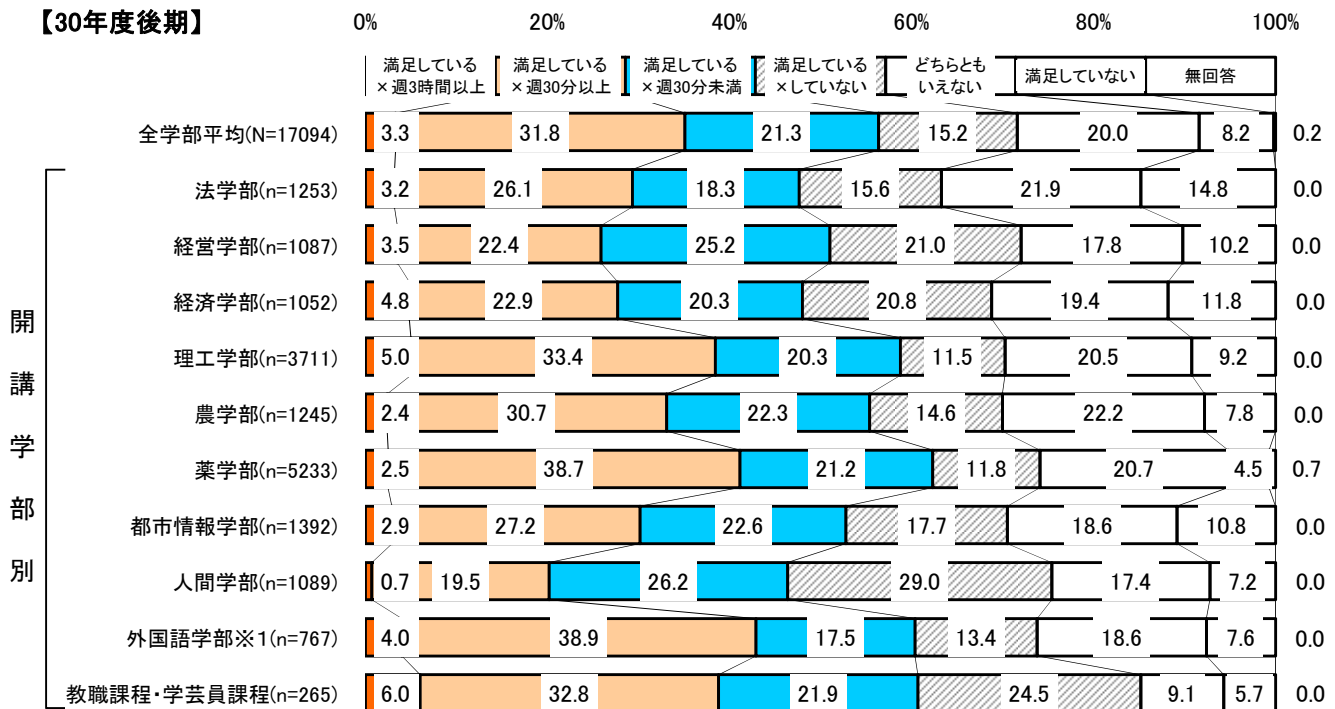
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。
 Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<授業満足度×自学自習時間>

【30年度前期】



【30年度後期】



*「満足している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「満足していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

(※1)1~3年次のみ

(参考) 成長実感と自学自習時間の関係

[学生]

成長実感と自学自習時間の関係を各学部別に確認した。

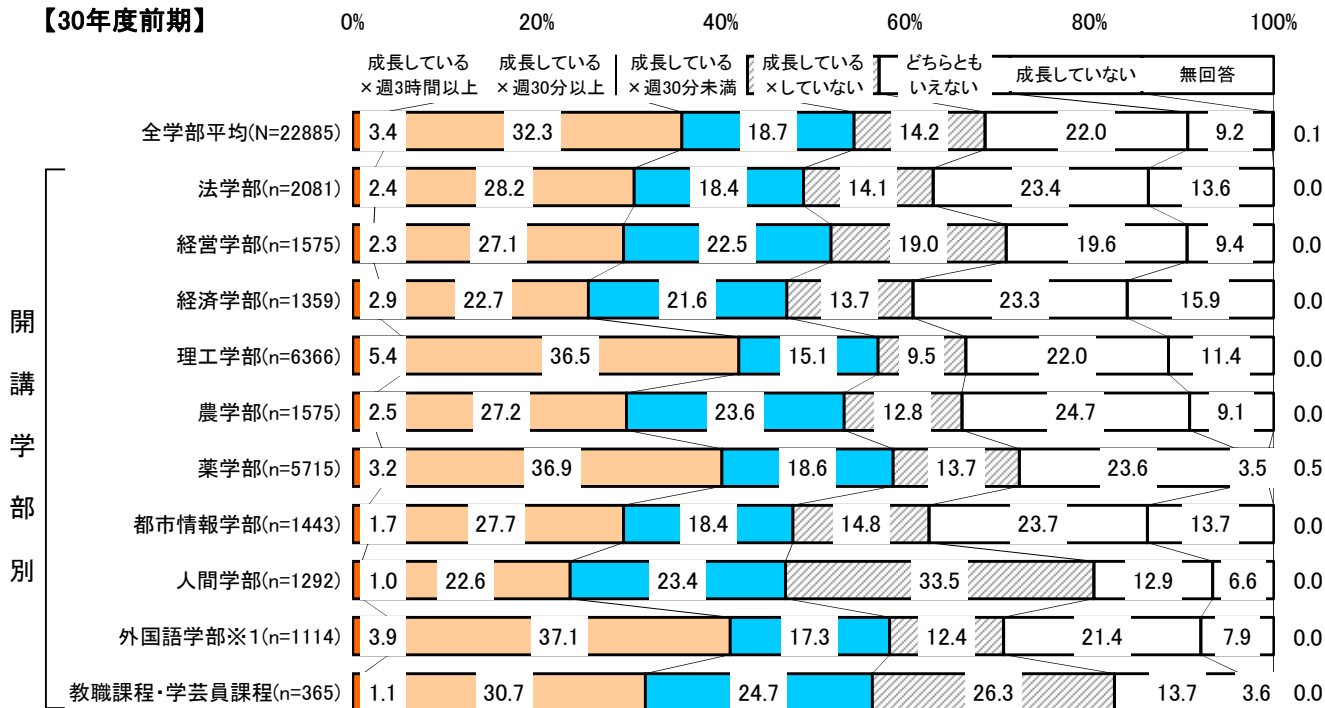
30年度前期では、「成長している」学生のうち、自学自習時間が「週3時間以上」の学生は、全体では3%にとどまり、学部別でも大きな差はみられないが、「週30分以上」の学生は外国語学部、薬学部、理工学部で4割弱と高い。30年度後期もほぼ同様の傾向を示している。

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

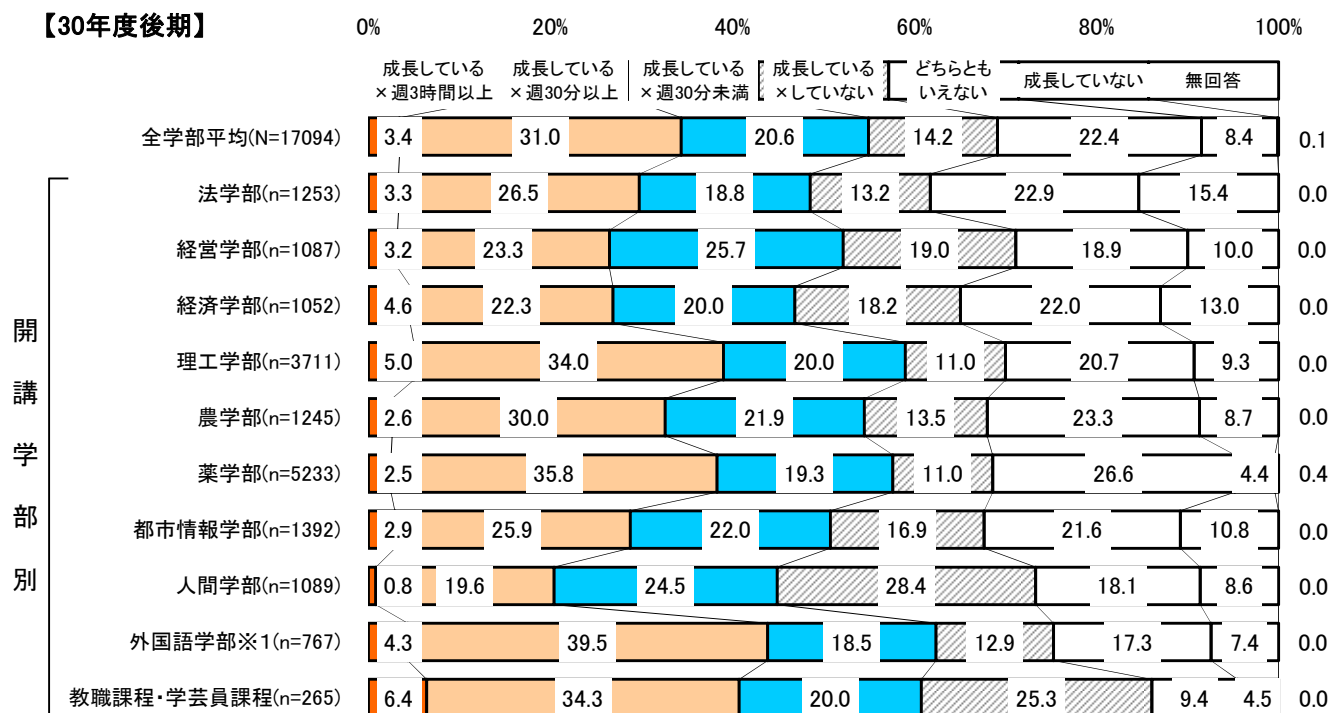
Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

<成長実感×自学自習時間>

【30年度前期】



【30年度後期】



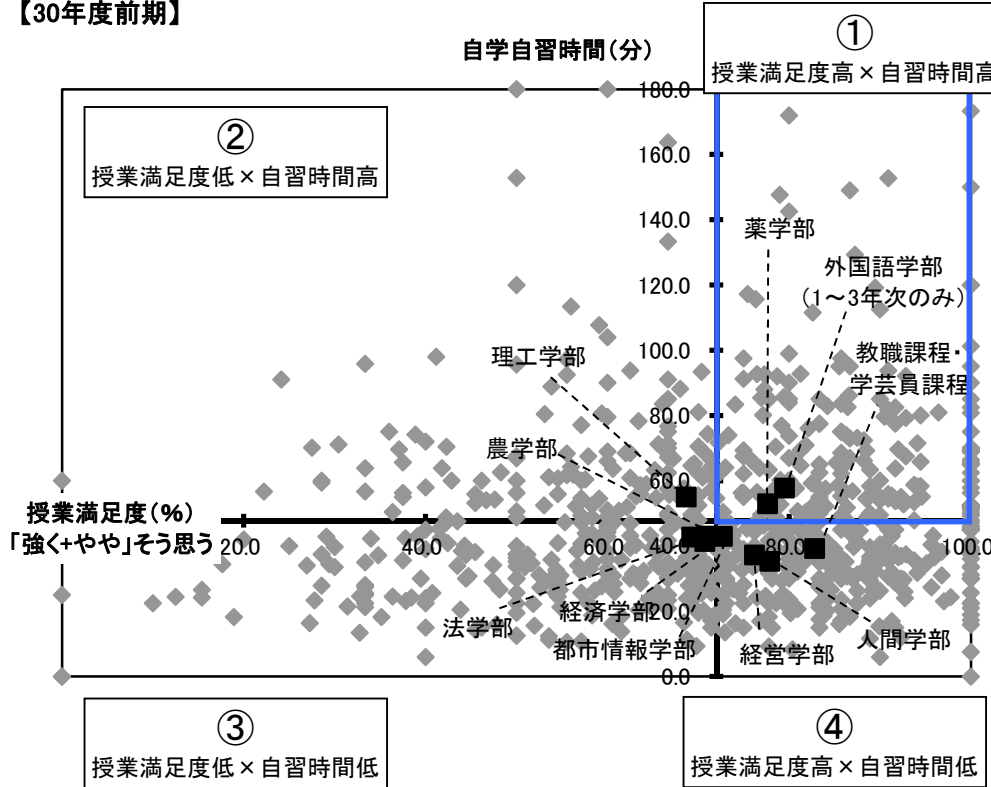
*「成長している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「成長していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

(※1)1～3年次のみ

7 授業満足度と自学自習時間の関係 (3) (授業プロット) [授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を平面上に各授業をプロットした。
 自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は、30年度の前期と後期を比較しても大きな変化はみられない。29年度との比較でも、①象限の割合は横ばい。

＜授業満足度×自学自習時間＞
 【30年度前期】



30年度前期

象限	授業数(769授業)	%
①	186	24.2
②	128	16.6
③	215	28.0
④	240	31.2

29年度前期

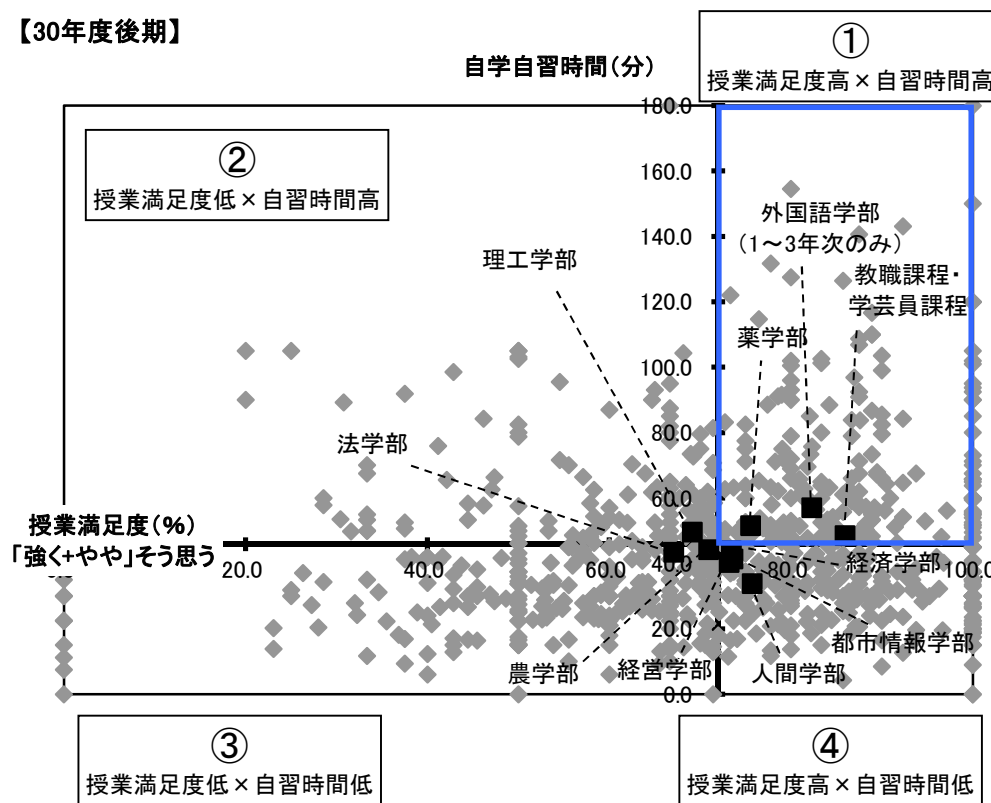
象限	授業数(757授業)	%
①	194	25.6
②	125	16.5
③	223	29.5
④	215	28.4

28年度前期

象限	授業数(714授業)	%
①	161	22.5
②	123	17.2
③	201	28.2
④	229	32.1

※軸は授業満足度(「強く+やや」そう思う)
 ・自学自習時間の平均

【30年度後期】



30年度後期

象限	授業数(754授業)	%
①	199	26.4
②	120	15.9
③	226	30.0
④	209	27.7

29年度後期

象限	授業数(729授業)	%
①	192	26.3
②	117	16.0
③	218	29.9
④	202	27.7

28年度後期

象限	授業数(713授業)	%
①	163	22.9
②	130	18.2
③	221	31.0
④	199	27.9

※軸は授業満足度(「強く+やや」そう思う)
 ・自学自習時間の平均

7 授業満足度と自学自習時間の関係（3）（授業プロット） 30年度前期 [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部を各年度の前期でみると、30年度前期は外国語学部で5割強と高い。
都市情報学部は30年度前期は①象限が1割強にとどまり、29年度前期より10ポイント以上の低下。

<授業満足度×自学自習時間> 【30年度前期】

【全学部平均】

象限	30年度前期 (769授業)	29年度前期 (757授業)	28年度前期 (714授業)
①	24.2	25.6	22.5
②	16.6	16.5	17.2
③	28.0	29.5	28.2
④	31.2	28.4	32.1

【法学部】

象限	30年度前期 (81授業)	29年度前期 (89授業)	28年度前期 (82授業)
①	13.6	21.3	25.6
②	18.5	16.9	8.5
③	33.3	30.3	32.9
④	34.6	31.5	32.9

【薬学部】

象限	30年度前期 (37授業)	29年度前期 (36授業)	28年度前期 (26授業)
①	32.4	36.1	23.1
②	16.2	16.7	11.5
③	10.8	11.1	30.8
④	40.5	36.1	34.6

【経営学部】

象限	30年度前期 (63授業)	29年度前期 (62授業)	28年度前期 (64授業)
①	15.9	22.6	17.2
②	4.8	12.9	7.8
③	36.5	27.4	31.3
④	42.9	37.1	43.8

【都市情報学部】

象限	30年度前期 (70授業)	29年度前期 (73授業)	28年度前期 (72授業)
①	11.4	24.7	23.6
②	17.1	6.8	4.2
③	27.1	27.4	22.2
④	44.3	41.1	50.0

【経済学部】

象限	30年度前期 (51授業)	29年度前期 (53授業)	28年度前期 (52授業)
①	23.5	26.4	13.5
②	5.9	13.2	15.4
③	37.3	37.7	38.5
④	33.3	22.6	32.7

【人間学部】

象限	30年度前期 (47授業)	29年度前期 (50授業)	28年度前期 (45授業)
①	17.0	20.0	13.3
②	8.5	2.0	6.7
③	19.1	32.0	24.4
④	55.3	46.0	55.6

【理工学部】

象限	30年度前期 (300授業)	29年度前期 (284授業)	28年度前期 (273授業)
①	29.0	25.7	26.4
②	25.0	25.4	28.6
③	26.3	30.6	27.1
④	19.7	18.3	17.9

【外国語学部(1～3年次のみ)】

象限	30年度前期 (43授業)	29年度前期 (30授業)	28年度前期 (21授業)
①	53.5	60.0	47.6
②	7.0	13.3	19.0
③	23.3	23.3	4.8
④	16.3	3.3	28.6

【農学部】

象限	30年度前期 (57授業)	29年度前期 (60授業)	28年度前期 (59授業)
①	17.5	18.3	11.9
②	8.8	8.3	15.3
③	36.8	36.7	35.6
④	36.8	36.7	37.3

【教職課程・学芸員課程】

象限	30年度前期 (20授業)	29年度前期 (20授業)	28年度前期 (20授業)
①	25.0	20.0	20.0
②	10.0	10.0	15.0
③	20.0	15.0	15.0
④	45.0	55.0	50.0

* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度と自学自習時間の関係 (3) (授業プロット) 30年度後期 [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部を各年度の後期でみると、30年度後期は外国語学部で6割、薬学部で4割強と高い。
都市情報学部は29年度後期から10ポイント以上上昇したが、教職課程・学芸員課程は10ポイント以上低下した。

<授業満足度×自学自習時間> 【30年度後期】

【全学部平均】

象限	30年度後期 (754授業)	29年度後期 (729授業)	28年度後期 (713授業)
①	26.4	26.3	22.9
②	15.9	16.0	18.2
③	30.0	29.9	31.0
④	27.7	27.7	27.9

【法学部】

象限	30年度後期 (84授業)	29年度後期 (80授業)	28年度後期 (83授業)
①	21.4	27.5	24.1
②	17.9	15.0	20.5
③	34.5	31.3	38.6
④	26.2	26.3	16.9

【薬学部】

象限	30年度後期 (35授業)	29年度後期 (36授業)	28年度後期 (36授業)
①	42.9	36.1	33.3
②	22.9	19.4	16.7
③	14.3	16.7	33.3
④	20.0	27.8	16.7

【経営学部】

象限	30年度後期 (65授業)	29年度後期 (66授業)	28年度後期 (69授業)
①	24.6	30.3	23.2
②	9.2	4.5	8.7
③	32.3	30.3	27.5
④	33.8	34.8	40.6

【都市情報学部】

象限	30年度後期 (71授業)	29年度後期 (72授業)	28年度後期 (57授業)
①	29.6	16.7	24.6
②	9.9	13.9	3.5
③	29.6	37.5	29.8
④	31.0	31.9	42.1

【経済学部】

象限	30年度後期 (53授業)	29年度後期 (46授業)	28年度後期 (55授業)
①	20.8	26.1	14.5
②	7.5	13.0	14.5
③	39.6	30.4	36.4
④	32.1	30.4	34.5

【人間学部】

象限	30年度後期 (48授業)	29年度後期 (50授業)	28年度後期 (45授業)
①	12.5	12.0	17.8
②	6.3	8.0	11.1
③	31.3	38.0	17.8
④	50.0	42.0	53.3

【理工学部】

象限	30年度後期 (269授業)	29年度後期 (260授業)	28年度後期 (263授業)
①	23.8	23.8	20.2
②	25.3	25.0	29.7
③	29.7	30.8	32.3
④	21.2	20.4	17.9

【外国語学部(1~3年次のみ)】

象限	30年度後期 (41授業)	29年度後期 (33授業)	28年度後期 (21授業)
①	61.0	57.6	66.7
②	4.9	6.1	0.0
③	19.5	6.1	9.5
④	14.6	30.3	23.8

【農学部】

象限	30年度後期 (69授業)	29年度後期 (66授業)	28年度後期 (66授業)
①	26.1	27.3	18.2
②	8.7	9.1	10.6
③	36.2	31.8	34.8
④	29.0	31.8	36.4

【教職課程・学芸員課程】

象限	30年度後期 (19授業)	29年度後期 (20授業)	28年度後期 (18授業)
①	26.3	40.0	33.3
②	5.3	10.0	5.6
③	5.3	20.0	16.7
④	63.2	30.0	44.4

* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

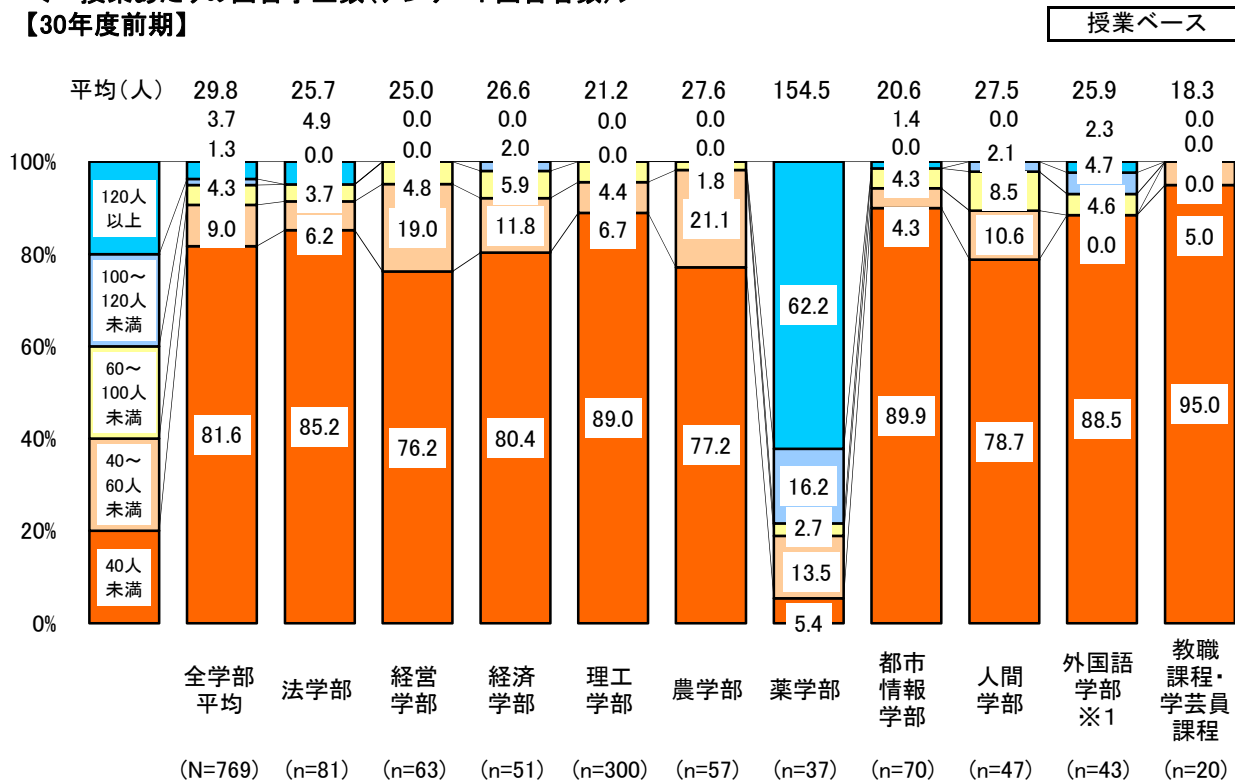
8 一授業あたりの回答学生数

[授業]

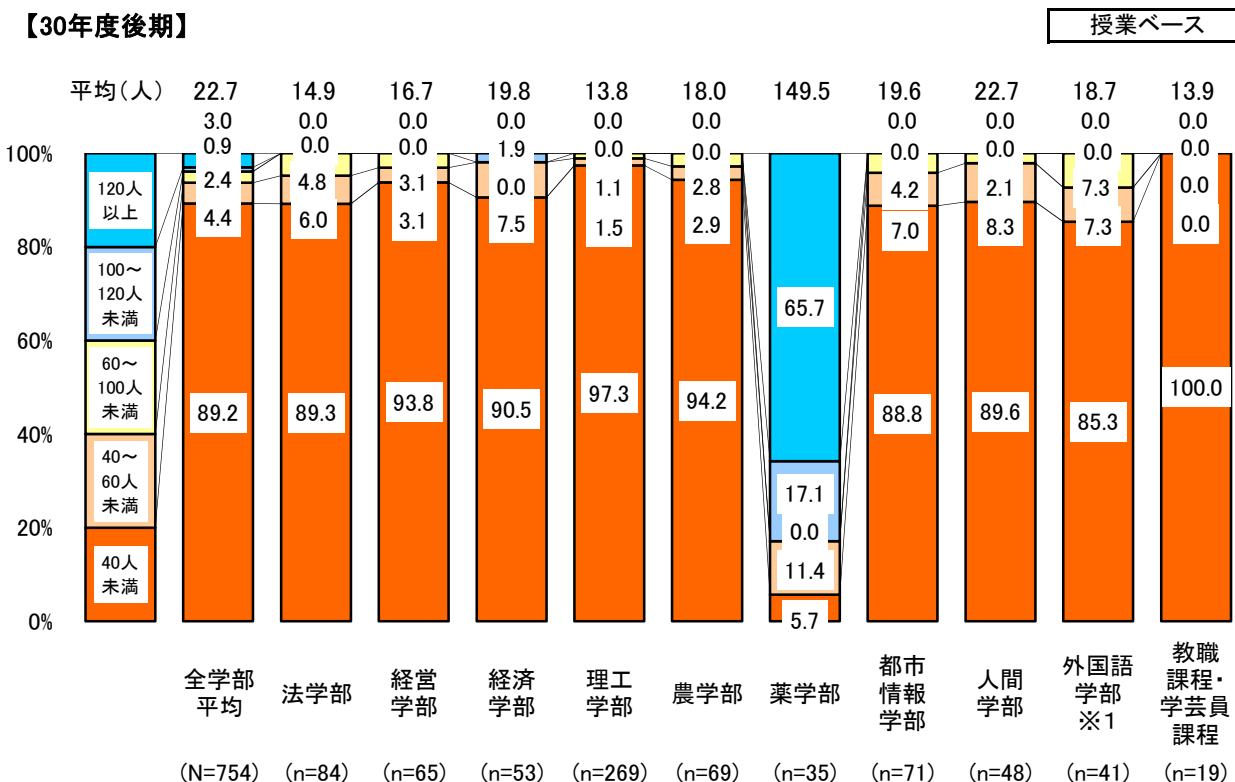
一授業あたりの回答学生数を学部別に確認した。
 30年度後期では、一授業あたりの回答学生数が40人未満の割合が概ね9割前後にのぼる。
 30年度前期と比較すると、全学部平均の40人未満の割合は8ポイント上昇している。

<一授業あたりの回答学生数(アンケート回答者数)>

【30年度前期】



【30年度後期】



(※1) 1~3年次のみ

9 履修者数の規模別授業満足度

[授業]

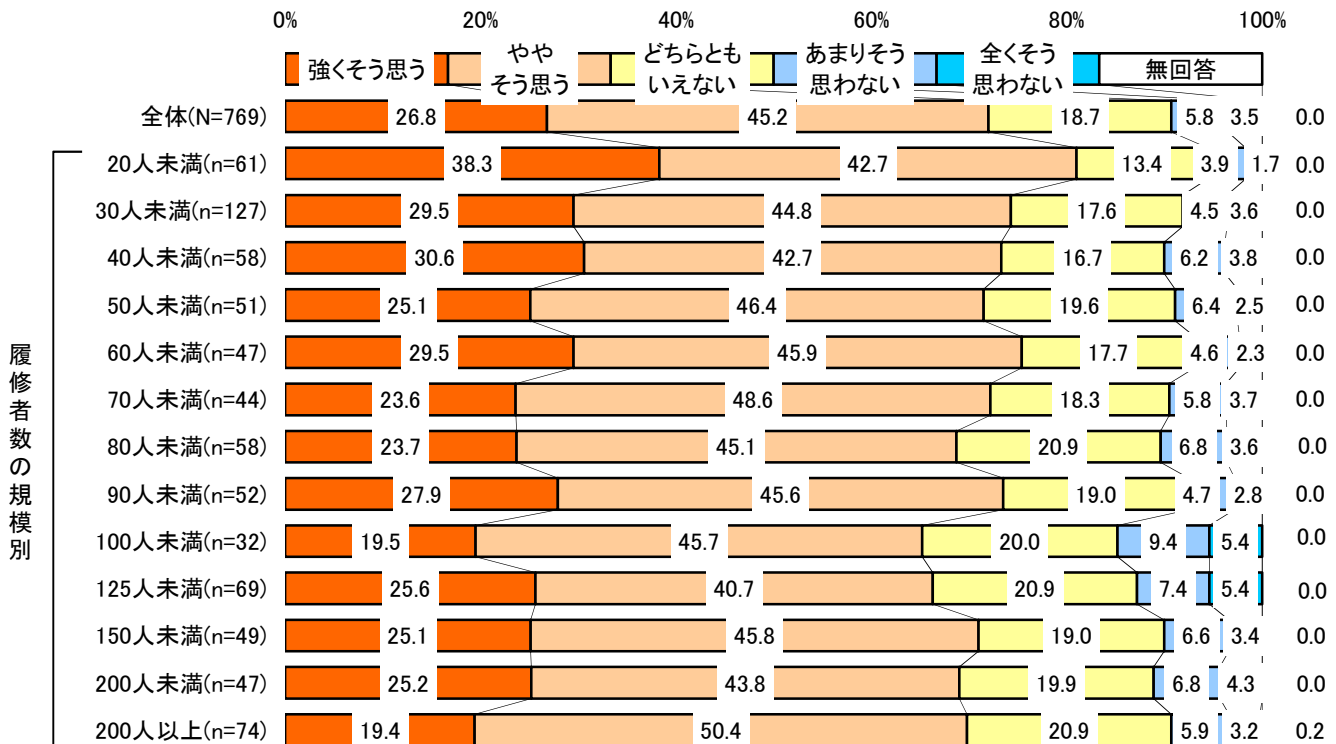
各授業の履修者数の規模別に授業満足度を確認した。
1授業あたりの履修者数規模が小さいほど授業満足度が高い傾向がうかがえる。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<履修者数の規模別授業満足度>

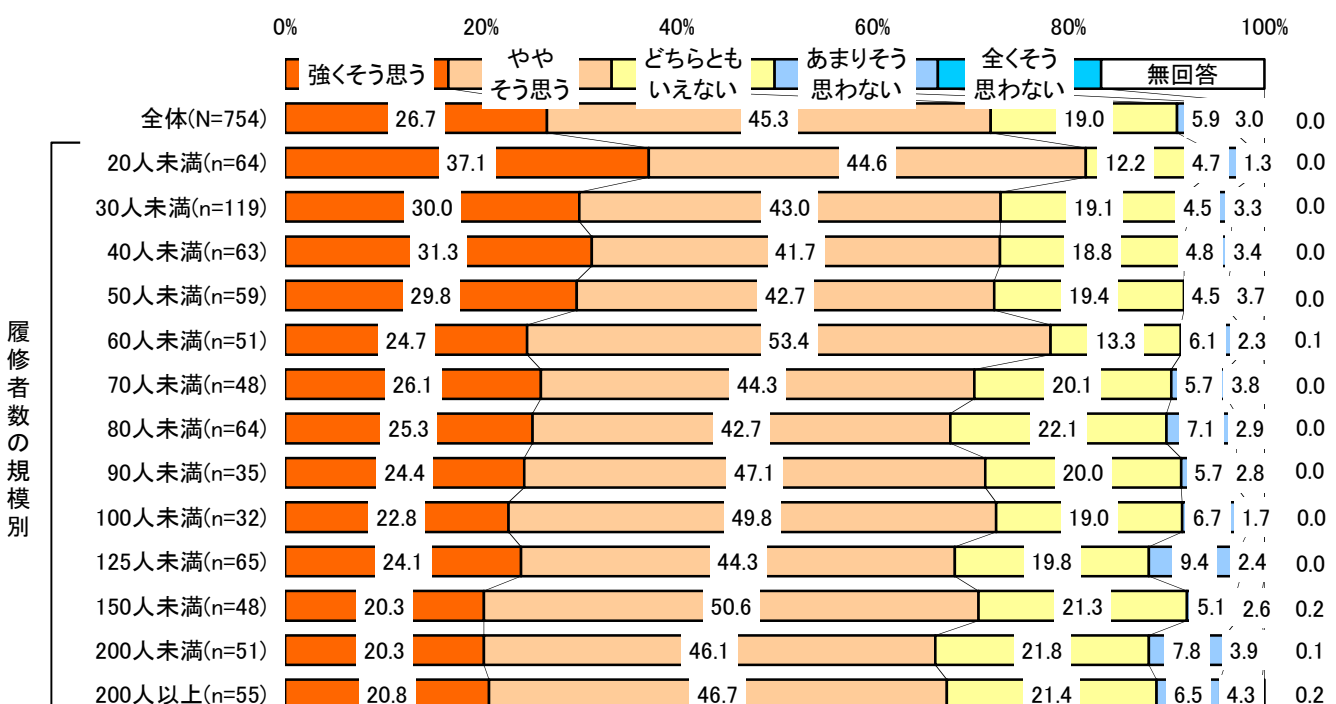
授業ベース

【30年度前期】



【30年度後期】

授業ベース



基礎データ(前期)

※調査方法が異なりますので、結果の比較にご留意ください
平成28年度前期: 常勤 WEBアンケート、非常勤 紙アンケート
平成29年度前期: WEBアンケート
平成30年度前期: WEBアンケート

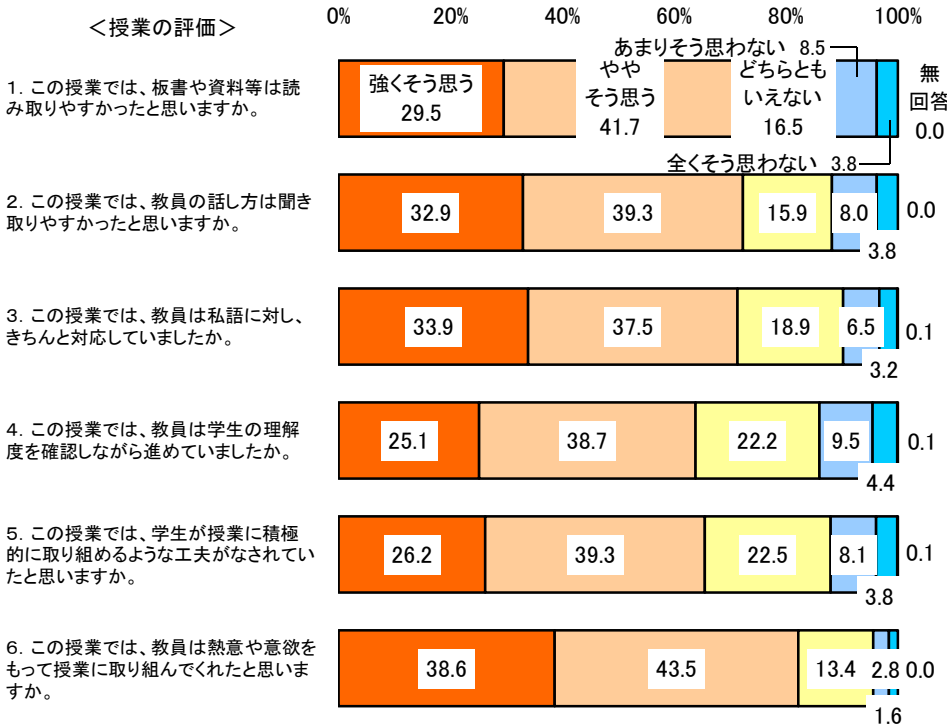
10 時系列比較

[前期 学生]

30年度前期の授業の評価を時系列でみると、いずれも29年度前期を2~3ポイント上回る。
 学生の評価は、全般的に上昇傾向で、多くの項目で29年度前期を3~4ポイント上回る。

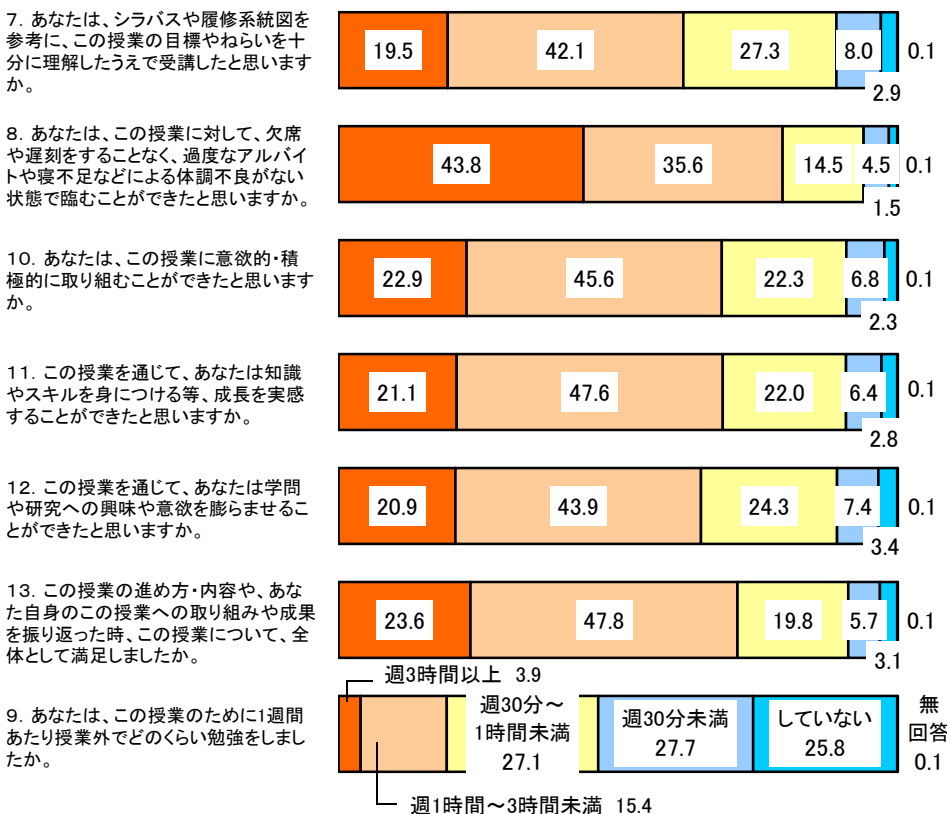
【30年度前期 全学部平均】(N=22885)

<授業の評価>



30年度前期 常勤	30年度前期 非常勤	30年度前期 全体	29年度前期 全体	28年度前期 全体
71.9	69.9	71.2	68.6	69.3
72.4	71.9	72.2	69.3	71.0
73.1	68.1	71.4	69.3	69.3
63.3	64.8	63.8	61.8	61.6
65.5	65.2	65.4	63.9	63.1
82.3	81.9	82.2	78.6	79.0

<学生の評価>



61.5	61.9	61.7	57.8	54.5
79.2	79.8	79.4	76.4	73.3
68.1	69.1	68.5	65.4	62.5
68.6	68.8	68.7	65.5	63.2
66.4	61.6	64.8	61.7	59.4
71.5	71.0	71.3	67.9	67.2
20.8	16.4	19.3	19.5	18.4

* 数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

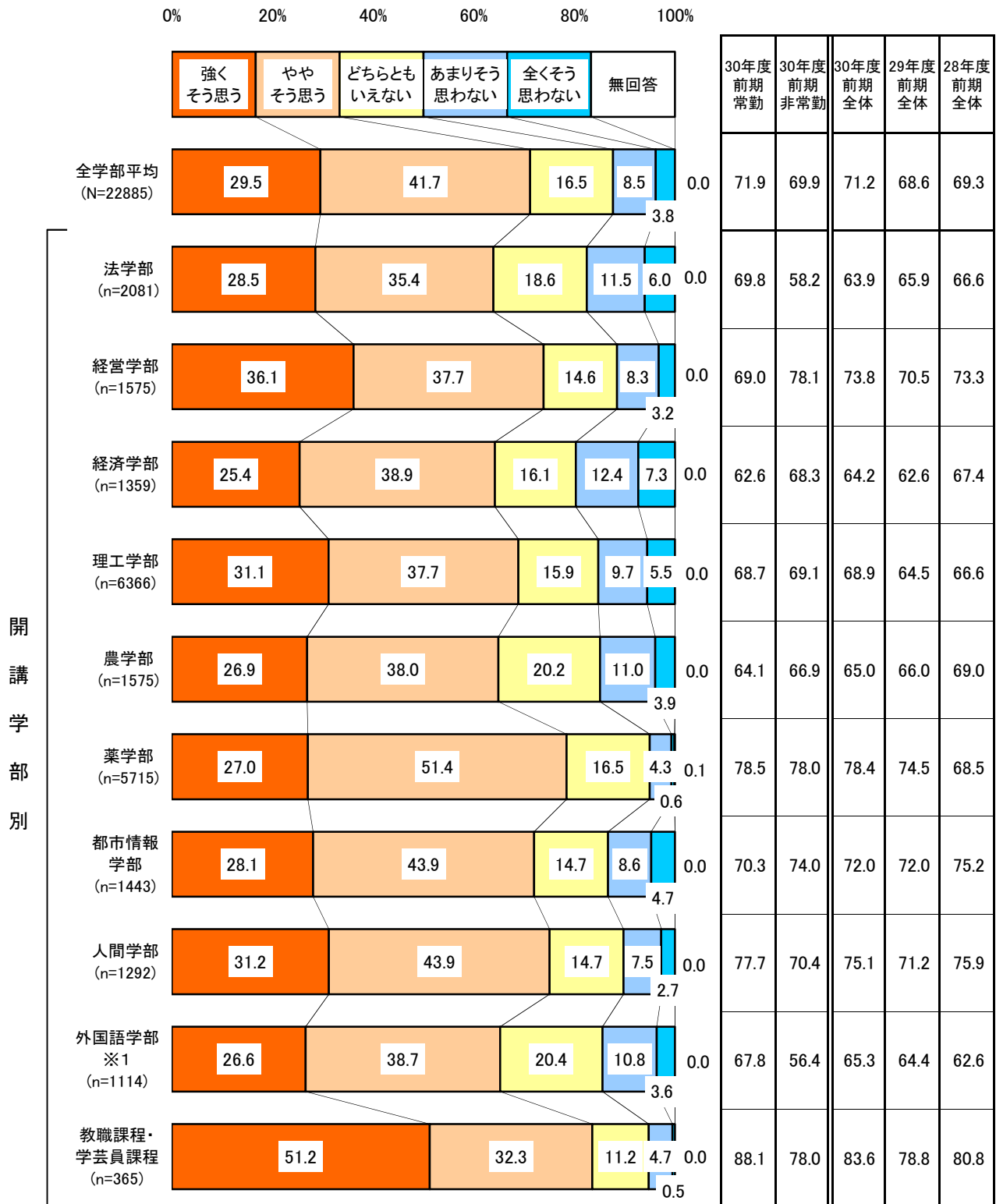
11 授業評価の基礎データ 板書

[前期 学生]

板書に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程では8割強にのぼるが、法学部、経済学部、農学部、外国語学部では6割強にとどまる。

【30年度前期】

Q1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったですか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

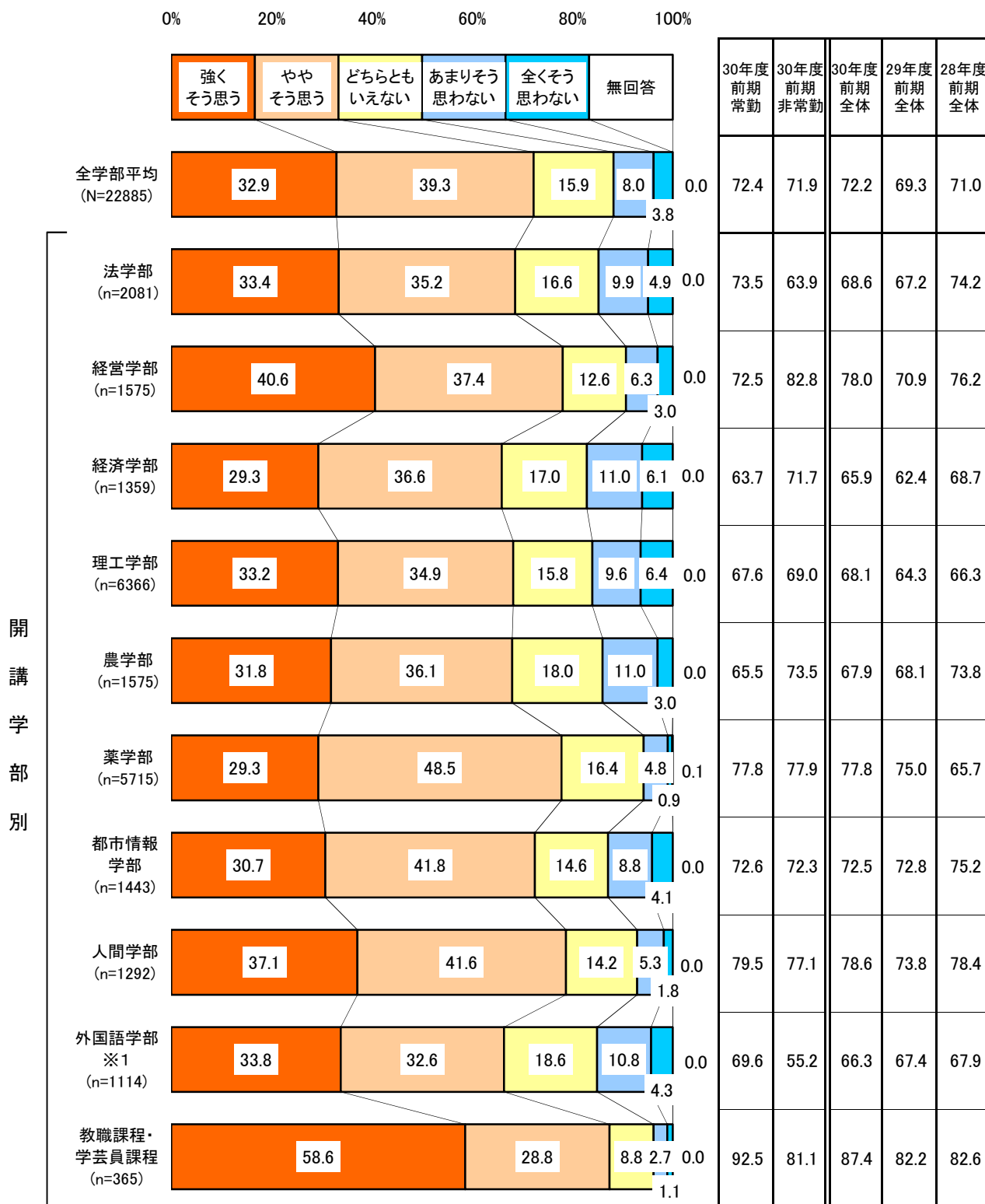
11 授業評価の基礎データ 話方明瞭

[前期 学生]

話方明瞭に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程では9割弱にのぼり、「強くそう思う」の割合が6割弱を占める。29年度前期と比べると、経営学部、教職課程・学芸員課程で評価が上昇している。

【30年度前期】

Q2. この授業では、教員の話方は聞き取りやすかったですか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

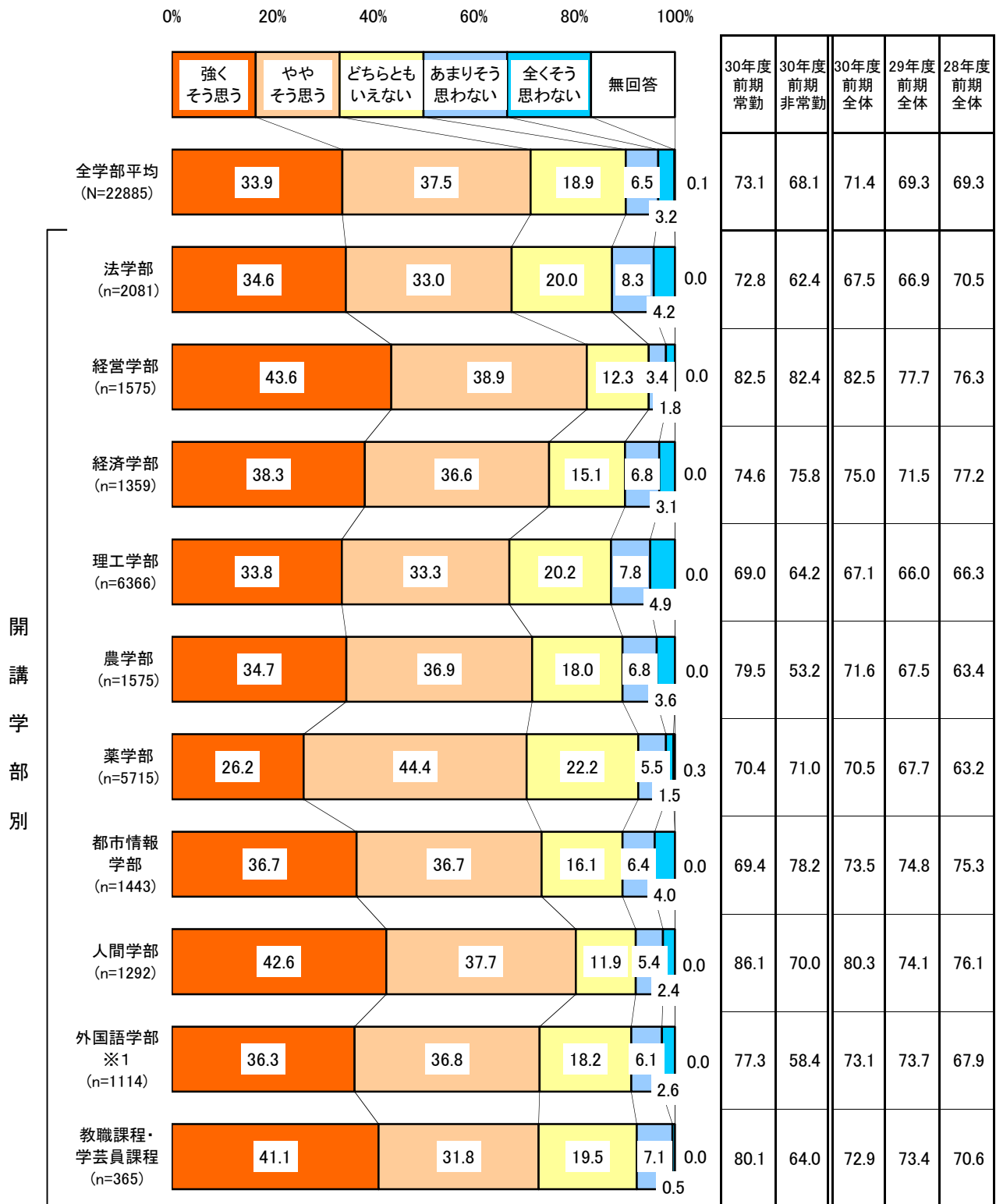
11 授業評価の基礎データ 私語対応

[前期 学生]

私語対応に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。経営学部、人間学部は29年度前期から評価が上昇し、8割を超える。

【30年度前期】

Q3. この授業では、教員は私語に対し、きちんに対応していましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

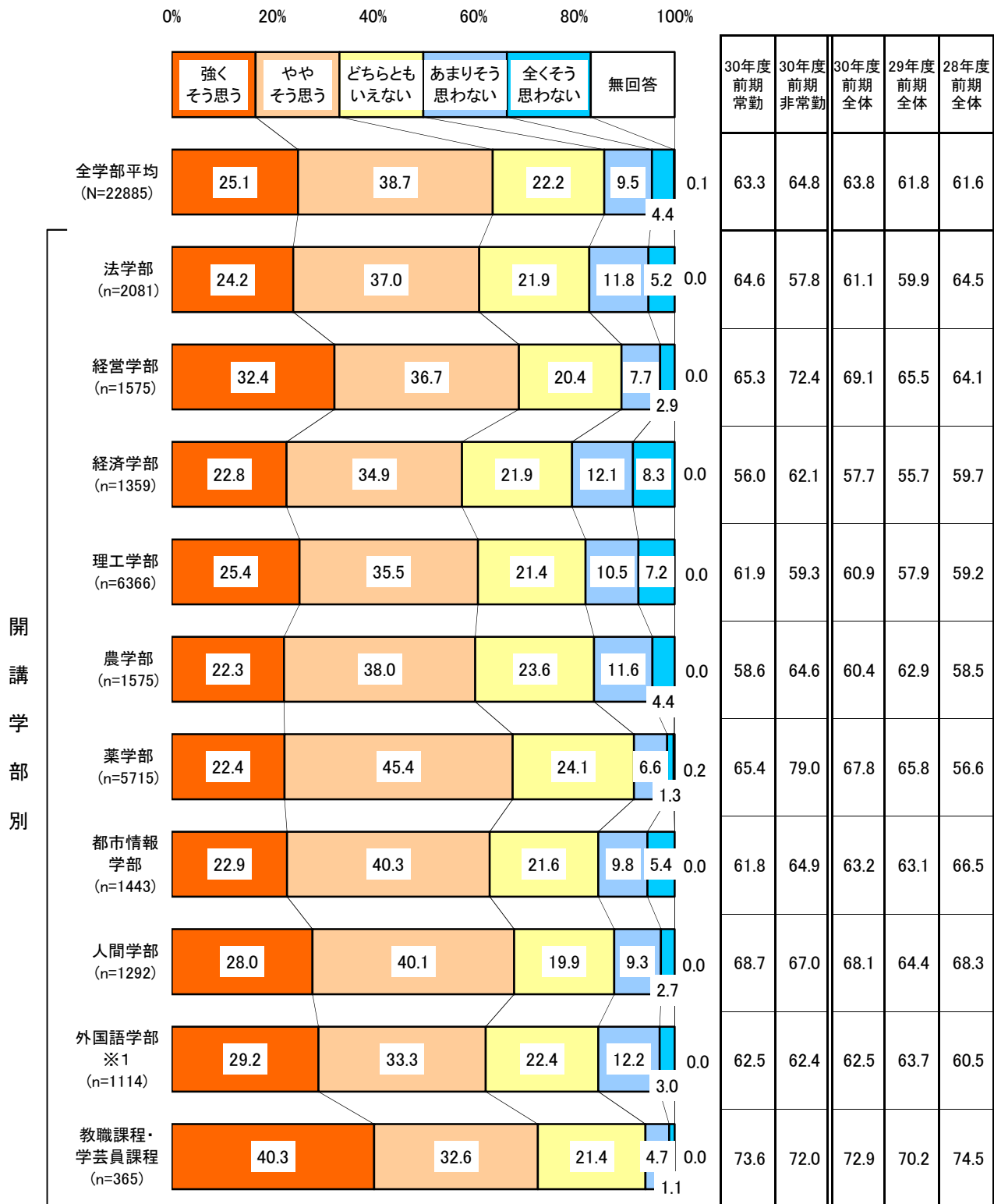
11 授業評価の基礎データ 理解配慮

[前期 学生]

理解配慮に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。教職課程・学芸員課程で7割強と評価が高い。

【30年度前期】

Q4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

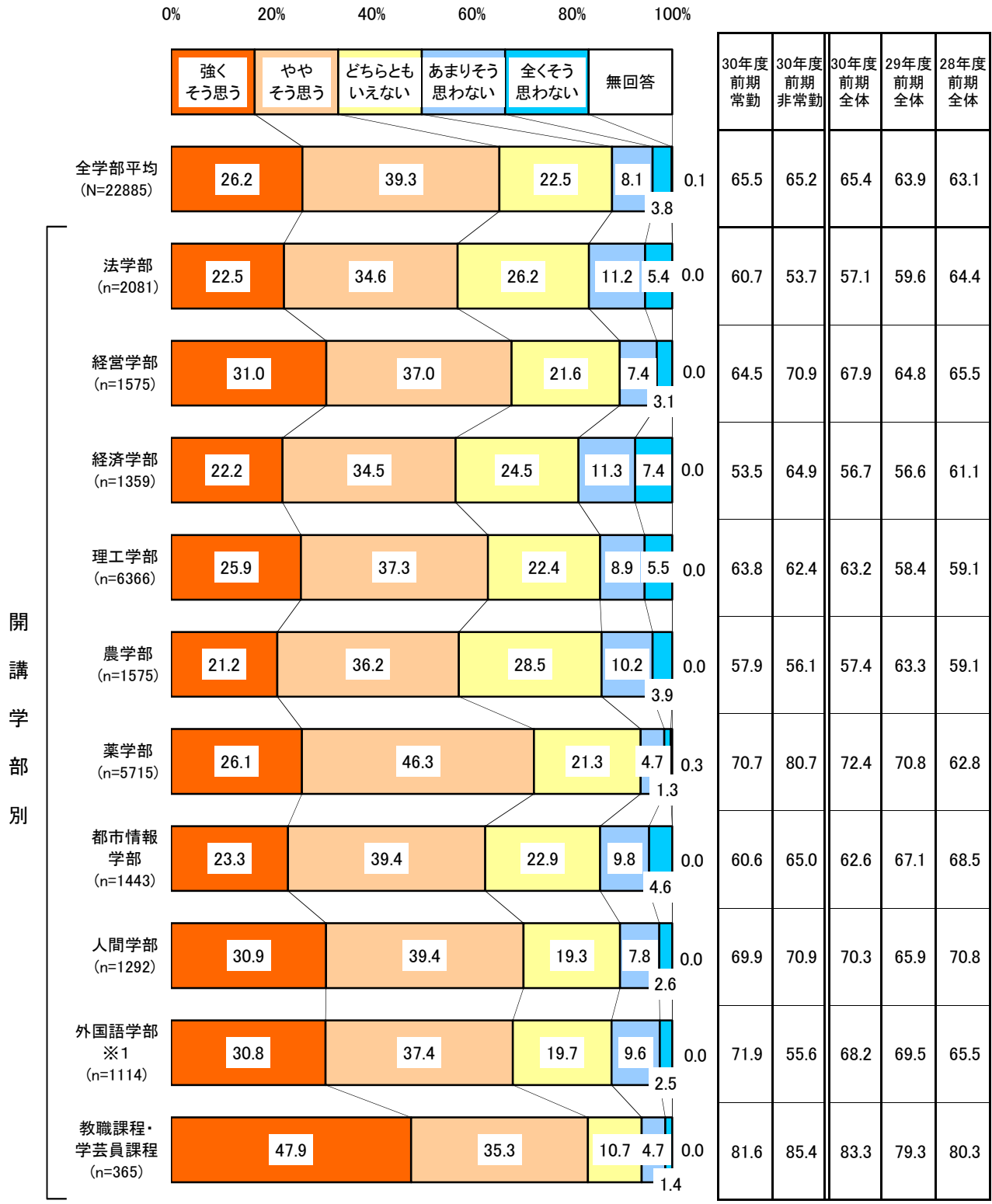
11 授業評価の基礎データ 工夫

[前期 学生]

工夫に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割台半ば。教職課程・学芸員課程で8割強にのぼるほか、薬学部や人間学部でも7割を超える。29年度前期と比べると理工学部で評価が上昇したが、農学部、都市情報学部では低下傾向。

【30年度前期】

Q5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1～3年次のみ

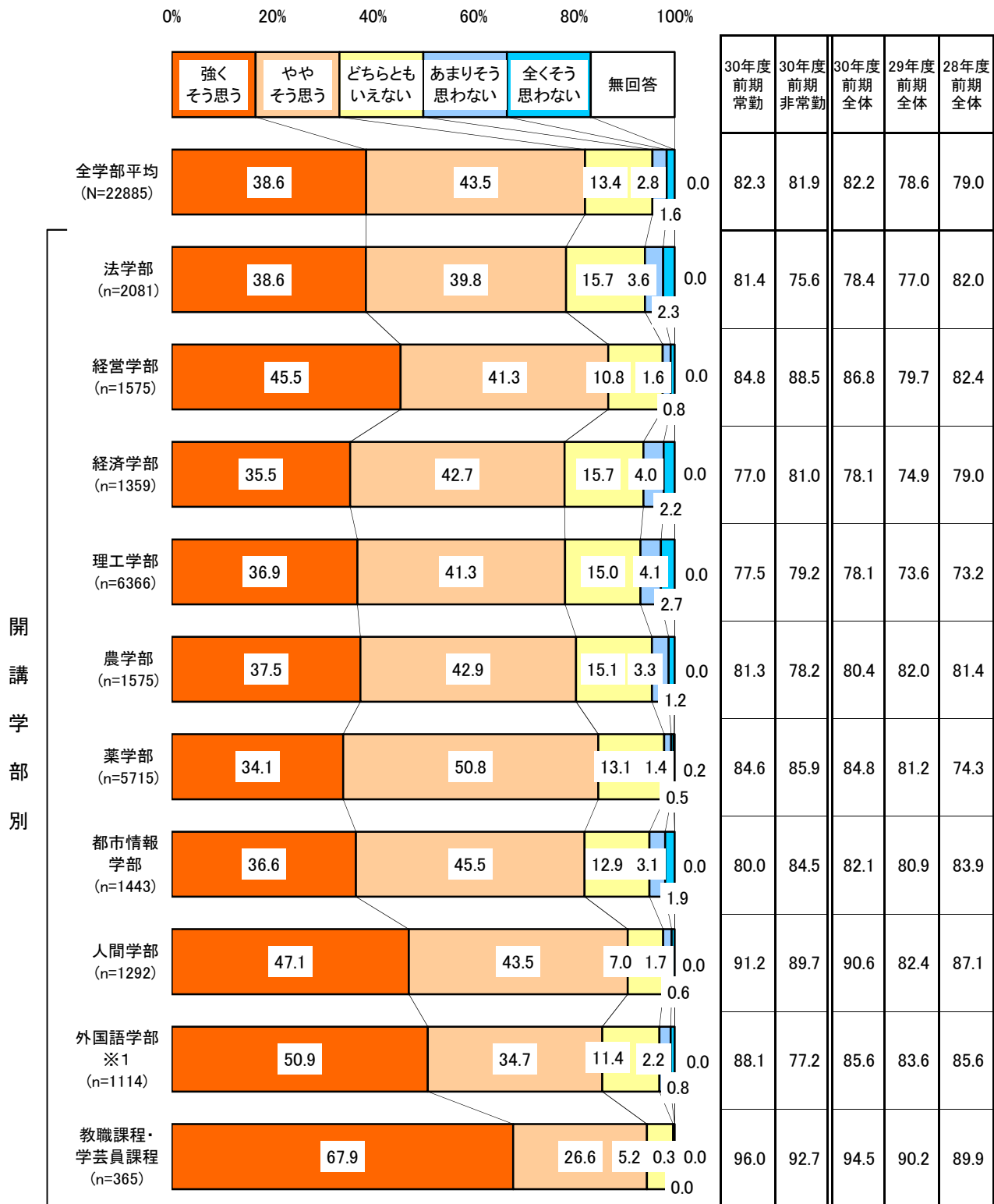
11 授業評価の基礎データ 熱意

[前期 学生]

熱意に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割強。教職課程・学芸員課程、人間学部では9割台に達し、教職課程・学芸員課程は「強くそう思う」が7割弱を占める。29年度前期と比べると、経営学部、人間学部で評価が上昇している。

【30年度前期】

Q6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。



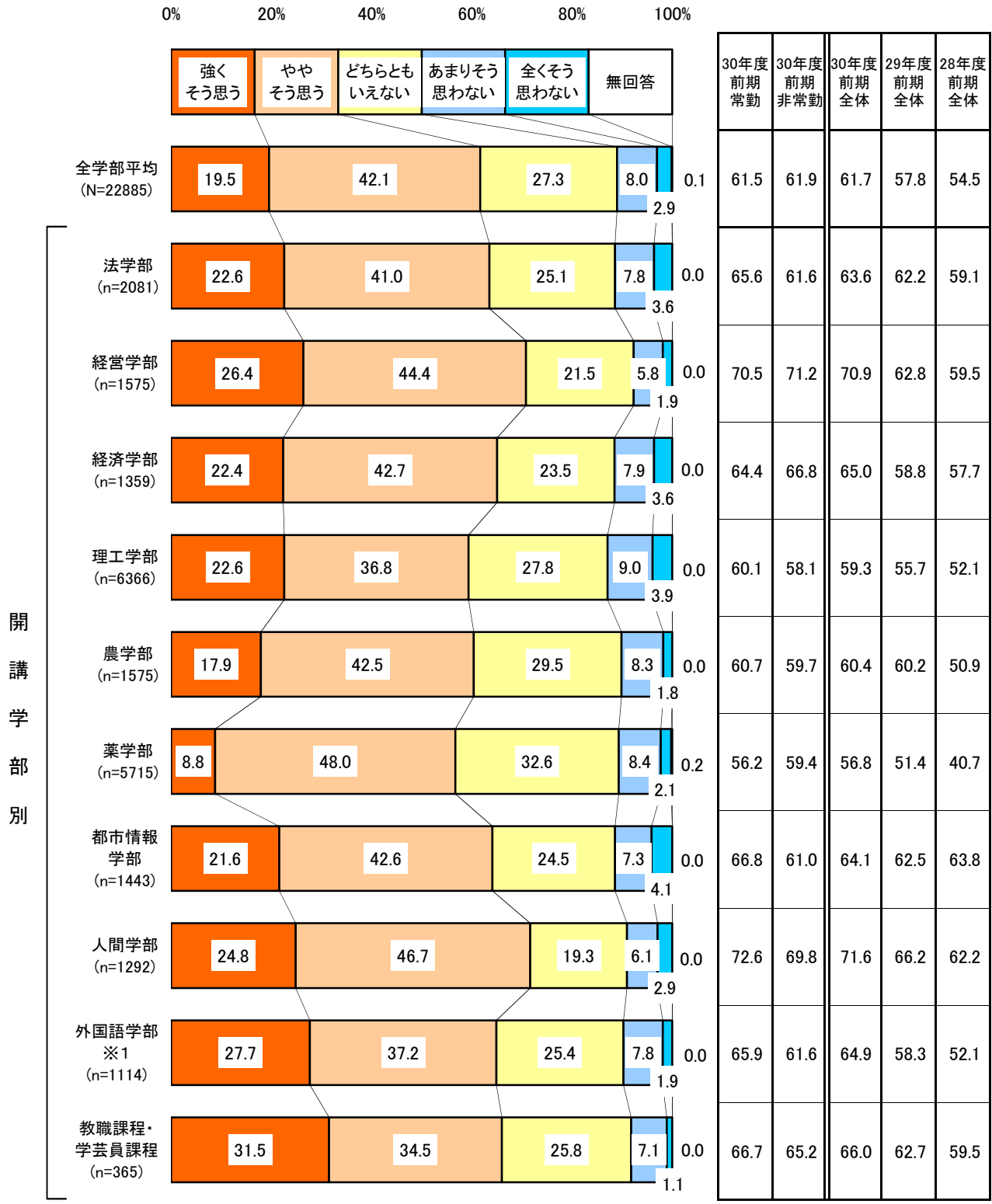
* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

目標理解に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。人間学部、経営学部で7割強と評価が高い。29年度前期と比べると、経営学部、経済学部、外国語学部などで評価が上昇している。

【30年度前期】

Q7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1～3年次のみ

12 学生評価の基礎データ 欠席遅刻

[前期 学生]

欠席遅刻に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約8割。教職課程・学芸員課程で9割弱にのぼる。29年度前期と比べると、経営学部、教職課程・学芸員課程で評価が上昇している。

【30年度前期】

Q8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

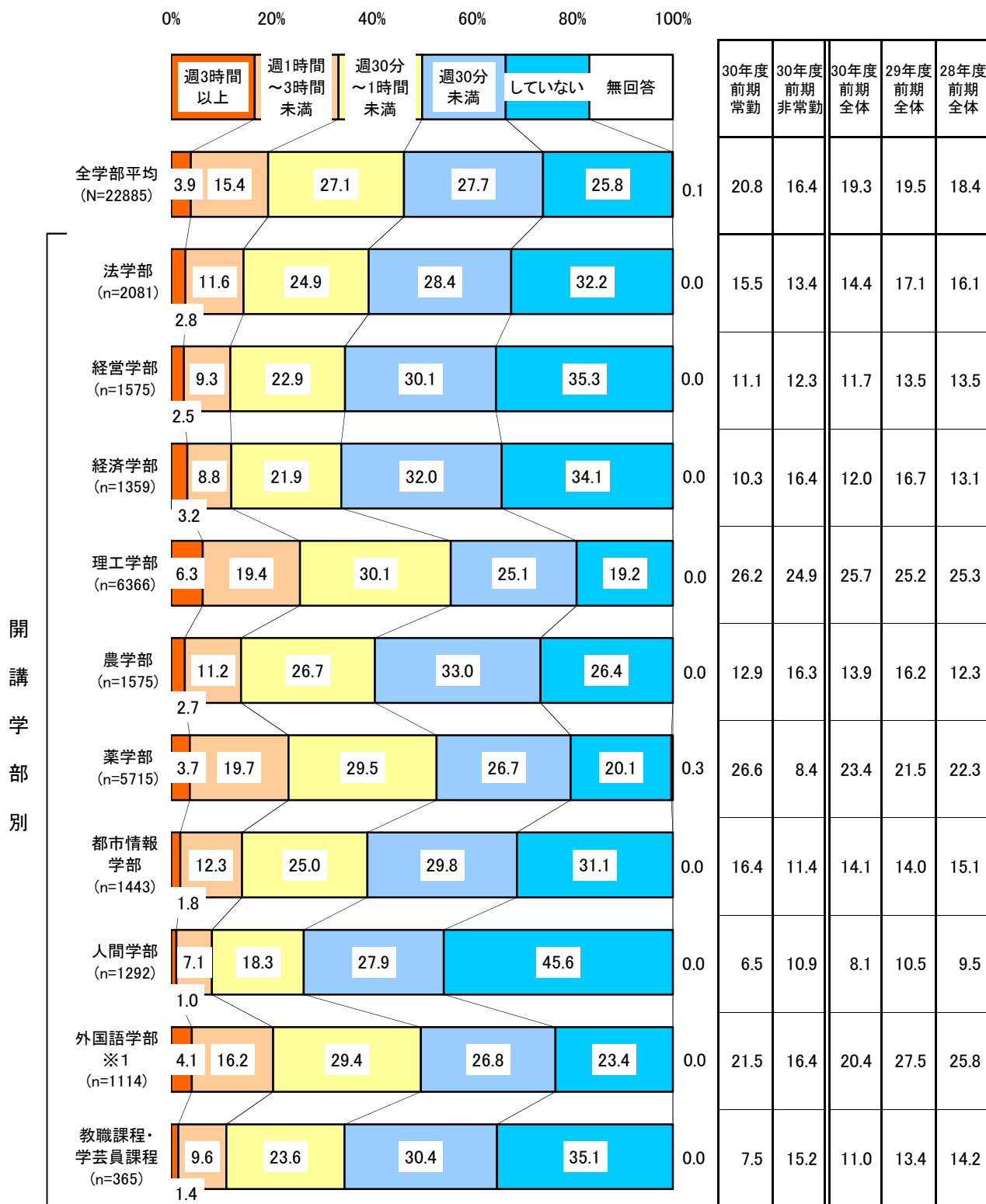
12 学生評価の基礎データ 自学自習時間

[前期 学生]

自学自習時間に関する学生の自己評価をみると、「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」と回答した学生は約2割。理工学部や薬学部で「週1時間以上」の割合が高めとなっている。

【30年度前期】

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。



(※1) 1～3年次のみ

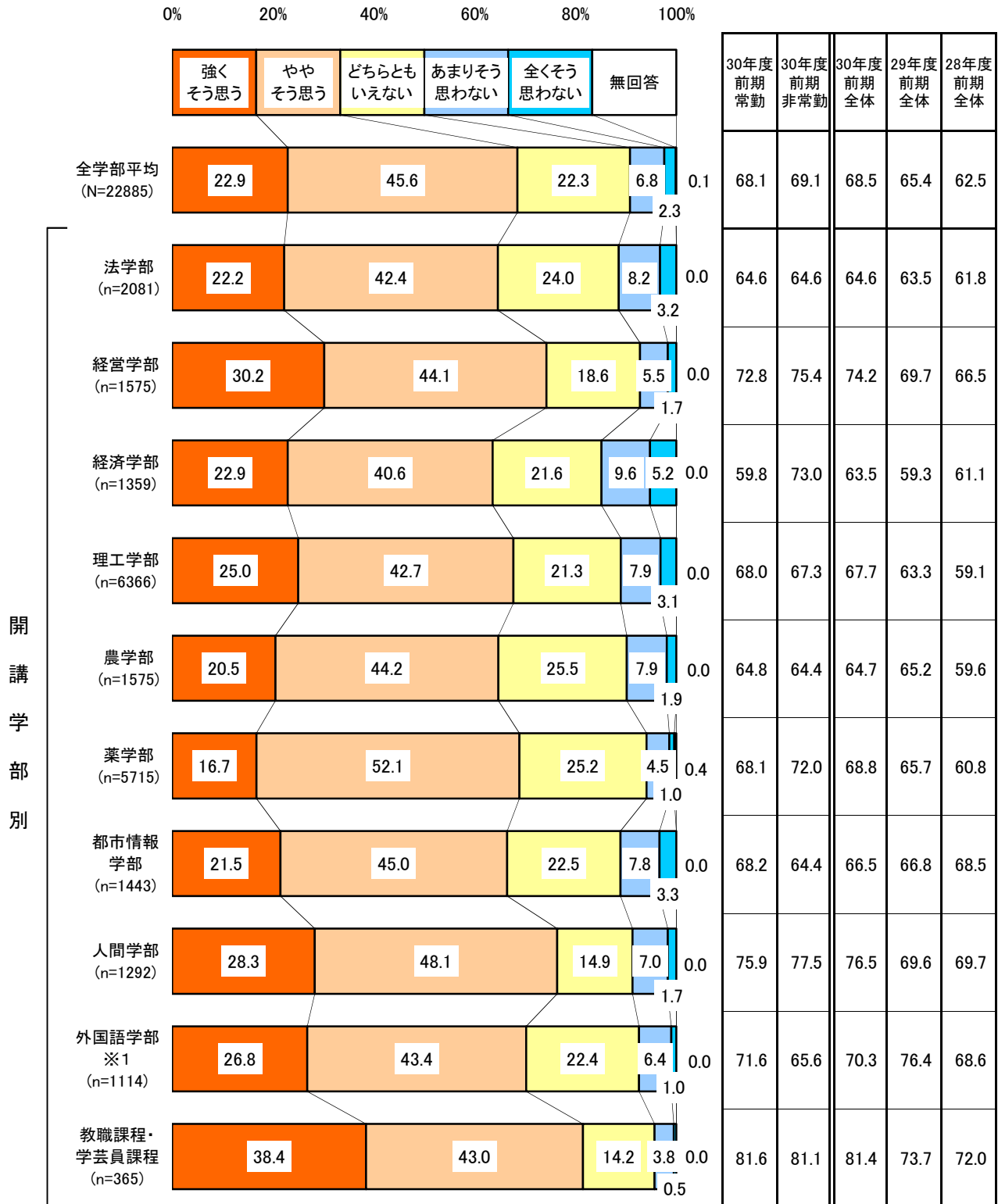
12 学生評価の基礎データ 意欲

[前期 学生]

意欲に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で8割強と評価が高い。29年度前期と比べると、人間学部、教職課程・学芸員課程で評価が上昇したが、外国語学部では低下傾向。

【30年度前期】

Q10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

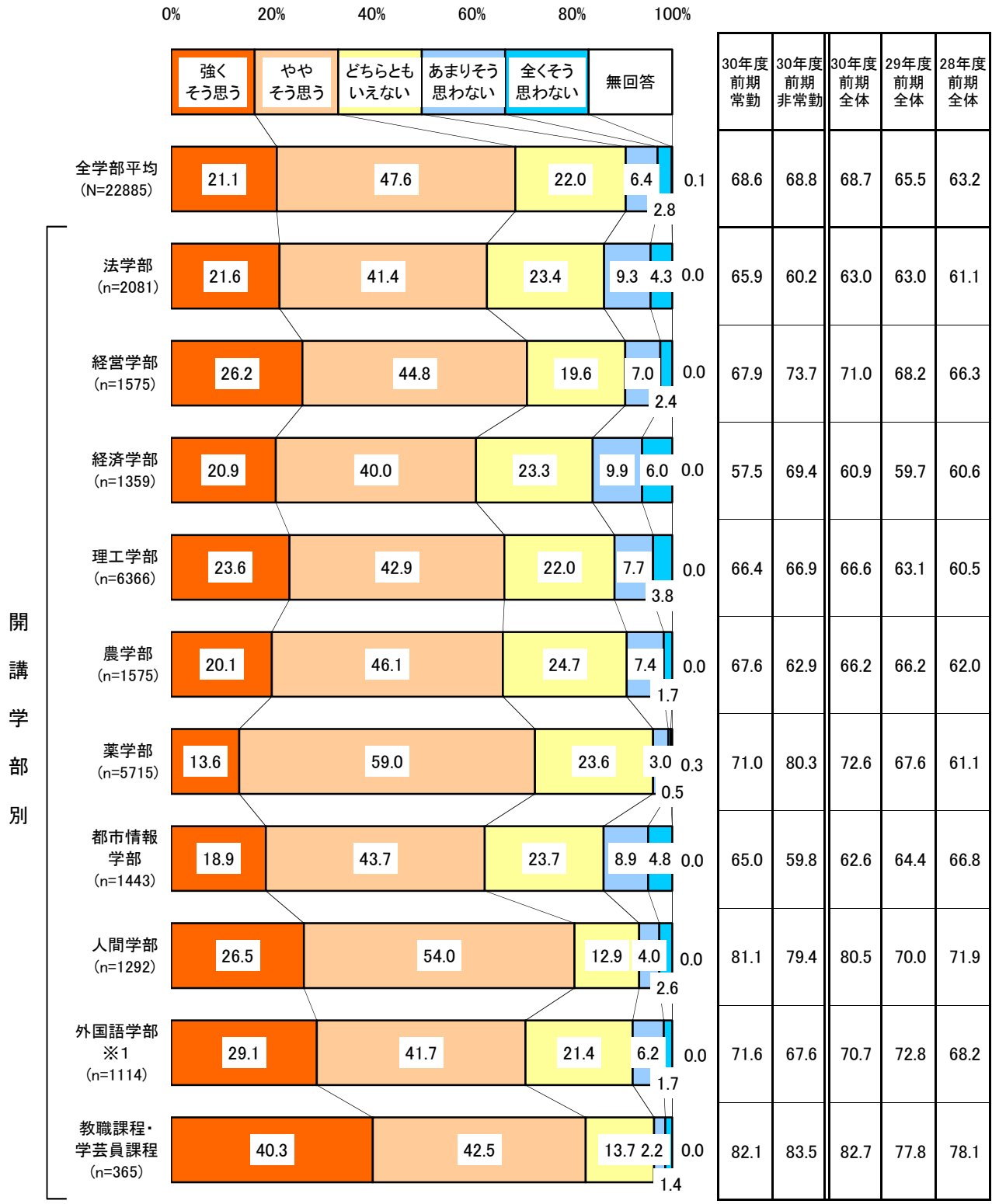
12 学生評価の基礎データ 成長実感

[前期 学生]

成長実感に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程、人間学部で評価が高く、8割を超える。29年度前期と比べると、人間学部で評価が大きく上昇した。

【30年度前期】

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

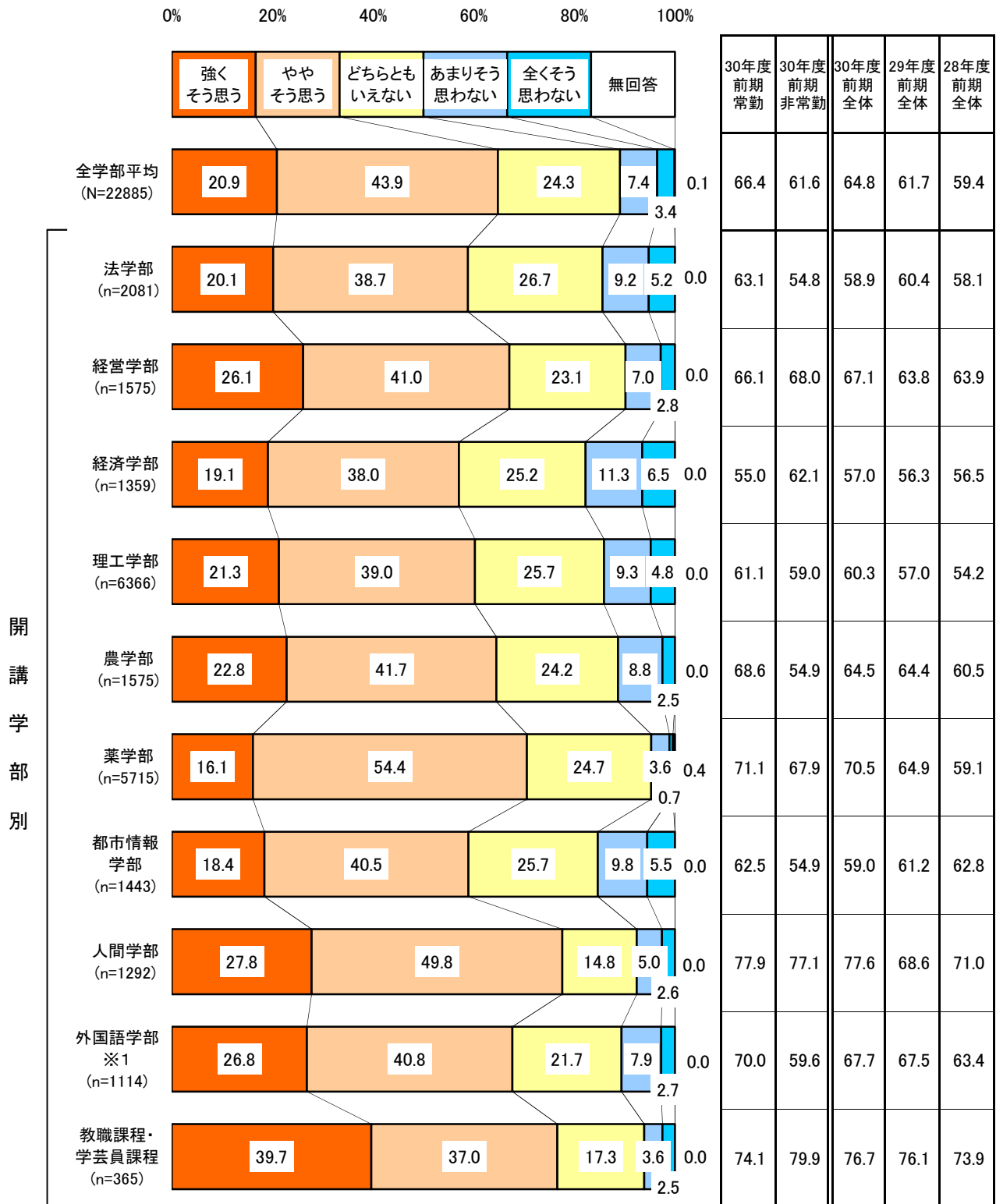
12 学生評価の基礎データ 興味喚起

[前期 学生]

興味喚起に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割台半ば。人間学部、教職課程・学芸員課程では8割弱と評価が高い。29年度前期と比べると、人間学部、薬学部で評価が上昇している。

【30年度前期】

Q12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

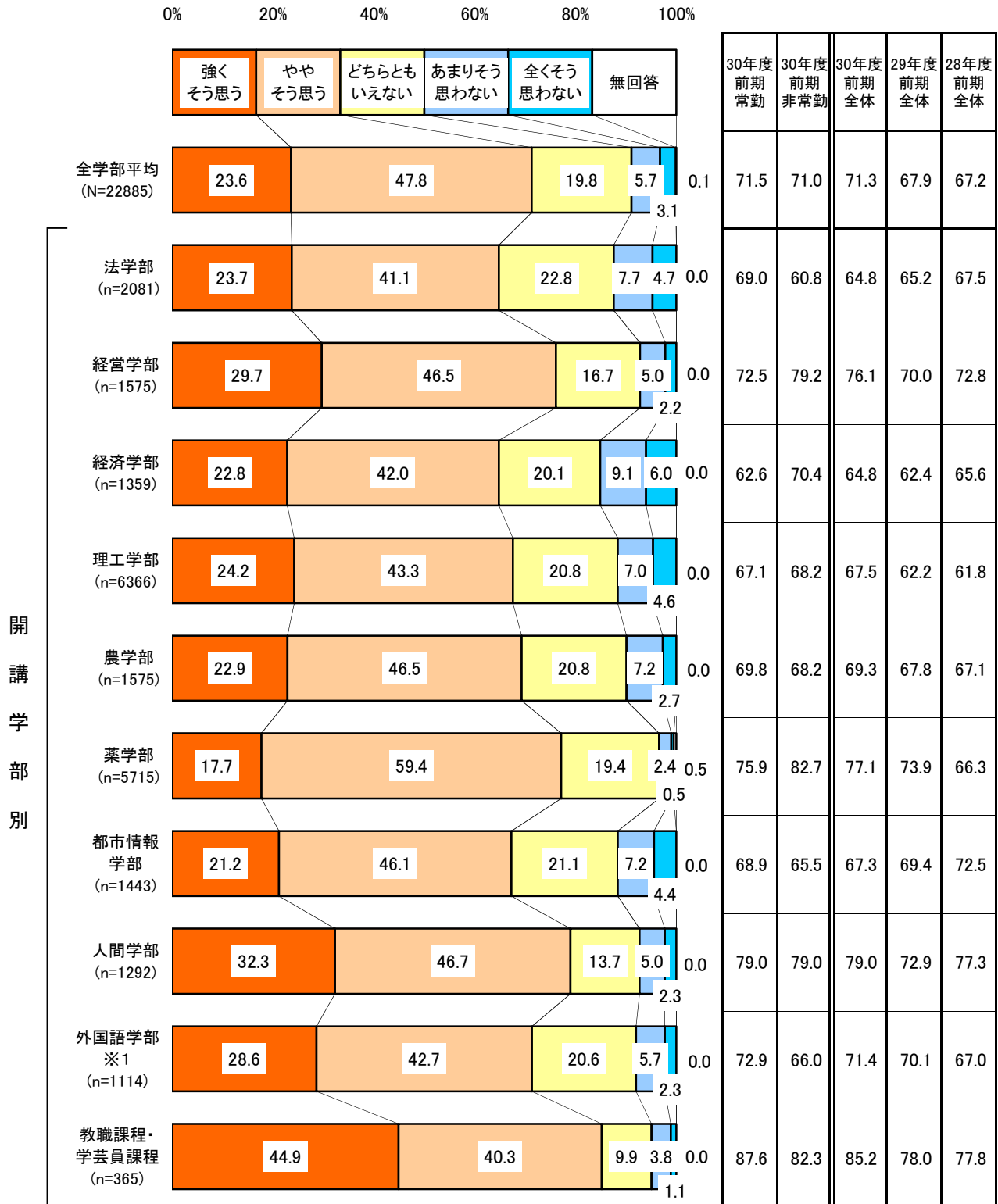
12 学生評価の基礎データ 授業満足

[前期 学生]

授業満足に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程で8割台半ばと評価が高い。経営学部、人間学部は29年度前半から上昇し、8割弱にのぼる。

【30年度前期】

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

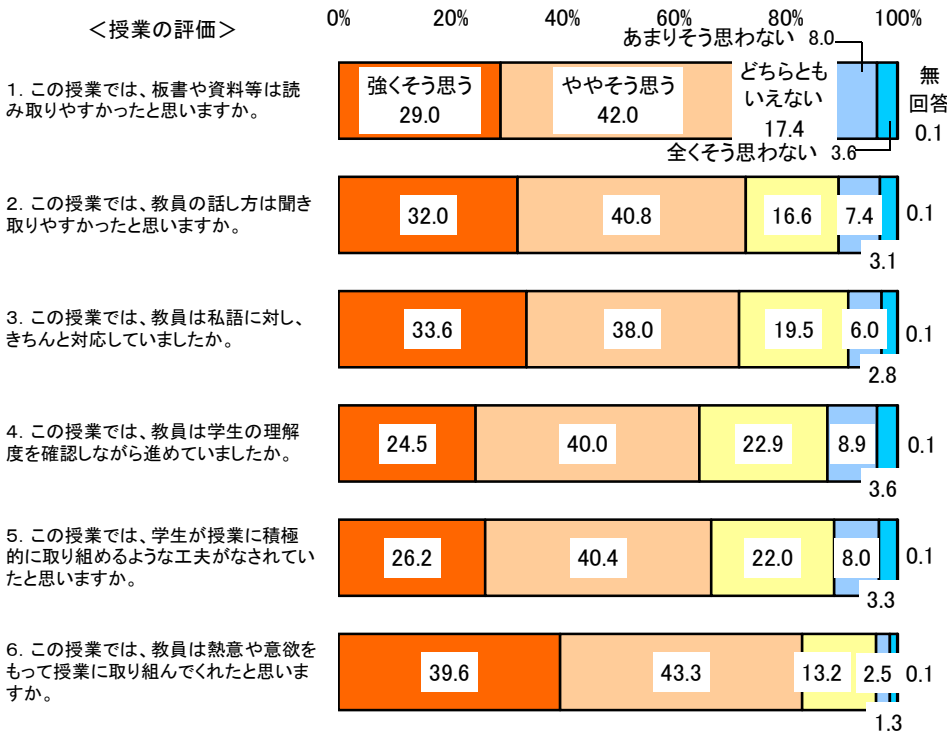
(※1) 1～3年次のみ

基礎データ(後期)

30年度後期の授業の評価を時系列でみると、緩やかな上昇傾向が続き、いずれの項目でも29年度後期を上回る。また、学生の評価でも上昇傾向がみられる。

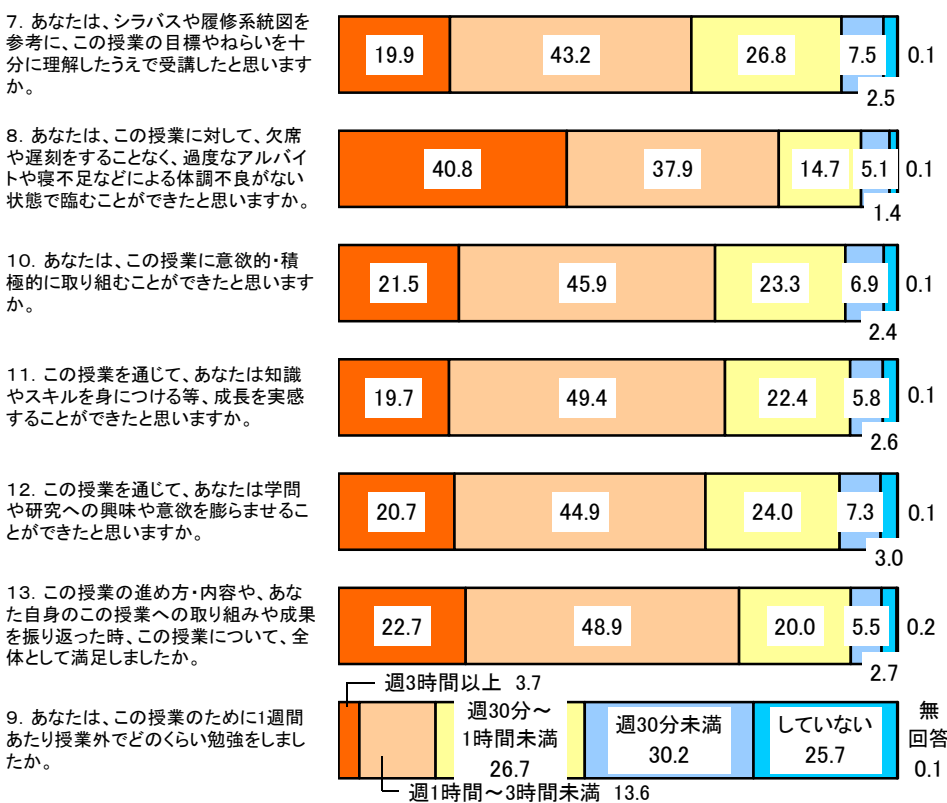
【30年度後期 全学部平均】(N=17094)

<授業の評価>



30年度後期 常勤	30年度後期 非常勤	30年度後期 全体	29年度後期 全体	28年度後期 全体
70.9	71.3	71.0	70.1	68.6
72.6	73.7	72.9	71.4	69.2
73.5	67.2	71.6	70.4	68.9
63.6	66.7	64.5	63.6	60.8
65.7	68.8	66.6	66.0	62.5
82.5	83.8	82.9	79.9	78.2

<学生の評価>



62.5	64.4	63.1	59.6	55.1
79.2	77.5	78.7	77.0	73.4
67.0	68.2	67.4	65.7	62.6
68.8	69.9	69.1	66.9	63.1
66.7	62.8	65.6	63.7	60.5
71.8	71.3	71.7	70.1	66.3
18.7	14.1	17.4	17.3	16.3

*数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

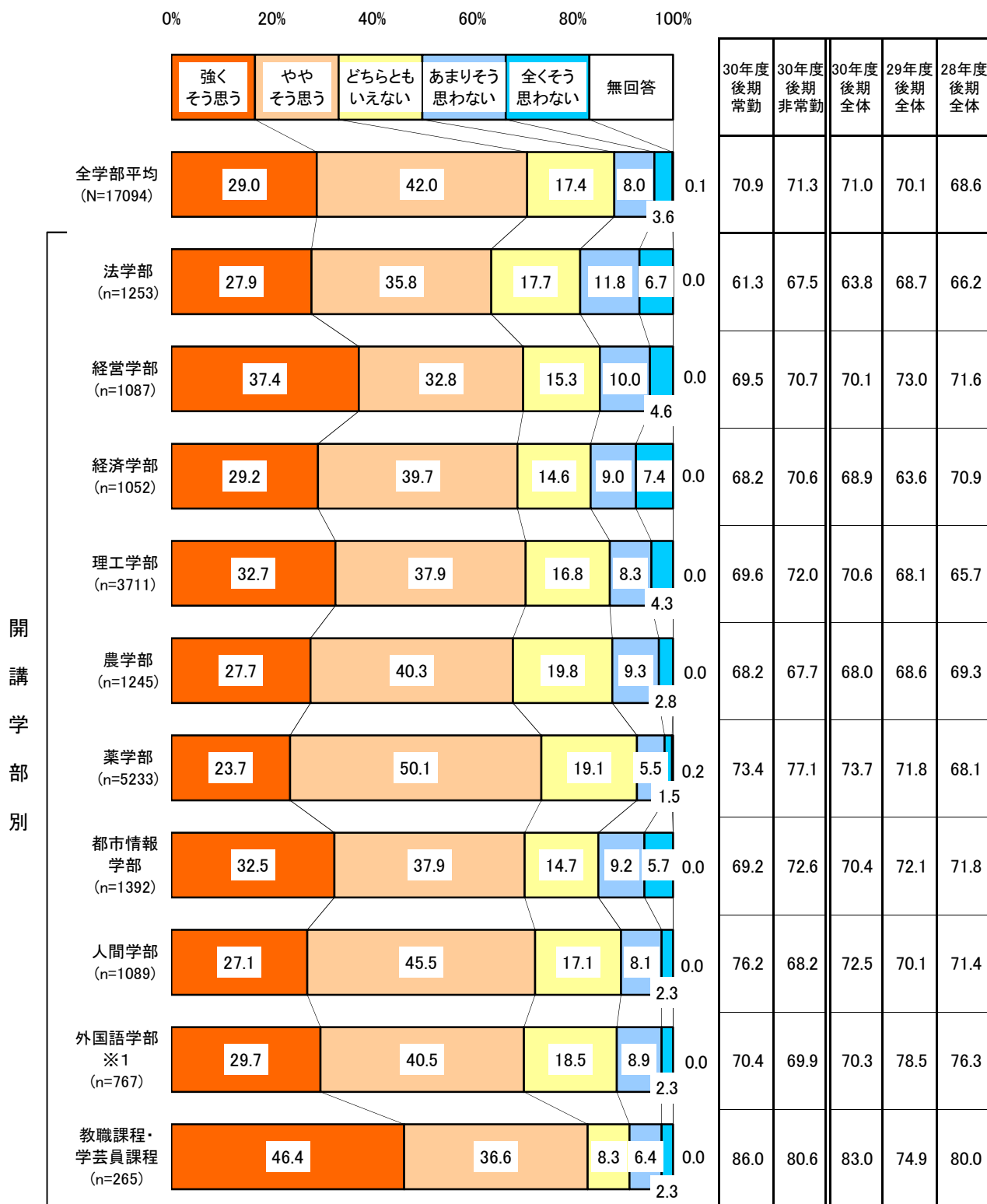
14 授業評価の基礎データ 板書

[後期 学生]

板書に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程で8割強と評価が高い。一方、法学部では6割強とやや評価が低く、29年度後期より低下している。

【30年度後期】

Q1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったですか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

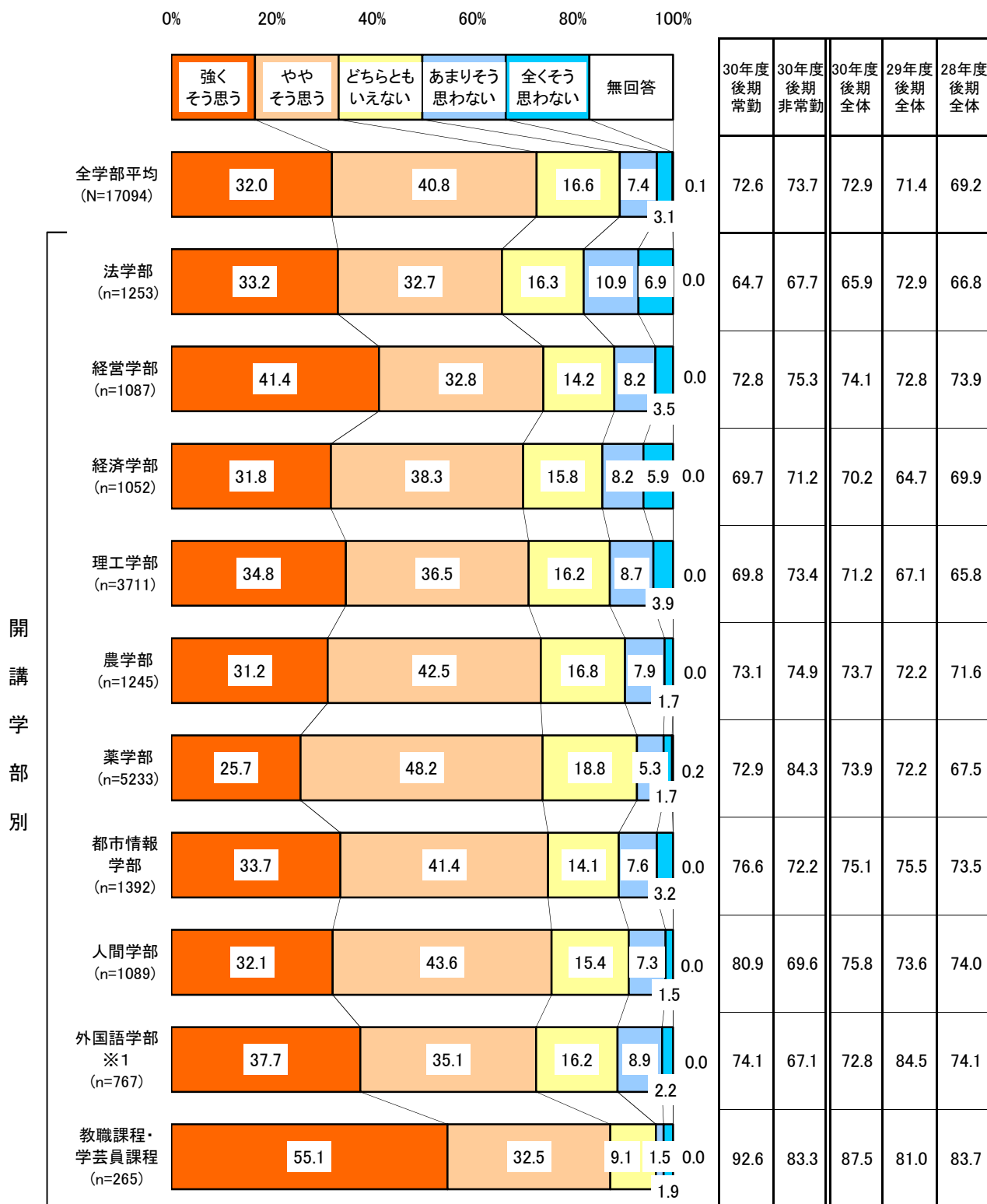
14 授業評価の基礎データ 話方明瞭

[後期 学生]

話方明瞭に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程で評価が高く、9割弱にのぼる。29年度後期と比べて、法学部、外国語学部で低下したが、経済学部、教職課程・学芸員課程で上昇した。

【30年度後期】

Q2. この授業では、教員の話方は聞き取りやすかったですか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

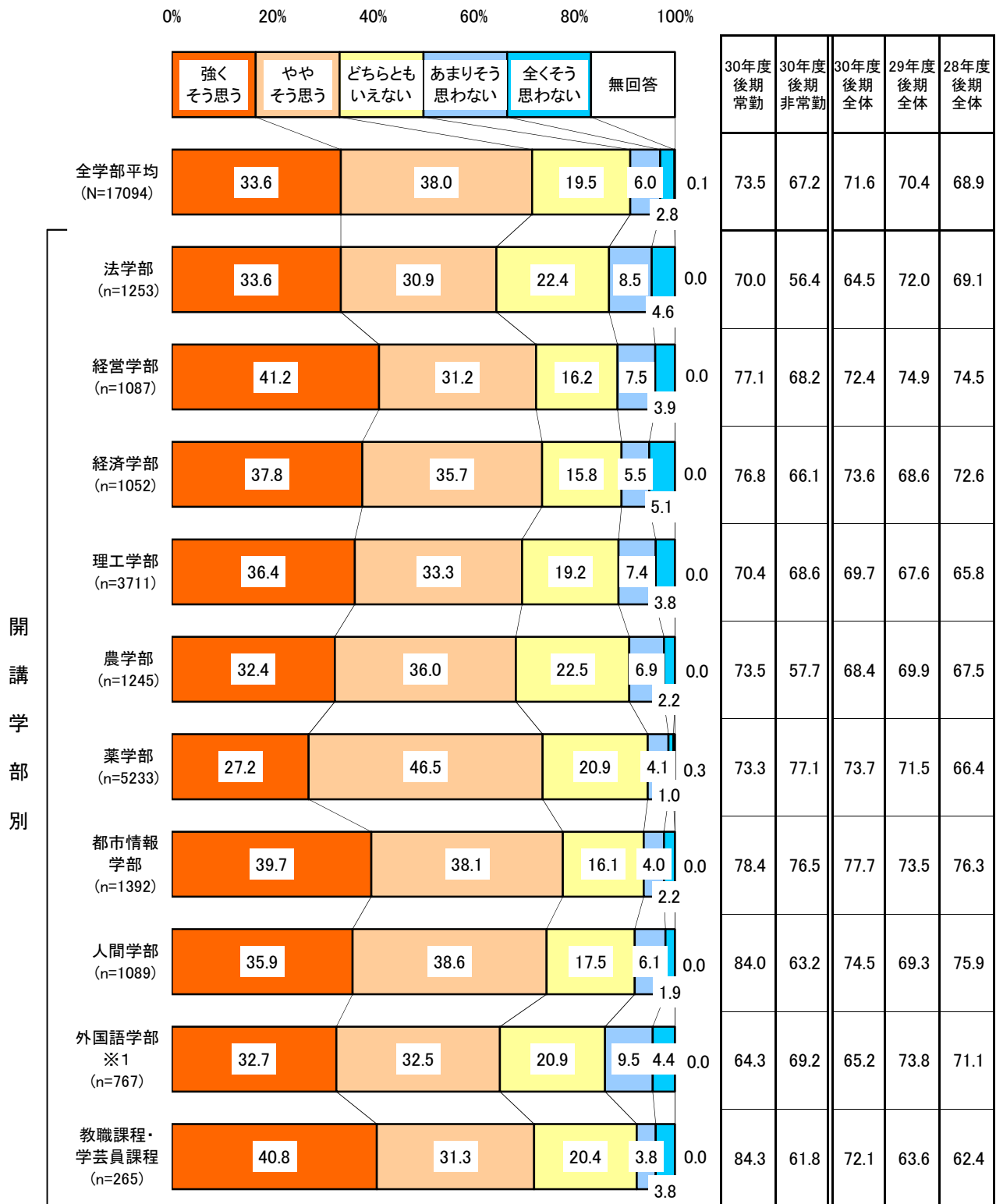
(※1) 1～3年次のみ

14 授業評価の基礎データ 私語対応

[後期 学生]

私語対応に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。法学部、外国語学部で評価がやや低い。29年度後期と比べて、法学部、外国語学部で低下したが、教職課程・学芸員課程、経済学部で上昇した。

【30年度後期】 Q3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

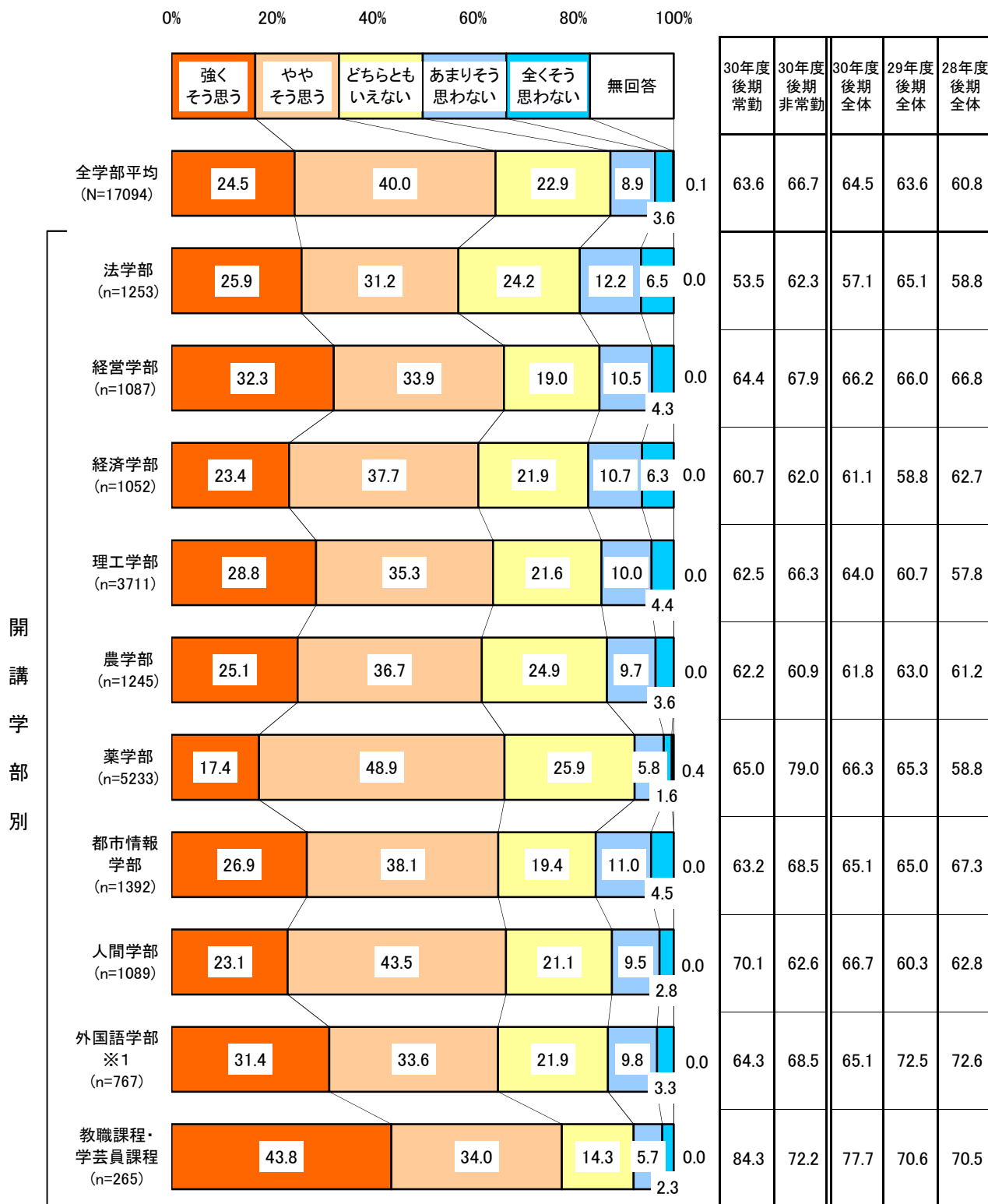
14 授業評価の基礎データ 理解配慮

[後期 学生]

理解配慮に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割台半ば。教職課程・学芸員課程で8割弱と評価が高い。29年度後期と比べて、法学部、外国語学部で低下したが、人間学部、教職課程・学芸員課程で上昇した。

【30年度後期】

Q4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

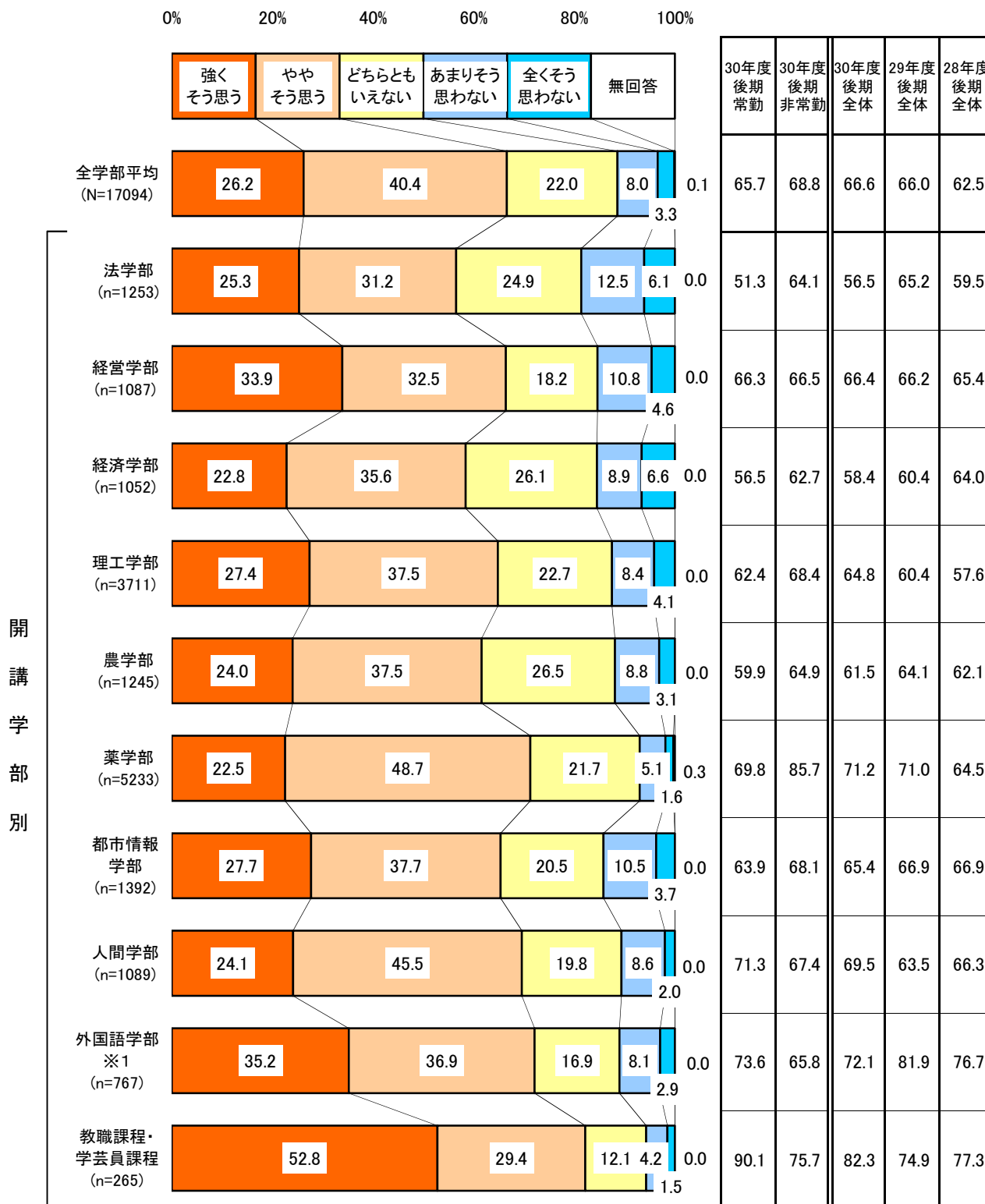
14 授業評価の基礎データ 工夫

[後期 学生]

工夫に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で特に評価が高く、8割強にのぼる。29年度後期と比べて、法学部、外国語学部で低下したが、人間学部、教職課程・学芸員課程で上昇した。

【30年度後期】

Q5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

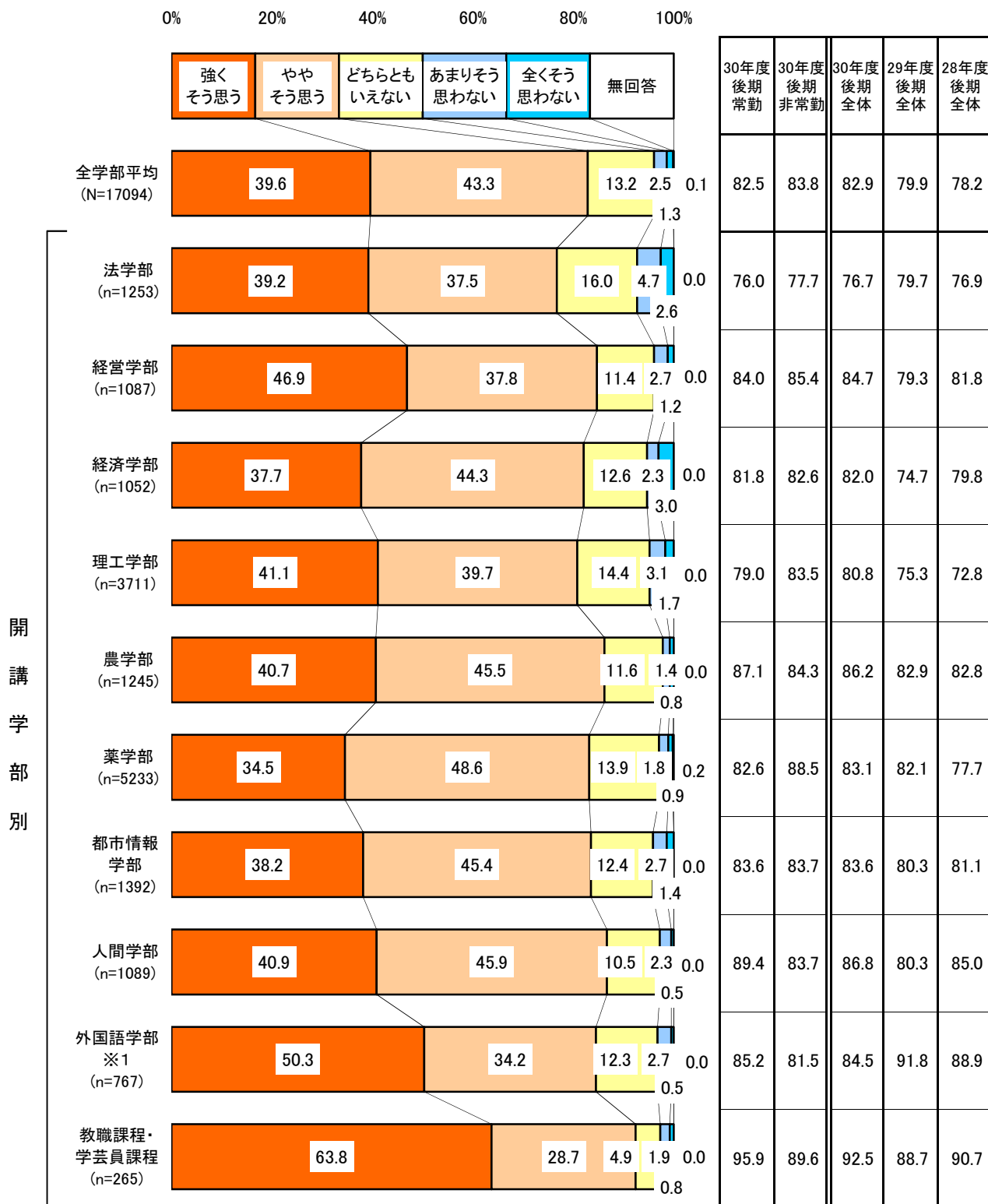
14 授業評価の基礎データ 熱意

[後期 学生]

熱意に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割強。教職課程・学芸員課程では9割強と評価が高く、「強くそう思う」が6割強を占める。29年度後期と比べて、多くの学部で評価が上昇したが、外国語学部、法学部では低下した。

【30年度後期】

Q6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。



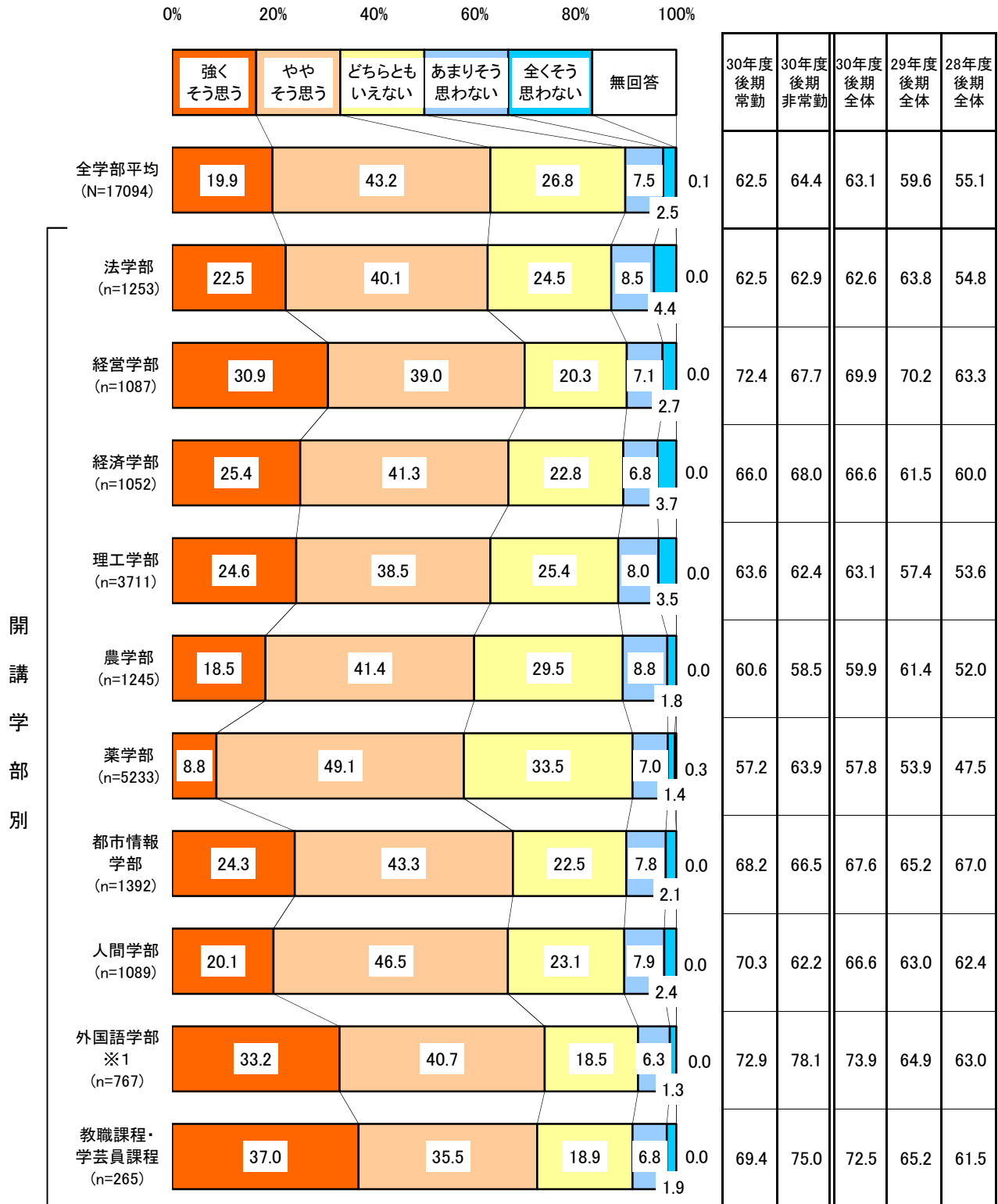
* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1~3年次のみ

目標理解に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。外国語学部、教職課程・学芸員課程は29年度後期から評価が上昇し、7割強にのぼる。

【30年度後期】

Q7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

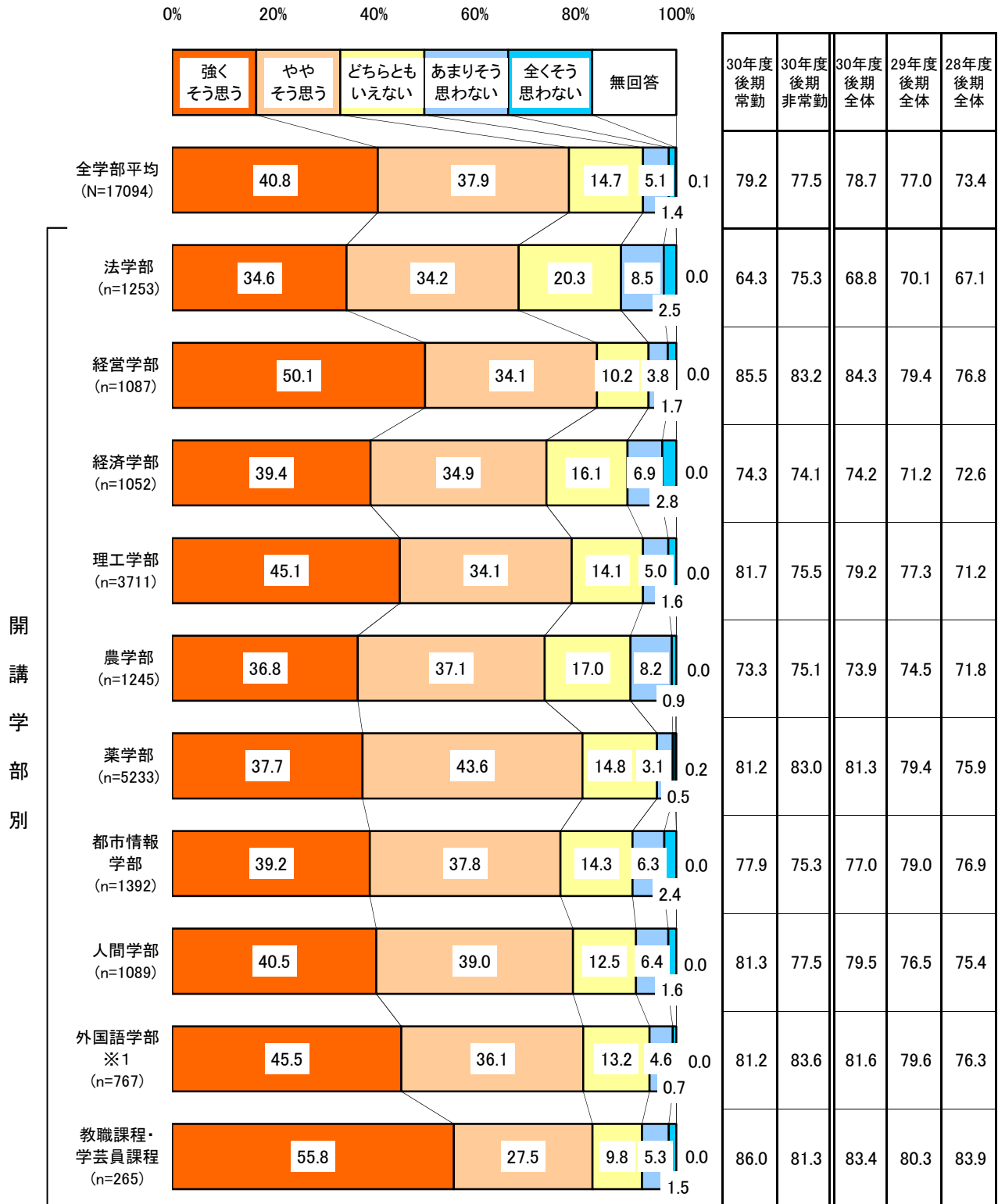
15 学生評価の基礎データ 欠席遅刻

[後期 学生]

欠席遅刻に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割弱。法学部では7割弱とやや評価が低い。

【30年度後期】

Q8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

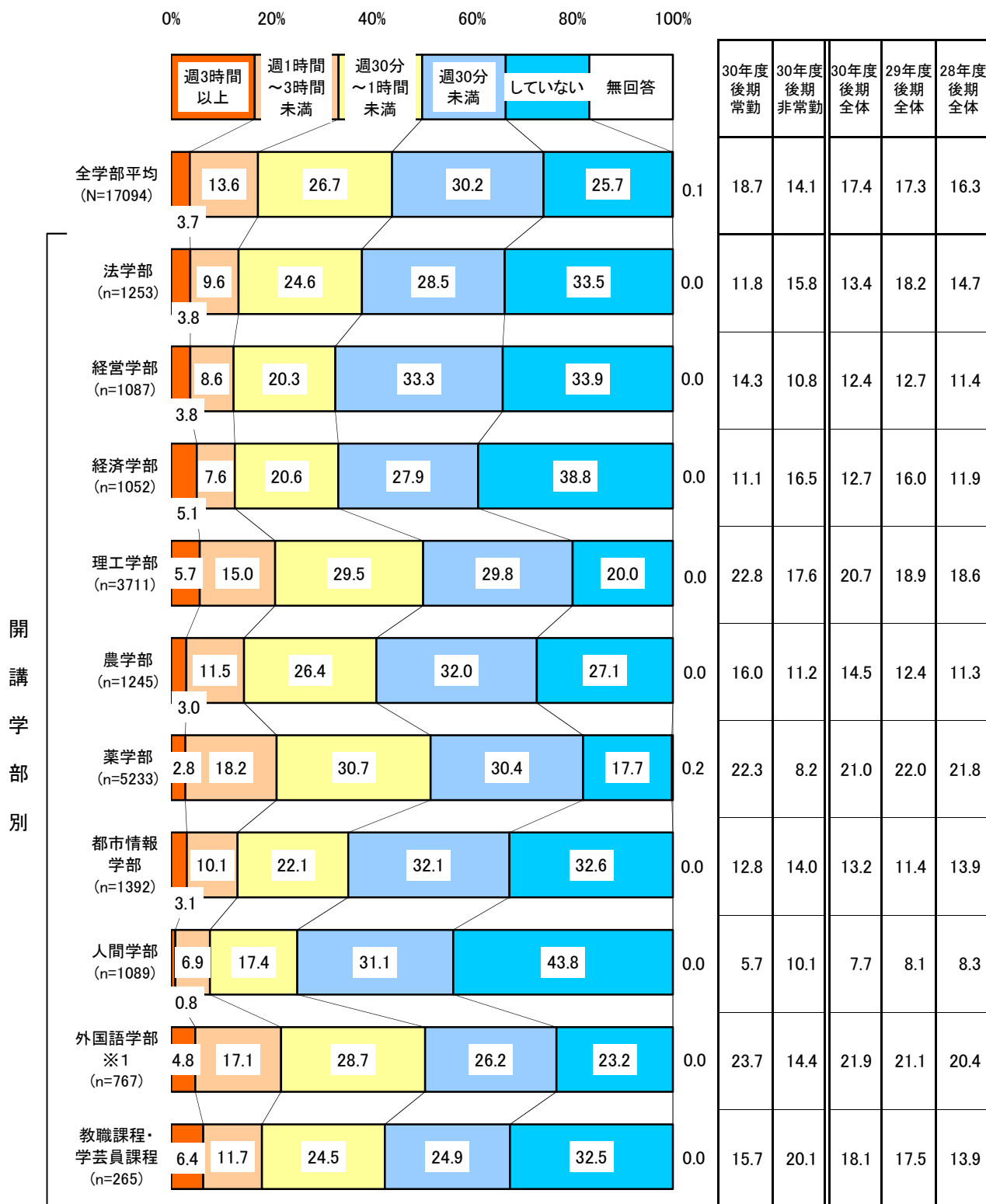
15 学生評価の基礎データ 自学自習時間

[後期 学生]

自学自習時間に関する学生の自己評価をみると、「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」と回答した学生は2割弱。外国語学部、薬学部、理工学部で「週1時間以上」の割合が高めとなっている。

【30年度後期】

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。



* 数表は「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」(%)

(※1) 1～3年次のみ

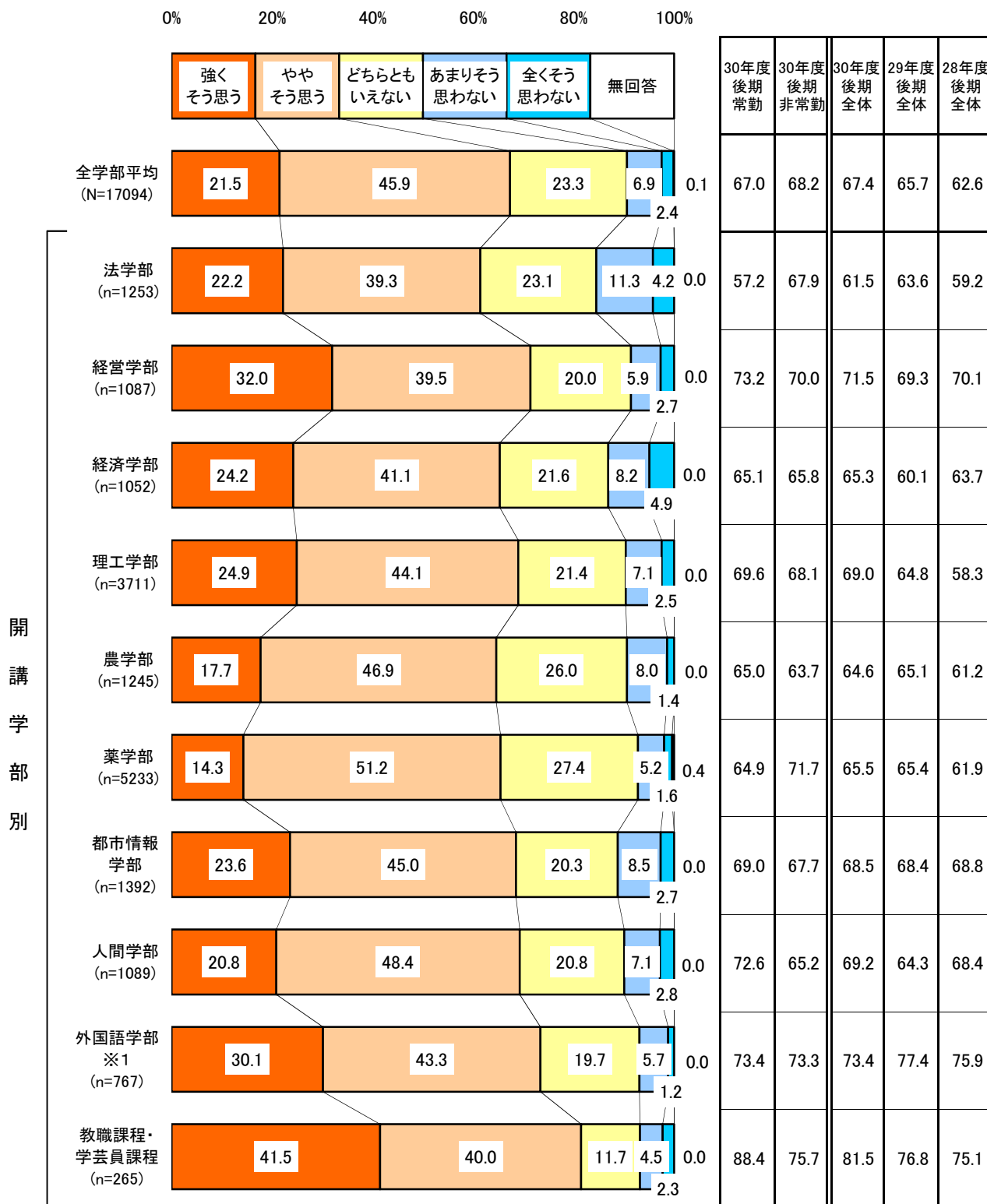
15 学生評価の基礎データ 意欲

[後期 学生]

意欲に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で8割強と評価が高い。

【30年度後期】

Q10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

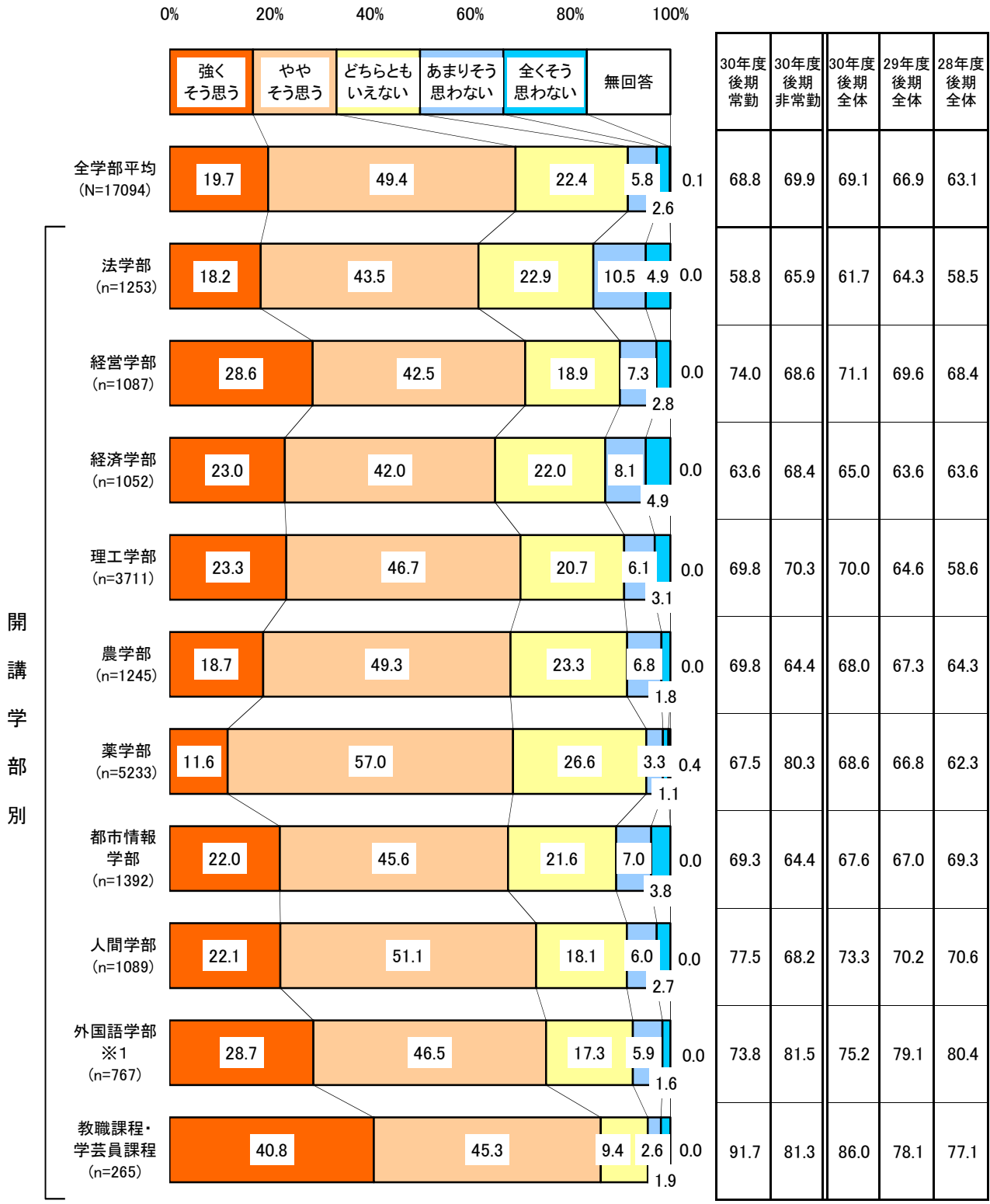
15 学生評価の基礎データ 成長実感

[後期 学生]

成長実感に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約7割。教職課程・学芸員課程は29年度後期から評価が上昇し、9割弱にのぼる。

【30年度後期】

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

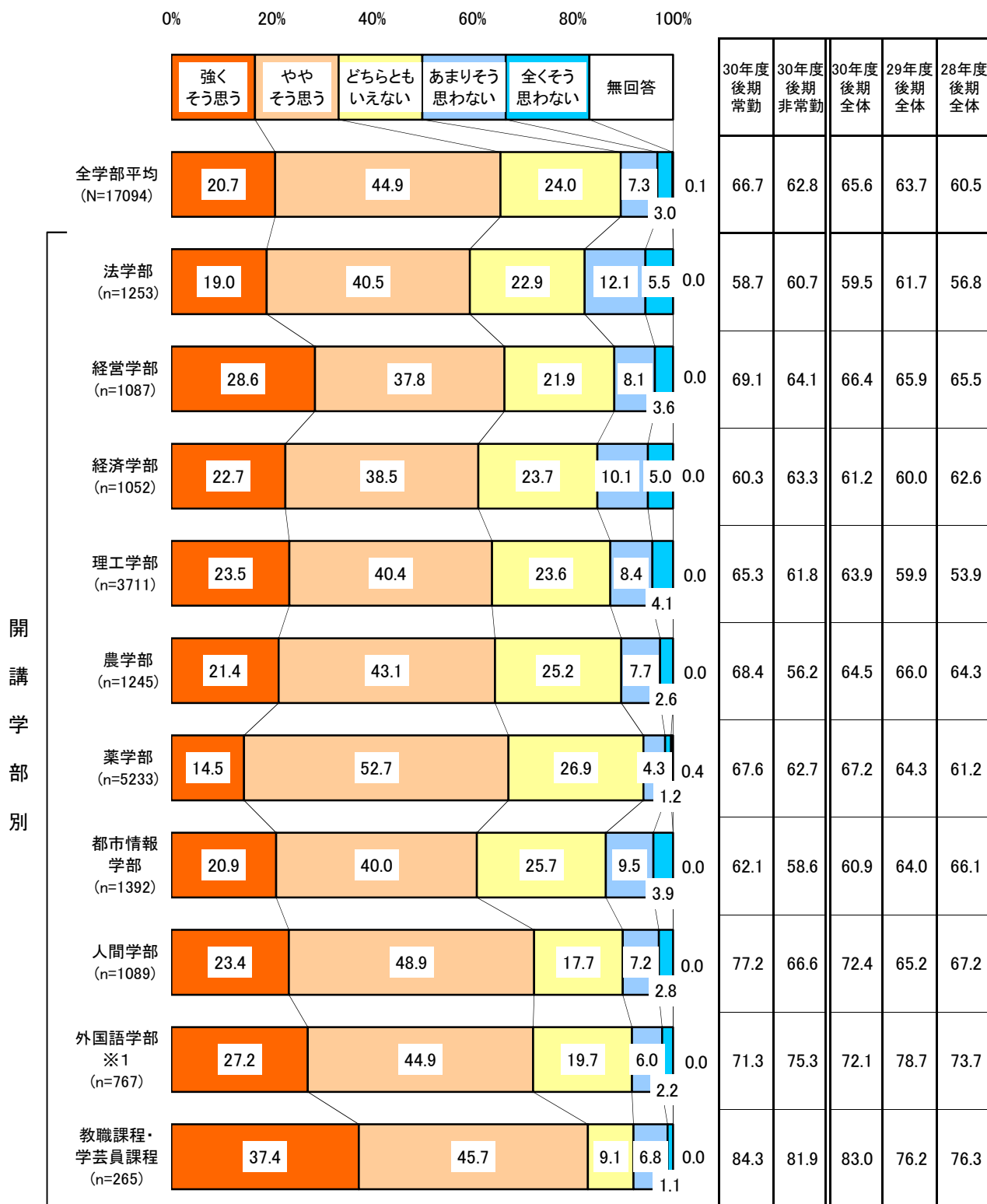
15 学生評価の基礎データ 興味喚起

[後期 学生]

興味喚起に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割台半ば。教職課程・学芸員課程は29年度後期から評価が上昇し、8割強にのぼる。

【30年度後期】

Q12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 1～3年次のみ

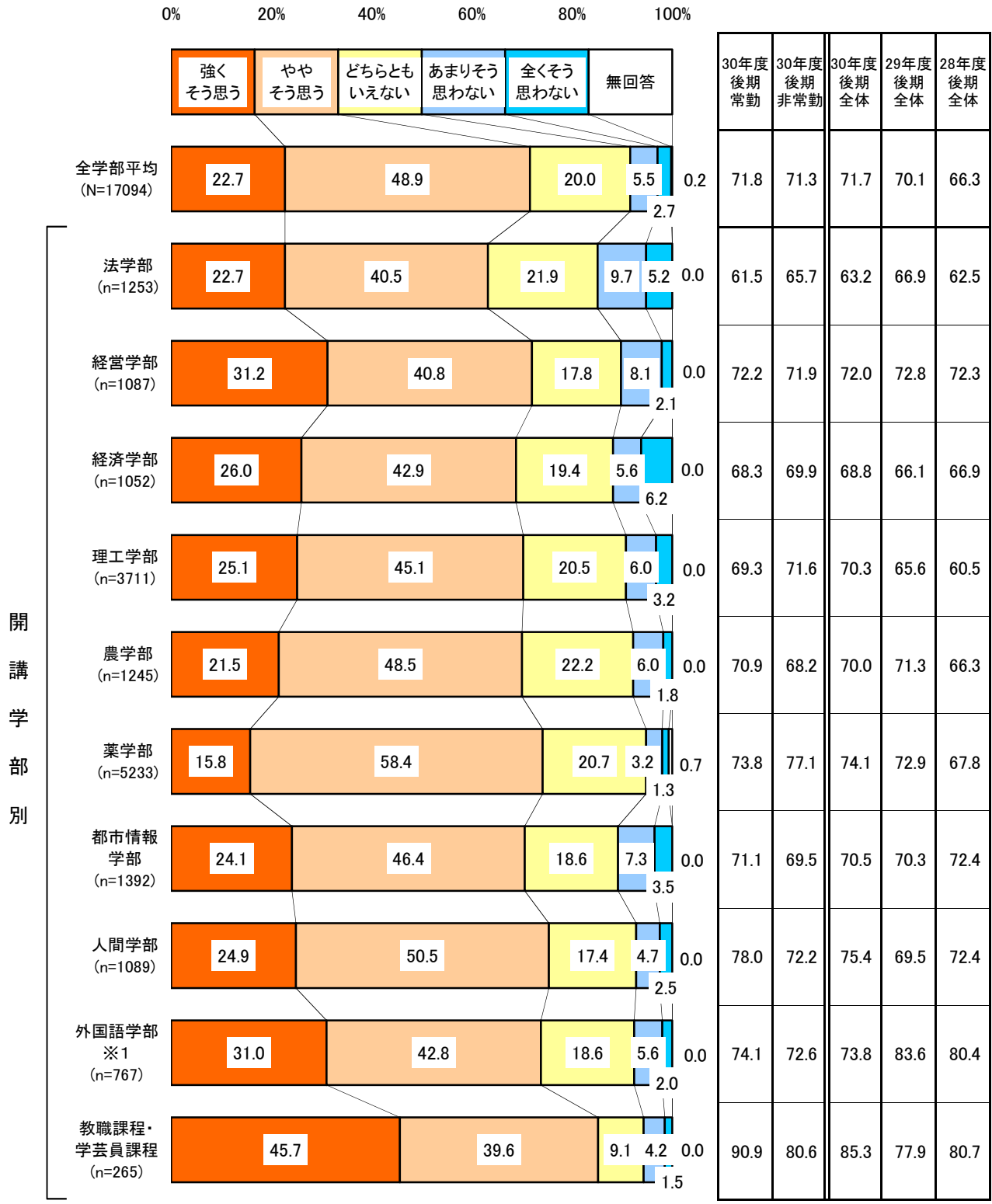
15 学生評価の基礎データ 授業満足

[後期 学生]

授業満足に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程で満足度が高く、8割台半ばにのぼる。29年度後期と比べて、外国語学部で大きく低下したが、教職課程・学芸員課程、人間学部で上昇した。

【30年度後期】

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1～3年次のみ

平成30年度授業改善アンケート
調査結果報告書

発行日：平成31年3月

編集：大学教育開発センター委員会
名城大学大学教育開発センター

発行：大学教育開発センター委員会